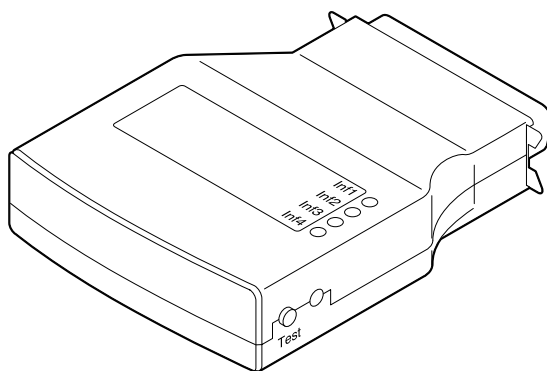




pConnect

ユーザーズ マニュアル

第2版



一般的な注意

1. 本書の内容の一部または全部の無断転載・無断複写を禁止します。
2. 本書の内容は予告無しに変更することがあります。
3. 運用した結果の影響につきましては、本書の内容に関わらず、責任を負いかねますのでご了承ください。
4. 本書によって、工業所有権その他の権利の実施に対する保証、または実施権を許諾するものではありません。また、本書の掲載内容の使用により起因する工業所有権の諸問題については、当社は一切その責任を負うことはできません。
5. 製品内部の改造が行われた場合、当社は一切責任を負うことはできません。
6. 「サポートCD」に含まれる全てのユーティリティに関して、ユーザーは、バックアップ以外の目的のために「ソフトウェア」の全部および一部の複製を行うことはできません。また、ユーザーはいかなる理由においても「ソフトウェア」を改造し、またはリバースエンジニアリングすることはできません。

商標について

本書中、以下は各社の商標または登録商標です。

Windows、Windows95/98/Me、WindowsNT、Windows2000、WindowsXPIはMicrosoft Corporationの登録商標です。

NovellおよびNetWareはNovell, Inc.の登録商標です。

UNIXはX/Openカンパニーリミテッドがライセンスしている米国ならび他の国における登録商標です。

その他、本資料に記載の各名称は一般に各社の商標または登録商標です。

はじめに

この度は、**pConnect**をお買い上げ頂きましてありがとうございます。

本マニュアルは、**pConnect**用のものです。当社から新たなマニュアルが提供されるまでは、本書が適用されます。

なお、本書内の記述、および、ハードウェアに関しても、予告なく変更を行うことがあります。また、同梱CDのREADMEや変更に関する書面が同梱されている場合はそれらも参照してください。

ご使用についての留意点

製品の価格には、設置・ネットワークへの設定は含まれません。

本製品を使用される場合は、あらかじめ他のネットワーク機器に影響が無い事を確認してください。製品の不良以外で発生する他のネットワーク機器への障害に対する責任は負いかねます。

特に大量に導入される場合は十分なテストを行ってから導入してください。

また、万が一故障の場合には原則として本体交換になります。その場合、シリアル番号が変更になりますので、ネットワークOS等の再設定が必要になります。

電磁波障害自主規制について

クラスA情報装置

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

安全に正しくお使いいただくために



このマニュアルには、本製品を正しくお使いいただくために安全表示が記述されています。

このマニュアルは、必要なときすぐに参照できるようお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

絵表示について

このマニュアルおよび製品への安全表示については、製品を正しくお使いいただいて、お客様への危害や財産への損害を未然に防止するために、次の絵表示を使用しています。

絵表示とその意味は次のとおりです。内容をよく理解されてから本文をお読みください。

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

危険 / 注意ラベルの表示について

この製品の外部に黄色地に黒文字で表示されているラベルがある場合は、安全に関する危険または注意ラベルです。必ず表示の指示に従ってください。

このマニュアルに記述されている以外に、製品上に危険または注意ラベルによる表示がある場合は、必ずそのラベルの表示による指示に従ってください。

危険

本製品を改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。

表示された電源電圧以外での電圧で使用しないでください。タコ足配線をしないでください。火災、感電の恐れがあります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重い物をのせたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードを破損し、火災、感電のおそれがあります。製品を濡らしたり、結露させないでください。湿気があるとこれらの部品は壊れることがあり、電気による危険を招くおそれがあります。

万一、発熱していたり、煙がでていたり、異臭がするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに、AC電源アダプタをコンセントから必ず抜き、接続しているプリンタの電源スイッチを切り、本製品をプリンタからはずし、ネットワークケーブルをはずしてください。

万一、内部に異物や水等が混入した場合は、すぐに、AC電源アダプタをコンセントから必ず抜き、接続しているプリンタの電源スイッチを切り、本製品をプリンタからはずし、ネットワークケーブルをはずしてください。そのまま使用しますと、故障、火災、感電の原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

電源コード、通信ケーブルからの電流は身体に危険を及ぼします。設置、移動、または装置を接続するときには、以下の手順でケーブルの接続、取り外しを行ってください。

接続するとき

1. プリンタの電源を切る。
2. プリンタの電源コードをコンセントからはずす。
3. プリンタの平行ポートに本体を取りつける。
4. 本体にネットワークケーブルを接続する。
5. AC電源アダプタのコネクターを本体に接続する。
(プリンタが5V端子をサポートしている場合は、5V端子用ピンコードを本体とプリンタに接続する。)
6. AC電源アダプタをコンセントに接続する。
(5V端子を使用する場合は不要)
7. プリンタの電源コードをコンセントに接続する。
8. プリンタの電源を入れる。

取り外すとき

1. プリンタの電源を切る。
2. 本体のAC電源アダプタをコンセントからはずす。
(5V端子を使用している場合は、5V端子用ピンコードを本体とプリンタからはずす。)
3. プリンタの電源コードをコンセントからはずす。
4. AC電源アダプタのコネクターを本体からはずす。
(5V端子を使用している場合は不要)
5. ネットワークケーブルをはずす。
6. プリンタから本体をはずす。

付属のAC電源アダプタについて

- ・ 室内でのみ使用してください。
- ・ 表示された電源電圧以外での電圧で使用しないでください。タコ足配線をしないでください。火災、感電の恐れがあります。
- ・ 濡れた手でAC電源アダプタを抜き差ししないでください。感電の恐れがあり危険です。
- ・ 付属のAC電源アダプタを他の製品に使用すると、本製品やAC電源アダプタを壊す恐れがありますので避けてください。

注意

使用環境については、「第11章 技術仕様」をご覧ください。
湿気やほこりの多い場所に置かないください。火災、感電の原因となることがあります。
本製品(20cm以内)で携帯電話やPHS(簡易携帯電話)を使用しないでください。
本製品の仕様でない動作(誤動作)をする原因となることがあります。
本製品の上に物を載せないください。ケースが破損し、火災、感電の原因となることがあります。
本体からAC電源アダプタのコネクタを抜くときは、コードを引っ張らないください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。(必ずコネクタを持って抜いてください。)

本書で使われているマークについて



操作をする上で守っていただきたいことや重要な情報が記載されています。機械の故障や損傷を防ぐために必ずお読みください。



機能や操作についての補足説明が記載されています。

目次

一般的な注意	i
商標について	i
はじめに	ii
ご使用についての留意点	ii
電磁波障害自主規制について	ii
安全に正しくお使いいただくために	iii
本書で使われているマークについて	vi
目次	vii
第1章 概要	1-1
1. 1 製品概要	1-2
1. 2 H/W概要	1-3
1. 2. 1 各部の名称	1-3
1. 2. 2 プリンタにセットする	1-5
1. 2. 3 テストプリント	1-6
1. 3 S/W概要	1-7
1. 3. 1 AS/400 環境では	1-7
1. 3. 2 S/390 環境では	1-7
1. 3. 3 Windows 95/98/Me 環境では	1-7
1. 3. 4 Windows NT/2000/XP 環境では	1-7
1. 3. 5 OS/2 環境では	1-7
1. 3. 6 UNIX 環境では	1-7
第2章 基本操作	2-1
2. 1 インストールの流れ	2-2
2. 2 IPアドレスの設定	2-3
2. 2. 1 「TCP/IP 設定ユーティリティ」による IP アドレス設定	2-3
2. 3 サブネットマスク/ゲートウェイアドレスの設定	2-5
2. 4 イーサネットモードの設定	2-7
2. 5 インターフェイスモードの設定	2-9

第3章 AS/400 3-1

3.1	インストールの前に	3-2
3.1.1	インストールの流れ	3-2
3.2	TN5250E	3-3
3.2.1	TN5250E 構成に必要な前提 AS/400PTF	3-3
3.2.2	TN5250E 設定手順概要	3-4
3.2.3	TN5250E 自動構成	3-5
3.2.3.1	AS/400 環境確認	3-5
3.2.3.2	pConnect の設定	3-6
3.2.3.3	自動構成におけるAS/400の設定	3-9
3.2.4	TN5250E 手動構成	3-10
3.2.4.1	AS/400 環境確認	3-10
3.2.4.2	pConnect の設定	3-11
3.2.4.3	手動構成におけるAS/400の設定	3-14
3.2.5	TN5250E パラメータ説明	3-17
3.2.5.1	TN5250E	3-17
3.2.5.2	Host Print	3-19
3.2.5.3	Printer1 ~ Printer4	3-20
3.2.6	TN5250E メッセージ一覧	3-20
3.2.6.1	メッセージ	3-20
3.3	LU6.2(SNA)	3-21
3.3.1	LU6.2 とは	3-21
3.3.2	LU6.2 接続におけるAS/400 前提条件	3-21
3.3.3	LU6.2 設定手順概要	3-21
3.3.4	LU6.2 自動構成	3-23
3.3.4.1	AS/400 環境確認	3-23
3.3.4.2	pConnect の設定	3-25
3.3.4.3	自動構成におけるAS/400の設定	3-29
3.3.5	LU6.2(SNA)手動設定	3-30
3.3.5.1	AS/400 環境確認	3-30
3.3.5.2	pConnect の設定	3-32
3.3.5.3	手動構成におけるAS/400の設定	3-36
3.3.6	LU6.2 パラメータ説明	3-42
3.3.6.1	LLC	3-42
3.3.6.2	LU6.2	3-44
3.3.6.3	Host Print	3-47
3.3.6.4	Printer1 ~ Printer4	3-47
3.3.7	LLC(LU6.2)メッセージ一覧	3-48
3.3.7.1	メッセージ	3-48
3.3.7.2	通信エラーチェックエラー一覧	3-48

3.3.7.3	CONFIG エラー一覧	3-49
3.3.7.4	PD エラー一覧	3-49
3.4	ユーザーフォントの登録	3-50
3.4.1	ユーザーフォント・ファイル (QFMAUSR) の作成	3-50
3.4.2	ユーザーフォントファイル(QFMAUSR)をPCへダウンロード	3-56
3.4.3	ユーザーフォントファイルを pConnect へ登録	3-60
3.4.3.1	ユーザーフォントファイルの変換	3-60
3.4.3.2	ユーザーフォントファイルの登録	3-61
3.4.4	pConnect からユーザーフォントを削除	3-66
第4章	S/390	4-1
4.1	インストールの前に	4-2
4.2	インストールの流れ	4-2
4.3	TN3270E	4-3
4.3.1	SNA サーバーとのTN接続図	4-3
4.3.2	TN3270E 設定手順概要	4-4
4.3.3	pConnect の設定	4-5
4.3.4	TN3270E サーバーの設定	4-9
4.3.5	TN3270E パラメータ説明	4-10
4.3.5.1	TN3270E	4-10
4.3.5.2	HOST Print	4-17
4.3.5.3	Printer1 ~ Printer4	4-17
4.3.6	TN3270E 通信エラー・メッセージ	4-18
4.4	SNA (LU1/LU3)	4-20
4.4.1	SNA 接続図	4-20
4.4.2	LU1/LU3 設定手順概要	4-21
4.4.3	S/390 環境確認	4-22
4.4.4	pConnect の設定	4-23
4.4.5	Host 環境の設定	4-28
4.4.6	LU1/LU3 パラメータ説明	4-30
4.4.6.1	LLC	4-30
4.4.6.2	LU1/LU3	4-32
4.4.6.3	HOST Print	4-39
4.4.6.4	Printer1 ~ Printer4	4-40
4.4.7	LU1/LU3 通信エラー・メッセージ	4-41
4.5	ユーザーフォントの登録	4-45
4.5.1	Windows95、NTでユーザーフォントを作成する	4-45
4.5.2	pConnect へ外字ファイルを登録する	4-47
4.5.2.1	ユーザーフォントファイルの変換	4-47
4.5.2.2	ユーザーフォントファイルの登録	4-48
4.5.3	pConnect から外字ファイルを削除する	4-49

第5章 LPR印刷 5-1

- 5.1 LPR印刷の設定手順概要 5-2
- 5.2 **pConnect**本体の設定 5-3
- 5.3 Windowsでの使用方法 5-6
 - 5.3.1 概要 5-6
 - 5.3.2 WindowsNT3.51の設定 5-6
 - 5.3.3 WindowsNT4.0の設定 5-10
 - 5.3.4 ファイルシステムがNTFSの場合のご注意 5-13
 - 5.3.5 WindowsNTのプリンタをネットワークで共有する場合 5-14
 - 5.3.6 Windows2000の設定 5-15
 - 5.3.7 WindowsXPの設定 5-24
 - 5.3.8 プリンタの共有について 5-31
 - 5.3.9 Windows95/98/Meの設定 5-34
 - 5.3.10 トラブルシューティング 5-37
 - 5.3.10.1 WindowsNTで印刷できない 5-37
 - 5.3.10.2 **pConnect**とのPINGができなくなってしまう 5-37
 - 5.3.10.3 サーバーからは印刷できるが
クライアントから印刷できない 5-38
 - 5.3.10.4 WindowsNTの印刷関連問題 5-38
- 5.4 UNIXでの使用方法 5-39
 - 5.4.1 概要 5-39
 - 5.4.2 UNIXワークステーションの設定 5-39
 - 5.4.2.1 SunOS (バージョン4.1.x)の場合 5-40
 - 5.4.2.2 Solaris (バージョン2.0以降)の場合 5-41
 - 5.4.2.3 AIX (バージョン3.2.3)の場合 5-42
 - 5.4.2.4 HP-UX (バージョン9.0)の場合 5-43
 - 5.4.2.5 HP-UX (バージョン10.20)の場合 5-44
 - 5.4.3 ローカルホストのフィルタを使って印刷する場合 5-49
 - 5.4.3.1 BSD系UNIXの場合 5-49
 - 5.4.3.2 SystemV系UNIXの場合 5-50
- 5.5 OS/2での使用方法 5-51
 - 5.5.1 OS/2環境での機能 5-51
 - 5.5.2 OS/2の設定 5-51
 - 5.5.3 トラブルシューティング 5-52
 - 5.5.3.1 **pConnect**に印刷できない 5-52
 - 5.5.3.2 LPRPORTDで**pConnect**に印刷できない 5-52
 - 5.5.3.3 印刷ジョブの削除 / 取り消しを行なった時に
印刷ジョブが詰まる 5-53
 - 5.5.3.4 OS/2 Warp V4のLprportdで印刷が出ない 5-53

5.5.3.5	LPRPORTD からの印刷で SYS3175 SYS3175 エラーが発生する	5-53
5.5.3.6	その他の OS/2 印刷関連問題	5-54
第 6 章	論理プリンタ	6-1
6.1	論理プリンタ概要	6-2
6.2	印刷ジョブ前後の文字列送信機能の使用方法	6-2
6.2.1	レーザープリンタの場合	6-3
6.2.2	マルチトラクタのシリアルプリンタ (非レーザープリンタ)の場合	6-4
6.2.3	シングルトラクタのシリアルプリンタ (非レーザープリンタ)の場合	6-4
第 7 章	設定と管理	7-1
7.1	ユーザー名とパスワード	7-2
7.2	Web ブラウザによる設定・管理	7-2
7.2.1	pConnect の Web 機能概要	7-2
7.2.2	pConnect に IP アドレスセット	7-2
7.2.3	pConnect に Web ブラウザでアクセスする方法	7-2
7.2.4	pConnect ホームページ	7-3
7.2.5	pConnect Configuration ページ	7-4
7.2.6	pConnect Management ページ	7-5
7.2.7	pConnect Status ページ	7-6
7.2.8	pConnect Account ページ	7-7
7.2.9	pConnect Message Log ページ	7-8
7.3	telnet による設定・管理	7-9
7.4	ftp による設定・管理	7-10
7.4.1	設定値 (Config1) の保存と復元	7-11
7.4.1.1	保存方法	7-11
7.4.1.2	復元方法	7-13
7.5	SNMP による管理	7-15
第 8 章	ソフトウェアの更新	8-1
8.1	更新されたソフトウェアの入手	8-2
8.2	ファームウェアのアップグレード	8-2
第 9 章	テストプリントボタン	9-1
9.1	テストプリントボタンによるパラメータリスト出力	9-2
9.2	テストプリントボタンによるパスワードリセット	9-2

第10章	パラメータリスト	10-1
10.1	パラメータリスト一覧	10-2
10.2	パラメータ詳細説明	10-7
第11章	技術仕様	11-1
11.1	サポートするシステム	11-2
11.2	サポートするプロトコル	11-3
11.3	ネットワーク接続	11-3
11.4	プリンタポート	11-3
11.5	フロントパネル	11-3
11.6	電源	11-3
11.7	寸法(単位: mm)	11-4
11.8	重量	11-4
11.9	環境	11-4
11.10	承認	11-4
第12章	障害解析	12-1
12.1	障害解析シート	12-2
12.2	トラブルの報告	12-3
12.2.1	通信障害の場合	12-3
12.2.2	印刷結果異常の場合	12-3
12.2.3	PDトレース	12-3
12.2.4	IPSトレース	12-4
12.2.5	ホスト印刷データトレース	12-5

第 1 章 概 要

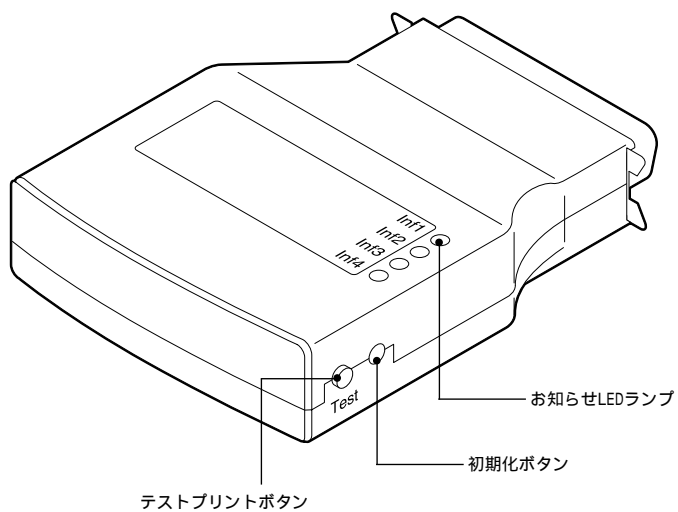
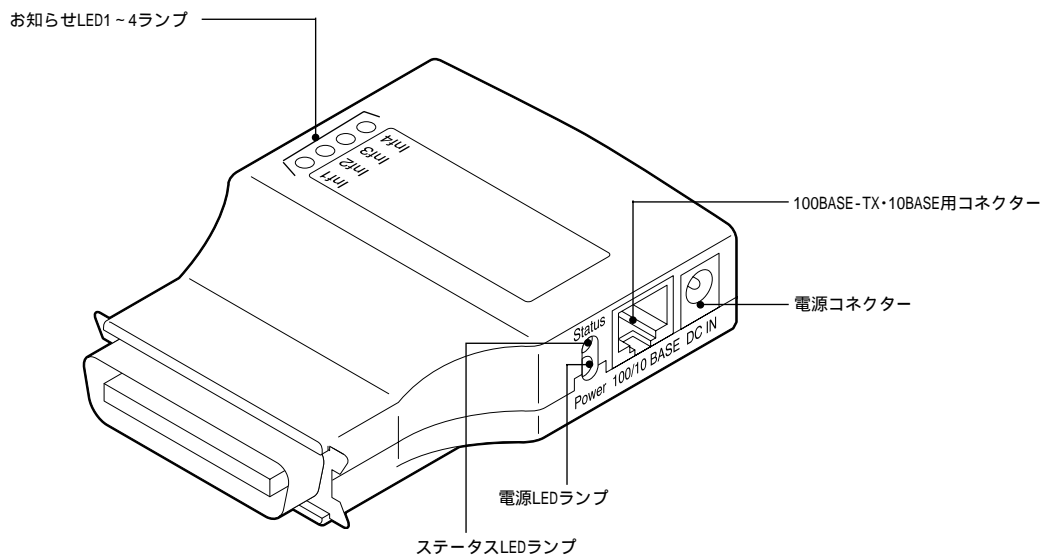
1.1 製品概要

pConnectはイーサネット環境用の独立筐体型ネットワークプリンタサーバーです。本製品をプリンタに接続することにより、ご使用のプリンタをネットワーク内のどこにでも接続し、IBMホストユーザーを含むすべてのネットワークユーザーが共有プリンタリソースにアクセスできるようになります。

1.2 H/W概要

1.2.1 各部の名称

本製品の各部の名称は次のとおりです。



ステータスLEDランプおよび電源LEDランプは本体の状況に応じて下表のように点灯、点滅します。

状態	ステータスLEDランプ(橙色)	電源LEDランプ(黄緑色)
電源オン	点灯 - 消灯	
プログラムロード	消灯	点滅
プログラムロード失敗	消灯	点灯
起動中	点滅	-
通常(Link時)	点灯	パケット受信で点滅 (自ノード宛てのみ)
通常(非Link時)	3秒に1回点灯	-
ステータス印刷中	点滅	
設定初期化中	点滅(ゆっくり)	点滅(ゆっくり)
エラー	点灯	
リスタート/リセット ^{*)} 処理中	消灯	消灯
バージョンアップ中	点灯 - 消灯(交互)	
パラレルネゴシエーション失敗	3秒に1回消灯	

お知らせLED1～4ランプは、本体の状況に応じて下表のように点灯します。

	Inf1	Inf2	Inf3	Inf4
ホストからのメッセージがあることを知らせます。Configエラー等のメッセージが発生している場合、Inf1が点灯します。 メッセージの詳細はWeb BrowserのMessage Logより確認できます。	点灯	消灯又は 点灯	消灯	消灯
pConnect とプリンタ間のデータ転送中。	消灯又は 点灯	点灯	消灯	消灯
リスタート処理中 (ステータスLEDランプ、電源LEDランプと合わせて表示されます。)	点滅	点滅	点滅	点滅
リセット ^{*)} (ステータスLEDランプ、電源LEDランプと合わせて表示されます。)	点灯	点灯	点灯	点灯
サポート外プリンタ	点灯	点灯	点灯	点灯

^{*)} リセットとは、**pConnect**本体がプリンタに接続していないで、電源が入っている状態です。

1.2.2 プリンタにセットする

本体をプリンタにセットします。

操作手順

- 1 プリンタの電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜きます。
- 2 プリンタの平行ポートに本体を取りつけます。
- 3 本体にネットワークケーブルを接続します。
- 4 AC電源アダプタのコネクターを本体に接続します。(プリンタが5V端子をサポートしている場合は、5V端子用ピンコードを本体とプリンタに接続します。)

注意

AC電源アダプタは、必ず付属のものをご使用ください。

- 5 AC電源アダプタをコンセントに接続します。(5V端子を使用する場合は不要)
- 6 プリンタの電源コードをコンセントに接続します。
- 7 プリンタの電源を入れます。
- 8 プリンタおよび**pConnect**本体が使用可能状態になるまで数十秒おまちください。
pConnect本体「通常の状態」になれば使用可能です。
「通常の状態」は「1-4ページ ステータスLEDランプおよび電源LEDランプ…」をご参照ください。



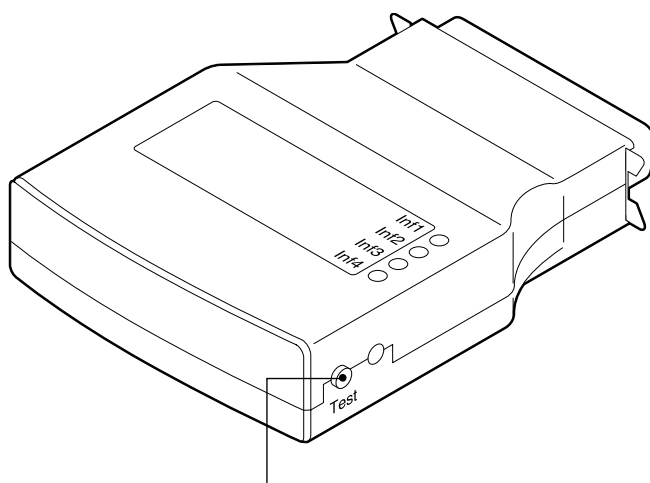
ご使用になる環境によって「通常の状態」になるまでに要する時間は異なります。

1.2.3 テストプリント

プリンタの電源を入れ、テストプリントを行います。

操作手順

- 1 前項の「プリンタにセットする」を参照し、プリンタおよび**pConnect**に電源を入れてください。
- 2 プリンタおよび**pConnect**が使用可能状態であることを確認します。
- 3 テストプリントボタンを5秒間押しつづけます。
- 4 パラメータリストが印刷されます。
パラメータリストの内容は第10章パラメータリストをご参照ください。



テストプリントボタン

1.3 S/W概要

1.3.1 AS/400 環境では

SNA プロトコル (LU6.2) および TN5250E がサポートされます。
5250SCS データストリームを IBM5577 エミュレーションに変換するドライバをサポートしています。又 AS400 で使用するユーザーフォントを本製品に 1880 文字まで登録できます。

1.3.2 S/390 環境では

SNA プロトコル (LU1/LU3) および TN3270E がサポートされます。
3270SCS データストリームと 3270 漢字データストリームを IBM5577 エミュレーションに変換するドライバをサポートしています。
又、S/390 環境で使用するユーザーフォントを本製品に 1880 文字まで登録できます。

1.3.3 Windows 95/98/Me 環境では

Windows 95/98/Me 環境では、ピア・ツー・ピア印刷を可能にする。「MEMOREX TCP Port Monitor」を使用した LPR 印刷が可能です。

1.3.4 Windows NT/2000/XP 環境では

Windows NT/2000/XP 環境では、標準 TCP/IP 印刷サービスを使用した LPR 印刷が可能です。サーバー環境で共有設定することにより、クライアントから出力できます。但し、LPR バイトカウンタ有効の設定のみサポートとなります。

1.3.5 OS/2 環境では

OS/2 環境では、TCP/IP for OS/2 または Warp の LPRPORTD を使用した、LPR 印刷が可能です。OS/2 LAN Server/Warp Server を使用している場合、サーバーの共有設定をすることにより、クライアントから出力できます。

1.3.6 UNIX 環境では

UNIX 環境では、**pConnect** と接続されているプリンタは、ホストのプリンタスプーラに直接接続されているように動作します。印刷方法は LPD が利用可能です。

第 2 章

基本操作

2. 1 インストールの流れ

IPアドレスの設定/イーサネットモードの確認/インターフェイスモードの確認

Web Browser又はTelnetより各種設定

●AS/400環境への接続 → 第3章 AS/400

●S/390環境への接続 → 第4章 S/390

●LPR接続

・Windows環境 → 第5章 LPR印刷「5.3」

・Unix環境 → 第5章 LPR印刷「5.4」

・OS/2環境 → 第5章 LPR印刷「5.5」

●論理プリンタ機能の設定

この機能は、ユーザーアプリケーションを変更することなく、プリンタの様々な機構（給紙カセット切替、両面印刷等）の活用を可能にします。

●その他

各環境よりテスト印字 をしてください。

2.2 IPアドレスの設定

本製品の設定変更および運用・管理はWeb Browser 又はTelnet により行います。これら機能を使用する為に必ず IP アドレスの設定を行ってください。

注意

IPアドレスの設定が行われないと、設定変更が行われないばかりか、トラブルが生じた際エラーログ等の取得ができません。必ず、正しいIPアドレスを設定してご使用ください。

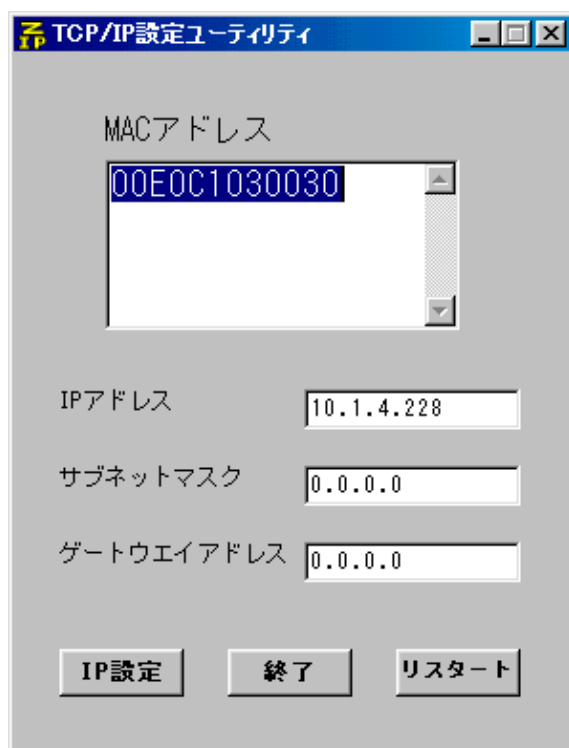
2.2.1 「TCP/IP 設定ユーティリティ」による IP アドレス設定

pConnectのサポート CD に格納されている TCP/IP 設定ユーティリティを起動します。下記の画面が表示されます。

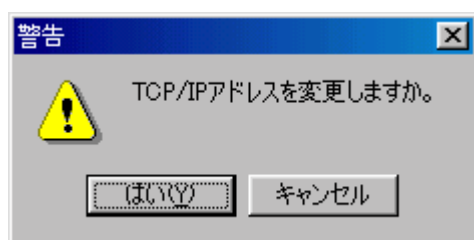
IP アドレスを設定したり pConnect の本体裏面に記載されている MAC アドレスをリストから選択し、“00E0C1XXXXXX” をダブルクリックします。



IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定します。設定する値は、ネットワーク管理者にお尋ねください。



設定が終わりましたら、[IP設定]ボタンをクリックしてください。
下記のように確認画面が表示されますので、[はい]をクリックしてください。



pConnectの電源を OFF/ON します。

以上で IP アドレスの設定は終了です。



IPアドレスは0.0.0.0に設定すると「TCP/IP設定ユーティリティ」は使用できませんのでご注意ください。

2. 3 サブネットマスク／ゲートウェイアドレスの設定

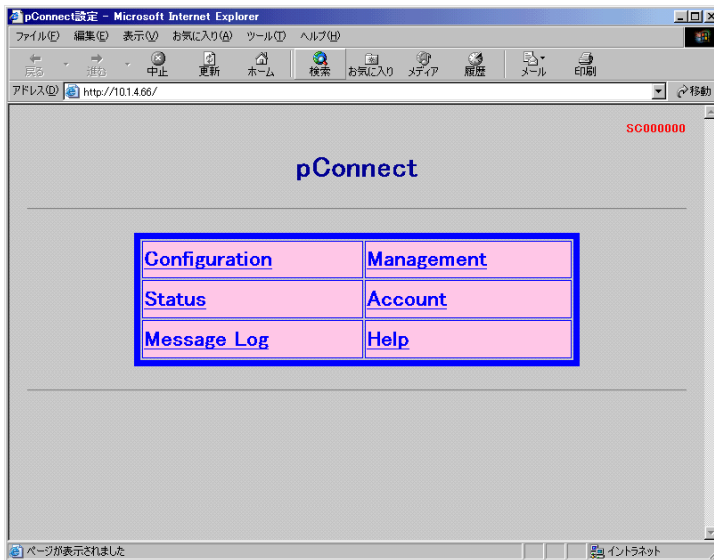
pConnectに Web ブラウザでアクセスする方法

- ① 各種Webブラウザ製品でURLを入力する部分がありますのでそこにhttp://IPアドレスを入力するだけで終了です。

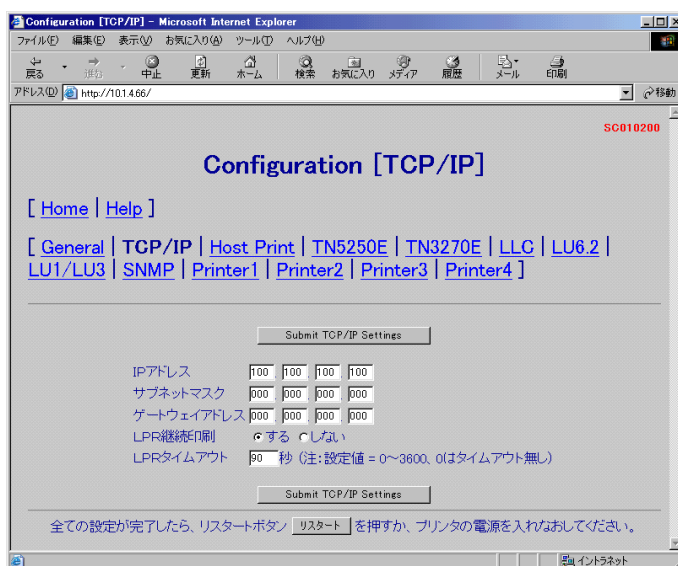
以下はインターネットエクスプローラで10.1.4.66のIPアドレスをもつpConnectにアクセスする場合は。



アクセスするとpConnectのWebページが表示されます。



- ② ConfigurationをクリックするとConfiguration [TCP/IP] ページが以下のように表示されます。



- ③ ご使用になる環境にサブネットマスクが設定されている場合は、同一のマスクを入力する必要があります。
- ④ ご使用になる環境にゲートウェイが存在する場合は、ゲートウェイのIPアドレスを入力する必要があります。
- ⑤ 変更があった場合は「submit TCP/IP Settings」ボタンを押し、変更したパラメータを保存します。
- ⑥ 全ての設定が完了したら（他の画面での設定も含みます）プリンタの電源を入れなおすか「リスタート」ボタンを押してください。



「リスタート」ボタンを押す場合や、プリンタの電源を入れなおす場合は、必ず印刷が完了している事を確認してください。

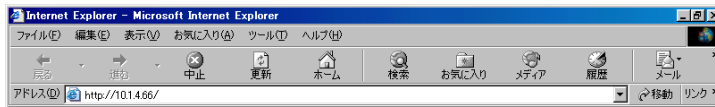
印刷中に、再起動させると、再起動後正常に動作しない場合があります。

2. 4 イーサネットモードの設定

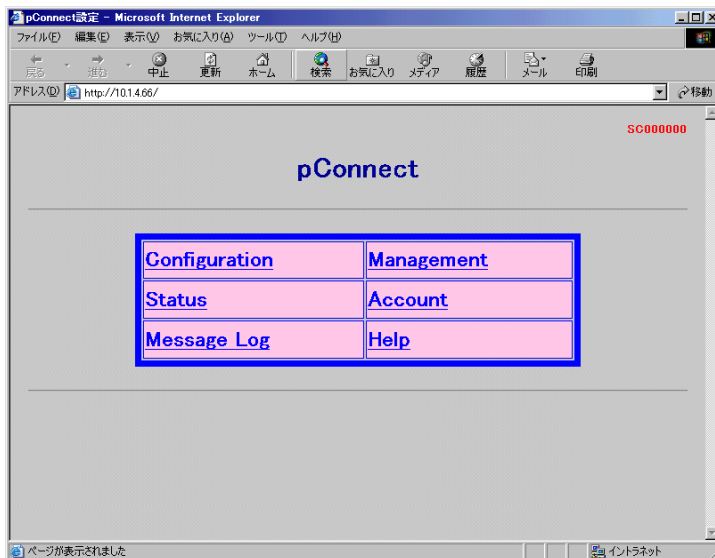
pConnectにWeb ブラウザでアクセスする方法

- ① 各種Webブラウザ製品でURLを入力する部分がありますのでそこにhttp://IPアドレスを入力するだけで終了です。

以下はインターネットエクスプローラで10.1.4.66のIPアドレスをもつpConnectにアクセスする場合です。



アクセスするとpConnectのWebページが表示されます。



- ② ConfigurationをクリックしてConfigurationページを表示させて、Generalのリンクをクリックすると以下のように表示されます。



- ③ イーサネットモードの転送速度を選択してください。
- ④ 変更があった場合は「Submit General Settings」ボタンを押し、変更したパラメータを保存します。
- ⑤ 全ての設定が完了したら（他の画面での設定も含みます）プリンタの電源を入れなおすか「リスタート」ボタンを押してください。



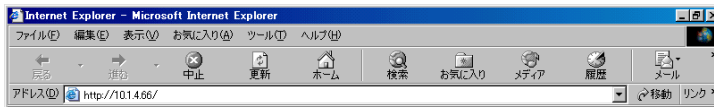
- ・「リスタート」ボタンを押す場合や、プリンタの電源を入れなおす場合は、必ず印刷が完了している事を確認してください。
印刷中に本製品を再起動させると、再起動後正常に動作しない場合があります。
- ・「リスタート」ボタンを押し、本製品が再起動するまでに1分数十秒かかる場合があります。
これは、LLC(SNA)接続の切断処理をする場合です。ご了承ください。

2. 5 インターフェイスモードの設定

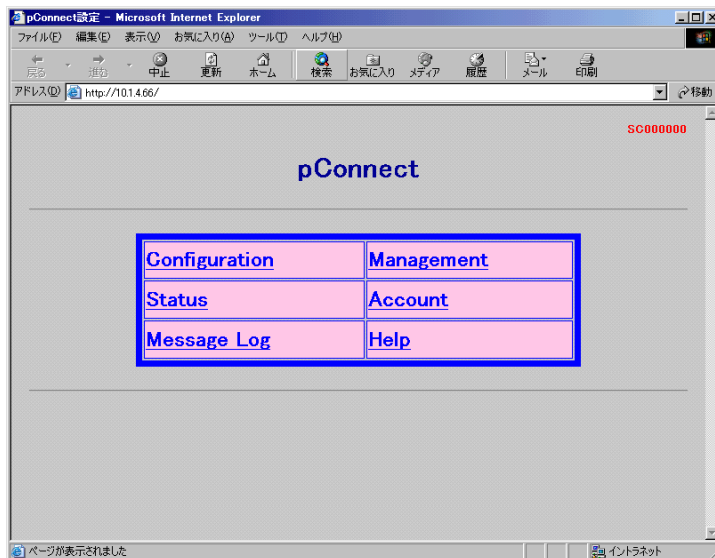
pConnectにWeb ブラウザでアクセスする方法

- ① 各種Webブラウザ製品でURLを入力する部分がありますのでそこにhttp://IPアドレスを入力するだけで終了です。

以下はインターネットエクスプローラで10.1.4.66のIPアドレスをもつpConnectにアクセスする場合です。



アクセスするとpConnectのWebページが表示されます。



- ② ConfigurationをクリックしてConfigurationページを表示させて、Generalのリンクをクリックすると以下のように表示されます。



- ③ インターフェイスの形式を選択してください。
- ④ 変更があった場合は「Submit General Settings」ボタンを押し、変更したパラメータを保存します。
- ⑤ 全ての設定が完了したら（他の画面での設定も含みます）プリンタの電源を入れなおすか「リスタート」ボタンを押してください。



- ・「リスタート」ボタンを押す場合や、プリンタの電源を入れなおす場合は、必ず印刷が完了している事を確認してください。
印刷中に本製品を再起動させると、再起動後正常に動作しない場合があります。
- ・「リスタート」ボタンを押し、本製品が再起動するまでに1分数十秒かかる場合があります。
これは、LLC(SNA)接続の切断処理をする場合です。ご了承ください。

第 3 章

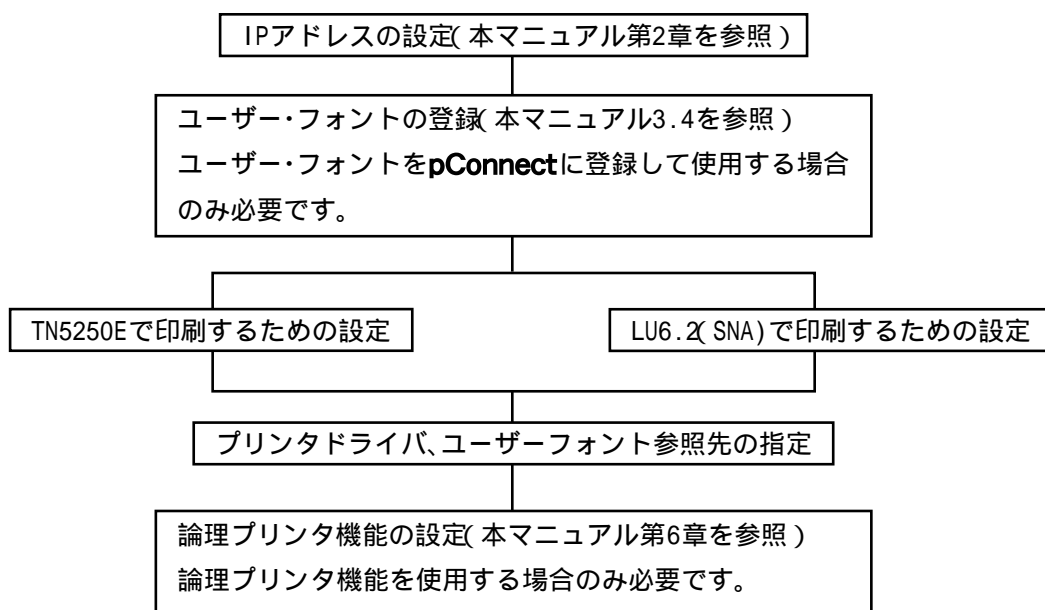
AS/400

3.1 インストールの前に

AS/400から印刷する方法として、TN5250E(TCP/IP)とLU6.2(SNA)の2種類のプロトコルをサポートしています。

TN5250Eを使用して印刷する場合、3.2 TN5250Eを参照してください。LU6.2(SNA)を使用して印刷する場合、3.3 LU6.2を参照してください。

3.1.1 インストールの流れ



3 . 2 TN5250E

3 . 2 . 1 TN5250E 構成に必要な前提 AS/400PTF

V4R3: 5769-999:MF20047 (Latest = MF24191) 5769-SS1:SF50738
V4R2: 5769-999:MF19784 (Latest = MF23982) 5769-SS1:SF49336, SF47792, SF47400, SF48804, SF50765 5769-TC1:SF47715, SF49539
V4R1: 5769-999:MF20046 (Latest = MF23706) 5769-SS1:SF49335, SF50807 5769-TC1:SF49568, SF47714
V3R7: 5716-999:MF19931 (Latest = MF21135) 5716-SS1:SF47406, SF49317, SF50787 5716-TC1:SF47713, SF49569
V3R2: 5763-999:MF19563 (Latest = MF22309) 5763-SS1:SF49121, SF50345, SF50786 5763-TC1:SF50008, SF47712

上記内容は、2000年5月時点のものです。

Latest に関しては、更新されている可能性があります。

弊社**pConnect**での TN5250E AS-400 接続は、OS/400 **v4.2以上**から対応となります。

v4.1 以下の PTF 情報は、IBM パーソナルコミュニケーションズ v4.3 にてサポートされた NativeTCP/IP 接続においてサポートされる機能 (プリンタ・エミュレーション / 5250 の DeviceID を指定することが可能) についての AS/400PTF 情報です。

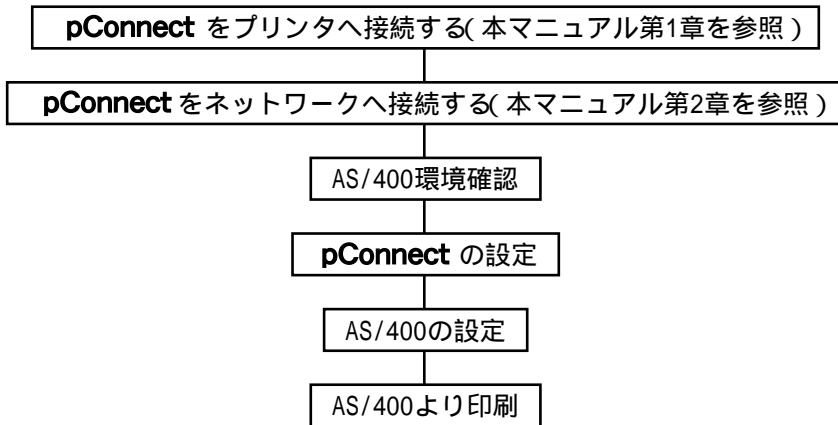
v4.1 以下であり PTF 適用されていれば、TN5250E セッションが確立されることもありますが、動作においては保証しかねます。

3.2.2 TN5250E 設定手順概要

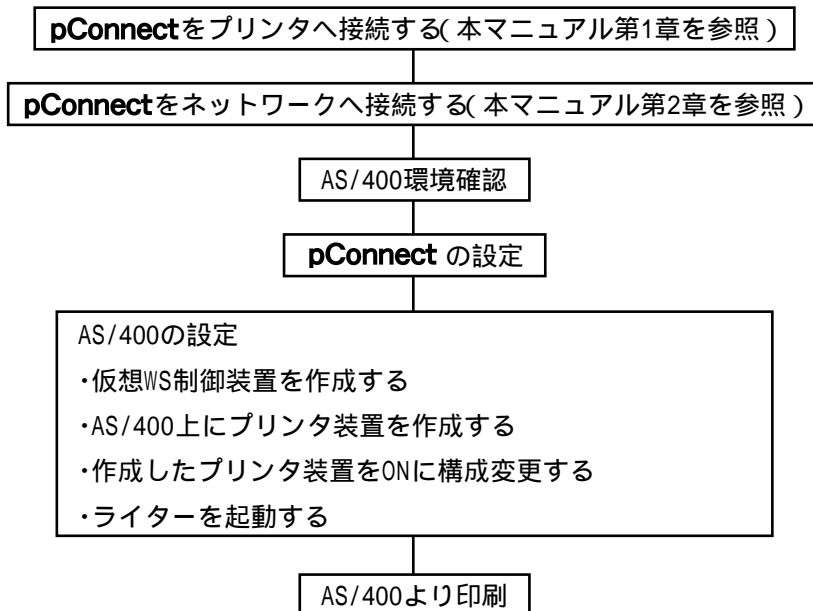
TN5250E 環境における基本的なインストールは2つの方法があります。

- ・AS/400の自動設定機能に基づくセットアップ
- ・AS/400の設定を手動で行うセットアップ

AS/400の自動設定機能に基づくセットアップ概要(自動構成)



AS/400の設定を手動で行うセットアップ概要(手動設定)



3.2.3 TN5250E 自動構成

3.2.3.1 AS/400 環境確認

以下は、TN5250E プロトコルを使用して印刷するために、AS/400 の自動構成機能を使用して AS/400 を構成する場合、AS/400 環境で確認・メモすべき一覧です。

項目	コマンド	確認メモ内容
仮想装置数	WRKCTLD *VWS	
QAUTOVRT	DSPSYSVAL QAUTOVRT	構成された仮想装置の数より大きいこと。
AS/400のIPアドレス	WRKTCPSTS *IFC	

上記項目を確認・メモすべき具体的な手順です。

自動構成された仮想装置の数を把握するために AS/400 のコマンドラインで WRKCTLD *VWS とタイプし、実行キーを押してください。数を確認後、F3 キーを押して終了してください。

DSPSYSVAL QAUTOVRT とタイプし、実行キーを押してください。QAUTOVRT パラメータの数が で確認した仮想装置の数より大きいことを確認してください。F3 キーを押して終了してください。QAUTOVRT の値が小さい場合、値を大きくするか、不要な仮想装置を削除してください。

WRKTCPSTS *IFC とタイプし、実行キーを押してください。AS/400 の IP アドレスを確認してください。AS/400 に有効な IP アドレスが設定されていない場合、IP アドレスを設定してください。AS/400 に IP アドレス設定不能の場合、TN5250E での印刷はできませんので、LU6.2 を使用して印刷するようにしてください。

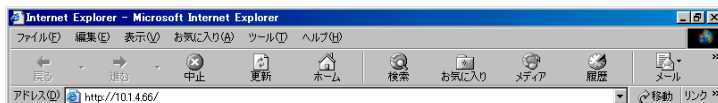
*注意: TN5250E 接続において、システム値(QAUTOCFG): 自動構成装置は一切関係しません。

3.2.3.2 pConnectの設定

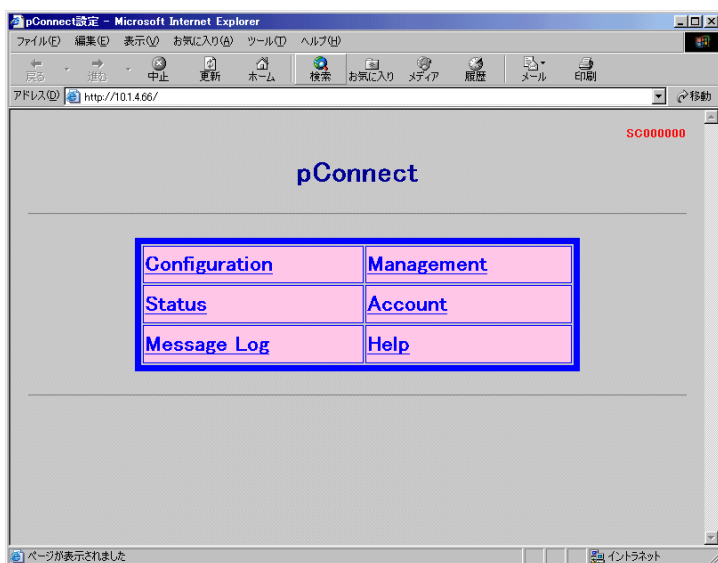
pConnectに Web ブラウザでアクセスする方法

各種Webブラウザ製品でURLを入力する部分がありますので、そこにhttp://IPアドレスを入力するだけで終了です。

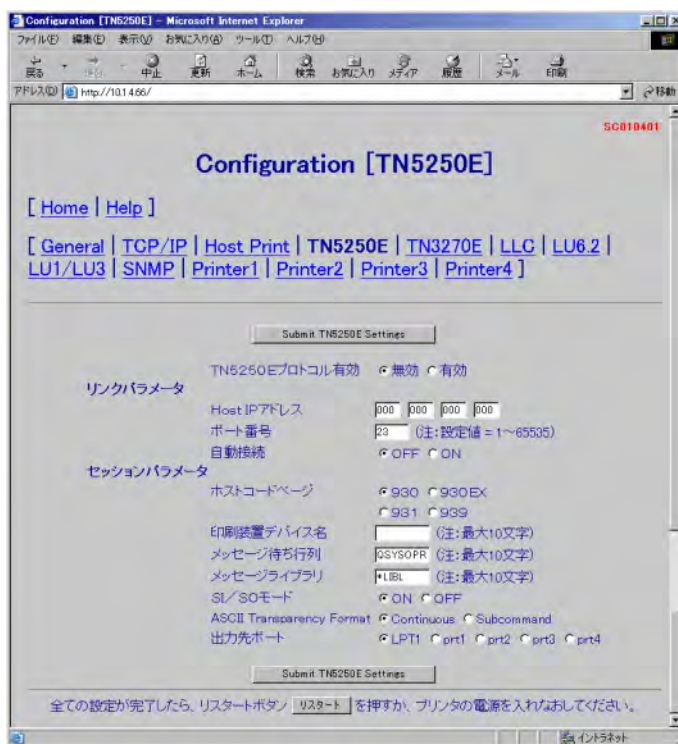
以下はインターネットエクスプローラで10.1.4.66のIPアドレスをもつpConnectにアクセスする場合です。



アクセスするとpConnectの Web ページが表示されます。



Configuration をクリックして Configuration ページを表示させて、TN5250E のリンクをクリックすると以下のように表示されます。



TN5250E プロトコル有効を有効にチェックします。

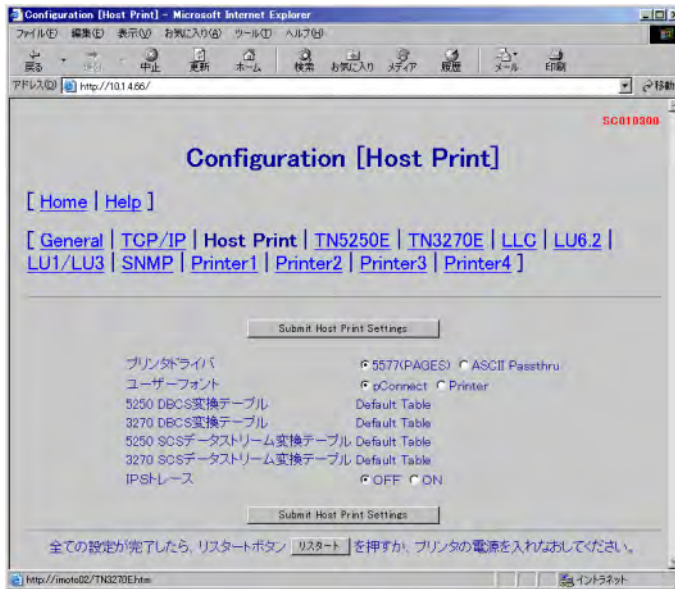
Host IP アドレスに 3.2.3.1 環境確認 で確認した IP アドレスを設定します。

デバイス名にプリンタ装置の名前を設定します。

次頁以降のパラメータ説明を参照し、必要であれば他のパラメータを変更します。

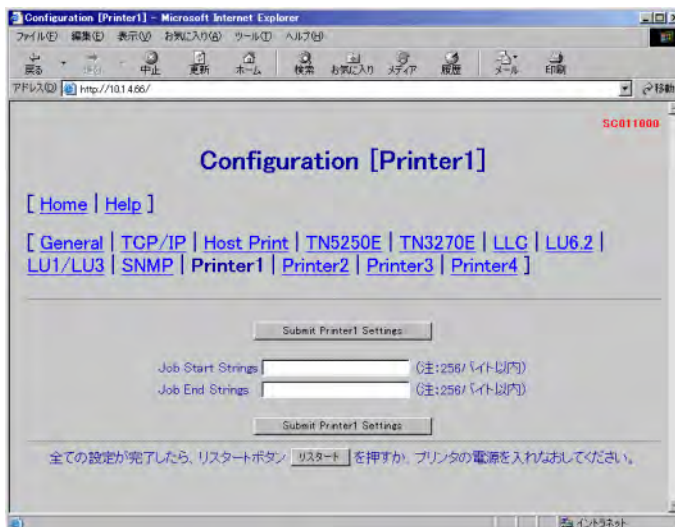
変更後に「Submit TN5250E Settings」ボタンを押し、変更したパラメータを保存します。

Host Print のリンクをクリックすると以下のように表示されます。



3.2.5.2 Host Print を参照し変更が必要であれば変更してください。変更後は、Submit Host Print Settings をクリックして変更内容を保存してください。

リンク TN5250E 内で出力先ポートへ Prt1 ~ Prt4 を指定された場合、対応する Printer1 ~ Printer4 へ必要な設定を行います。PrinterX をクリックすると以下のように表示されます。



3.2.5.3 Printer1 ~ Printer4 および第 6 章 論理プリンタを参照し必要な設定を行ってください。変更後は、Submit PrinterX Settings をクリックして変更内容を保存してください。

全ての設定が完了したら（他の画面での設定も含みます）プリンタの電源を入れなおすか「リスタート」ボタンを押してください。



- ・「リスタート」ボタンを押す場合や、プリンタの電源を入れなおす場合は、必ず印刷が完了している事を確認してください。
印刷中に本製品を再起動させると、再起動後正常に動作しない場合があります。
- ・「リスタート」ボタンを押し、本製品が再起動するまでに1分数十秒かかる場合があります。
これは、LLC(SNA)接続の切断処理をする場合です。ご了承ください。

3.2.3.3 自動構成における AS/400 の設定

基本的には、AS/400 側の設定は不要です。

pConnectのパラメータを設定し、AS/400とのセッションが確立されると、必要な記述が自動構成されます。

(5553の自動作成)

AS/400 構成状況の確認

WRKCFGSTS CFGTYPE(*CTL)コマンドにて、**pConnect**のパラメータに設定したデバイス名を確認すると、以下の表示になります。

```

                                     構成状況処理
                                     S103ZT8M
                                     02/01/11 14:42:32
位置指定 .....                      開始文字
オプションを入力して、実行キーを押してください。
  1= オンへの構成変更    2= オフへの構成変更    5= ジョブ処理    8= 記述の処理
  9= モード状況の表示    13= APPN 状況の処理...
OPT  記述                状況                ----- ジョブ -----
      QQAHOST            オフに構成変更
      QVIRCD0001          活動状態
      ⋮
      PCNTN5250A          活動状態 / 書出 PGM  PCNTN5250A  QSPLJOB    143287
      ⋮

                                     続く ...

パラメータまたはコマンド
===>
F3= 終了  F4=フﾟロﾟット  F12= 取り消し  F23 =オﾟション 続き  F24= キーの続き
```

AS/400 からテスト印刷

- ・ **pConnect** ヘプリントジョブを送ります。
- ・ 最初の印刷は、メッセージ応答待ちになりますので、メッセージに応答してください。

3.2.4 TN5250E 手動構成

3.2.4.1 AS/400 環境確認

以下は、TN5250E プロトコルを使用して印刷するために、AS/400 を手動で構成する場合、AS/400 環境で確認・メモすべき一覧です。

項目	コマンド	確認・メモ内容
QAUTOVRT	DSPSYSVAL QAUTOVRT	0であること
AS/400のIPアドレス	WRKTCPSTS *IFC	

上記項目を確認・メモすべき具体的な手順です。

DSPSYSVAL QAUTOVRT とタイプし、実行キーを押してください。QAUTOVRT パラメータの数が0であることを確認してください。QAUTOVRT の値が0ではない場合、プリンタ装置が自動構成されますので、一時的に0にしてください。

WRKTCPSTS *IFC とタイプし、実行キーを押してください。AS/400 の IP アドレスを確認してください。AS/400 に有効な IP アドレスが設定されていない場合、IP アドレスを設定してください。AS/400 に IP アドレスが設定不能の場合、TN5250E での印刷はできませんので、LU6.2 を使用して印刷するようにしてください。

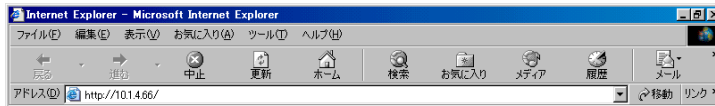
*注意:TN5250E接続において、システム値(QAUTOCFG);自動構成装置は一切関係ありません。

3.2.4.2 pConnectの設定

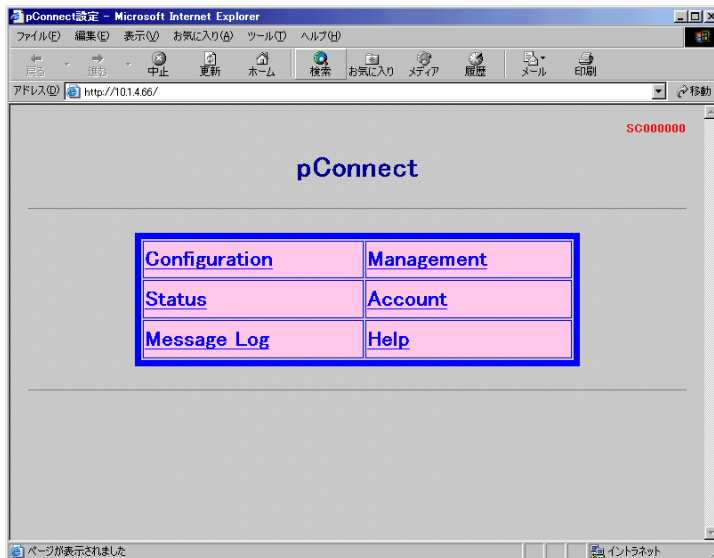
pConnectに Web ブラウザでアクセスする方法

各種Webブラウザ製品でURLを入力する部分がありますのでそこにhttp://IPアドレスを入力するだけで終了です。

以下はインターネットエクスプローラで10.1.4.66の IPアドレスをもつpConnectにアクセスする場合です。



アクセスするとpConnectの Web ページが表示されます。



Configuration をクリックして Configuration ページを表示させて、TN5250E のリンクをクリックすると以下のように表示されます。



TN5250E プロトコル有効を有効にチェックします。

Host IP アドレスに 3.2.3.1 環境確認 で確認したアドレスを設定します。

デバイス名にプリンタ装置の名前を設定します。

次頁以降のパラメータ説明を参照し、必要であれば他のパラメータを変更します。

変更後に「Submit TN5250E Settings」ボタンを押し、変更したパラメータを保存します。

- ⑧ Host Print のリンクをクリックすると以下のように表示されます。



3.2.5.2 Host Print を参照し変更が必要であれば変更してください。変更後は、Submit Host Print Settings をクリックして変更内容を保存してください。

- ⑨ リンク TN5250E 内で出力先ポートへPrt1～Prt4 を指定された場合、対応する Printer1～Printer4 へ必要な設定を行います。PrinterX をクリックすると以下のように表示されます。



3.2.5.3 Printer1～Printer4 および第6章 論理プリンタを参照し必要な設定を行ってください。変更後は、Submit PrinterX Settings をクリックして変更内容を保存してください。

全ての設定が完了したら（他の画面での設定も含みます）プリンタの電源を入れなおすか「リスタート」ボタンを押してください。



- ・「リスタート」ボタンを押す場合や、プリンタの電源を入れなおす場合は、必ず印刷が完了している事を確認してください。
印刷中に本製品を再起動させると、再起動後正常に動作しない場合があります。
- ・「リスタート」ボタンを押し、本製品が再起動するまでに1分数十秒かかる場合があります。
これは、LLC(SNA)接続の切断処理をする場合です。ご了承ください。

3.2.4.3 手動構成におけるAS/400の設定

設定を開始する前に、**pConnect**のパラメータリストを出力しておくことをお奨めします。
パラメータリストの出力方法は、1.2.3 テストプリントを参照してください。

仮想WS制御装置の作成

仮想WS制御装置の記述を作成するためにCRTCTLVWSと入力します。画面に表示されるパネルの項目を以下のように選択してください。

- ・制御装置記述：使用する制御装置の名称を決めて入力してください。

例

仮想ワークステーション・コントローラの記述の作成例です。

制御装置記述の作成(仮想 WS)(CRTCTLVWS)		
選択項目を入力して、実行キーを押してください。		
制御装置記述	> QVIRCD0001	名前
IPL 時のオンライン	> *YES	*YES, *NO
テキスト記述	> *BLANK	
終り		
F3= 終了 F4=プロンプト F5= 最新表示 F10= 追加のパラメーター		
F12= 取消し F13= この画面の使用法 F24= キーの続き		
パラメーターCTLDが必要である。		

仮想WS制御装置が既に作成されている場合は、新規に作成する必要はありません。
既存の仮想WS制御装置もご使用いただけます。

プリンタ装置の作成

プリンタ装置の記述を作成するにはCRTDEVPRT と入力します。画面に表示されるパネルの項目を以下のように設定してください。

- ・ 装置記述 : 装置として使用するものの名称を決めて入力します。
ただし、3.2.4.2 **pConnect**の設定 で設定したデバイス名と同一でなければいけません。
- ・ 装置クラス : *VRT を選択します。
- ・ 装置タイプ : 5553 を設定してください。
- ・ 装置形式 : B01 を設定してください。
- ・ 接続されている制御装置 : 前節で作成した仮想コントローラ (QVIRCD000x) を設定してください。
- ・ DBCS 機能の装置の機構 : 2424J2 を設定します。

例

プリンタ装置の記述の作成例です。

装置記述の作成(印刷装置)(CRTDEVPRT)

選択項目を入力して、実行キーを押してください。

装置記述	> PCNTN5250M	名前
装置クラス	> *VRT	*ANYNW, *FAX, *FR, *IDLC ...
装置タイプ	> 5553	3287, 3812, 4019, 4201 ...
装置型式	> B01	0, 1, 2, 3, 4, 10, 13, 200 ...
IPL 時のオンライン	> *NO	*YES, *NO
接続される制御装置	> QVIRCD0001	名前
フォント :		
識別コード	> 3	3, 5, 11, 12, 13, 18, 19 ...
ポイント・サイズ	> *NONE	000.1-999.9, *NONE
用紙送り	> *TYPE	*TYPE, *COUNT, *CUT, *AUTOCUT
区切り用紙入れ	> *FILE	名前
セパレーター・ファイル	> *NONE	名前, *NONE
ライブラリー	>	名前, *LIBL, *CURLIB
印刷装置エラー・メッセージ	> *INFO	*INQ, *INFO

続く ...

F3= 終了 F4=プロンプト F5= 最新表示 F12= 取消し F13= この画面の使用方法
F24= キーの続き

制御装置、装置を VARY ON に

AS/400 のディスプレイセッションで、WRKCFGSTS コマンドを使用して、手動で作成したプリンタ装置をオンへ構成変更 (VARY ON) します。

AS/400 構成状況の確認

ここまでの手動構成作業の結果、AS/400 上で **pConnect** の構成状況を WRKCFGSTS CFGTYPE (*CTL) コマンドで確認すると、1 台の **pConnect** では、下記のような構成状況になります。

```
                                構成状況処理
                                                                S103ZT8M
                                                                02/01/11 14:42:32
位置指定 .....                開始文字
オプションを入力して、実行キーを押してください。
  1= オンへの構成変更    2= オフへの構成変更    5= ジョブ処理    8= 記述の処理
  9= モード状況の表示    13= APPN 状況の処理...
OPT  記述                状況                ----- ジョブ -----
      QQAHOST            オフに構成変更
      QVIRCD0001        活動状態
      :
      HOSTNETIP        活動状態 / 書出 PGM  HOSTNETIP  QSPLJOB    143287
      :
                                                                続く ...

パラメータまたはコマンド
====>
F3= 終了  F4=プロンプト  F12= 取消し  F23= オプション 続き  F24= キーの続き
```

ライターの起動

ライターを起動します。(STRPRTWTR コマンド)

AS/400 からテスト印刷

- ・ **pConnect**へプリントジョブを送ります。
- ・ ライター起動後の最初の印刷は、メッセージ応答待ちになりますので、メッセージに応答してください。

3.2.5 TN5250E パラメータ説明

TN5250Eを使用して印刷するために、設定しなければならないパラメータのWebブラウザによる各設定画面ごとのパラメータ説明です。

3.2.5.1 TN5250E

(1) TN5250E プロトコル有効

TN5250E プロトコルを有効にする場合は、設定値を「有効」にしてください。

(2) IP アドレス

pConnectを TN 接続するホストの IP アドレスを設定します。

[注意]

- ・ 5250ホストIPアドレス値が000.000.000.000の状態では、接続動作を行いません。

(3) ポート番号

TCP/IP のポート番号を指定します。

(4) 自動接続

ホストから切断要求がきて一度切断した後、プリンタ側から自動的に接続要求を発行します。

(5) ホストコードページ

1 バイト文字のコードテーブルを指定します。

930 英数カタカナ。英大文字と半角カナが印字されます。英小文字は印字されません。

930EX 英数カタカナ拡張。英大文字、半角カナと英小文字が印字されます。

931 英数小文字。英大文字と英小文字が印字されます。半角カナは印字されません。

939 英数小文字拡張。英大文字、英小文字と半角カナが印字されます。

(6) デバイス名

印刷装置のデバイス名を定義します。半角の英数字で最大10文字まで指定できます。

[注意]

- ・ 使用可能文字には、以下の制限があります。

1 文字目 :A~Z,@,#,\$

2 文字目以降 :A~Z,0~9,@,#,\$,_,.

(7) メッセージ待ち行列

プリンタの操作メッセージが送られる先の待ち行列の名前を定義します。

半角の英数字で最大10文字まで指定できます。

メッセージ待ち行列はディスプレイ装置ごとに存在し、ディスプレイ装置自身と同じ名前が割り当てられます。

ここでディスプレイ・セッションの名前を指定した場合には、このプリンタと関連したメッセージは、デフォルト値待ち行列ではなく、そのディスプレイ・セッションに送られます。

出荷時の値 : QSYSOPR

[注意]

- ・ 使用可能文字には、以下の制限があります。

1文字目 : A~Z, @, #, \$

2文字目以降 : A~Z, 0~9, @, #, \$, _, .

(8) メッセージライブラリー

メッセージ待ち行列が入っているライブラリーの名前を定義します。

半角の英数字で最大10文字まで指定できます。

出荷時の値 : *LIBL

[注意]

- ・ 使用可能文字には、以下の制限があります。

1文字目 : A~Z, @, #, \$

2文字目以降 : A~Z, 0~9, @, #, \$, _, .

(9) SI/SO モード

SI/SOモード制御コードが、文字拡大指定範囲に含まれたときに拡大修飾の影響を受けるか受けないかを選択します。

選択可能値 : オン *

オフ

(* は出荷時の値)

[注意]

- ・ 印字結果をIBMの装置と同一にするためには、以下のような関係があります。

IBM5227 影響を受けない

IBM5327 影響を受ける

(10)ASCII Transparency

APW で書式合成 (MRGAPW) を行う際、印刷装置タイプ (DEVTYPE) へ *PAGES が指定されたときにAS/400から送出される印刷データストリームのフォーマットと合致するものを選択します。

選択可能値 : Continuous *
Subcommand
(* は出荷時の値)

(11)出力ポート

論理プリンタを経由してプリンタへ印刷データを送出する場合、prt1 ~ prt4のどれかを選択します。論理プリンタについては、第6章 論理プリンタをご参照ください。論理プリンタを経由せず直接プリンタへ印刷データを送出する場合、LPT1を選択してください。

選択可能値 : LPT1 *
prt1
~
prt4
(* は出荷時の値)

3 . 2 . 5 . 2 Host Print

(1) プリンタドライバ

5577(PAGES): 5250SCS から 5577 (PAGES) エミュレーションへ交換します。

ASCII Passthru : 5250SCS エミュレーションを無変換でプリンタへ送出します。
通常このモードは使用しないでください。

この機能は障害発生時に解析等の為使用します。

使用する場合はプリンタ側をトレースモード (16 進ダンプモード) に設定し使用する必要があります。

(2) ユーザーフォント

pConnect上のユーザーフォントを使用するか、プリンタ上のユーザーフォントを使用するかを選択します。

(3) IPS トレース

IPS トレースを採取したい場合は「ON」を選択してください。

3.2.5.3 Printer1 ~ Printer4

(1) Job Start Strings

各印刷JOB前にプリンタ制御コマンド等の文字列を送信するために指定します。16進数で最大256バイトまで設定できます。

(2) Job End Strings

各印刷JOB後にプリンタ制御コマンド等の文字列を送信するために指定します。16進数で最大256バイトまで設定できます。

詳しくは第6章論理プリンタをご参照ください。

3.2.6 TN5250E メッセージ一覧

3.2.6.1 メッセージ

プリンタ表示	主な原因
装置デバイス名 S-02 ヘルコマンド	ホストコンピュータからベルコマンドを受信しました。
装置デバイス名 S-04 インサツノカキ	印刷不能文字を受信しましたホスト・コンピュータのプログラムにエラーがあるか、データが壊れているためにこの状態が発生しています。ホスト・コンピュータのプログラマーに相談してください。回復は、「印刷可能・印刷中断」スイッチを押します。
装置デバイス名 S-05 インパリッドパラメータ	5250Eエミュレーションを使用している場合、転送データに未定義の制御コードが検出されました。ホスト・システムのプログラムにエラーがあるか、データが壊れているためにこの状態が発生しています。ホスト・システムのプログラマーに相談してください。
装置デバイス名 S-06 ジュシデータエラー (XXXX:YYYY)	受信データからエラーを検出しました。電源スイッチのオフ/オンを行なってください。 再度発生した場合は、障害が発生したままの状態を表示内容を担当保守員に連絡してください。 LU6.2またはTN5250Eのデータ部が、更にGDSフォーマットとなっています。このフォーマットの中でデータカウンタ値とデータ数が合わないとき発生します。

3.3 LU6.2(SNA)

3.3.1 LU6.2 とは

イーサネット(LAN)直結の接続にて、SNA プロトコルの APPC 機能を用いて AS/400 に接続する機能です。

3.3.2 LU6.2 接続における AS/400 前提条件

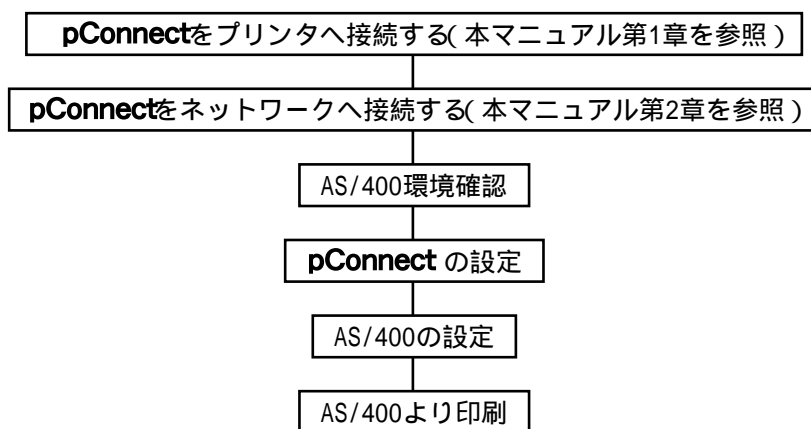
pConnectでの LU6.2 による AS/400 接続は、OS/400 **V3.7 以上**になります。PTFの更新がされていないで、低いレベルによっては、動作の保証しかねる場合がございます。

3.3.3 LU6.2 設定手順概要

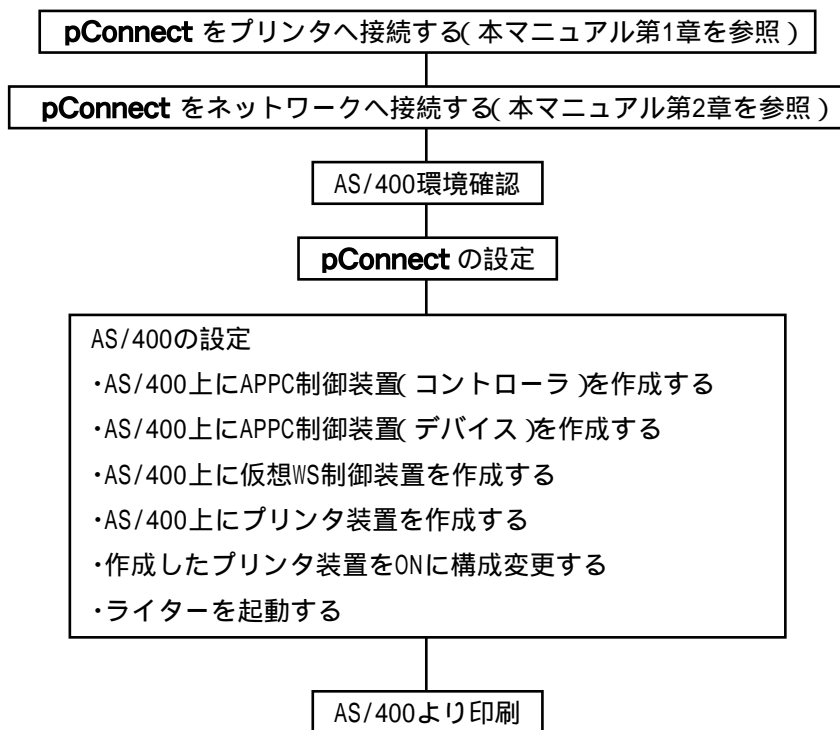
LU6.2(SNA)環境における基本的なインストールは2つの方法があります。

- ・ AS/400 の自動設定機能に基づくセットアップ
- ・ AS/400 の設定を手動で行うセットアップ

AS/400の自動設定機能に基づくセットアップ概要(自動構成)



AS/400の設定を手動で行うセットアップ概要(手動構成)



3.3.4 LU6.2 自動構成

3.3.4.1 AS/400 環境確認

ここでは AS/400 の自動構成機能を使用して導入する手順を述べます。

もし、自動構成機能が使用できない場合、手動で設定するようになります。

以下は、SNA プロトコルを使用して印刷できるように AS/400 が構築されているか AS/400 の環境で確認・メモするべき一覧です。

項目	コマンド	確認・メモ内容
ローカルネットワーク ID	DSPNETA	
省略時のローカルロケーション	DSPNETA	
ローカル・アダプタ・アドレス (ADPTADR)	WRKCFGSTS *LIN	
最大装置制御数 (MAXCTL)	WRKCFGSTS *LIN	
アクティブになっているコントローラ数	WRKCFGSTS *LIN	最大装置制御数 (MAXCTL) を超えていないこと
SSAP	WRKCFGSTS *LIN	
自動作成コントローラ (AUTOCRTCTL)	WRKCFGSTS *LIN	*YESであること
QAUTOVRT	WRKSYSVAL	
QPCSUPP	DSPMODD	存在すること
仮想装置の装置数	WRKCDGSTS *CTL	QAUTOVRT に設定された仮想装置の自動構成装置数を超えていないこと。

上記項目を確認・メモすべき具体的な手順です。

AS/400 のコマンドラインで DSPNETA とタイプしてください。この先の設定で使用するので、ローカル・ネットワーク ID と省略時のローカル・ロケーションをメモしておいてください。F3 キーを押して終わらせます。

AS/400 のコマンドラインで DSPLIND XXXXXXXXXXX とタイプしてください。XXXXXXXXXX には **pConnect** で使用される LAN の回線記述の名前を指定してください。もし回線記述の名前がわからない場合、WRKCFGSTS *LIN とタイプしシステム上の全ての回線記述を表示し、該当の回線記述で機能 8 を選択しさらに機能 5 を選択してください。

キーワードを表示するために F11 キーを押してください。

この先の設定で使用するので、ローカル・アダプタ・アドレス (ADPTADR) と最大制御装置数 (MAXCTL) をメモしておいてください。実行キーを押して、アクティブになっているコントローラを表示し、そのコントローラの数 MAXCTL を超えな

いことをチェックしてください。

SSAP リストを表示するために繰り返して実行キーを押してください。SNA のために割り当てられた少なくとも1つのSSAP エントリーがあることを確認してください。この先の設定で使用するので、SSAP の値をメモしておいてください。

[注意]

・ SNA エントリーは、通常 SSAP 04 に設定されます。

自動作成コントローラ (AUTOCRTCTL) を表示するために繰り返して実行キーを押してください。AUTOCRTCTL パラメータを *YES に設定しておいてください。変更不可の場合、3.3.5 SNA 手動構成へ進んでください。コマンドラインに戻るために F3 キーを押してください。

AS/400 のコマンドラインで WRKSYSVAL とタイプしてください。QAUTOVRT のパラメータ値をメモしてください。F3 キーを押してください。

AS/400 のコマンドラインで DSPMODD QPCSUPP とタイプし、モード QPCSUPP が存在することを確認します。もし存在しない場合、IBM 社へ問い合わせ、モード QPCSUPP を定義してください。

これから導入しようとしている **pConnect** の記述 (同一の MAC アドレス) が既に AS/400 上にあり、**pConnect** のローカル CP 名を変更して再導入する場合、コントローラやデバイスの古い記述をすべて削除後、新しい設定を行ってください。削除には WRKCFGSTS *CTL コマンドを使用します。該当の APPC デバイス記述、APPC コントローラ記述、5553 デバイス記述を全て削除します。

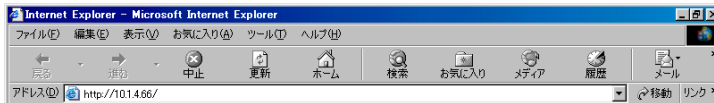
既存の **pConnect** のローカル CP 名等が不明な場合は、テストプリント (本マニュアル第 1 章を参照) でパラメータリストを印刷してご確認ください。

AS/400 のコマンドラインで WRKCFGSTS *CTL とタイプしてください。仮想コントローラ配下の仮想装置数を数えてください。仮想装置数が で調べた QAUTOVRT の値より小さいことを確認してください。仮想装置数が QAUTOVRT より大きい場合、QAUTOVRT の値を大きな値へ変更してください。

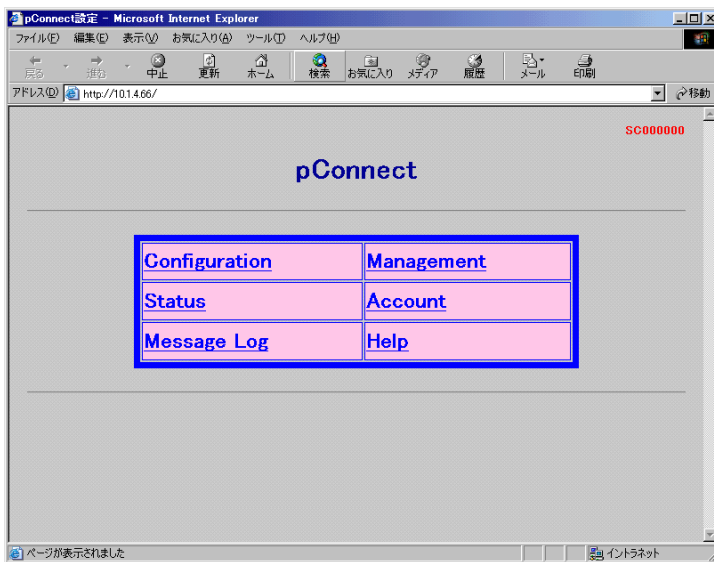
3.3.4.2 pConnectの設定

pConnectにWebブラウザでアクセスする方法

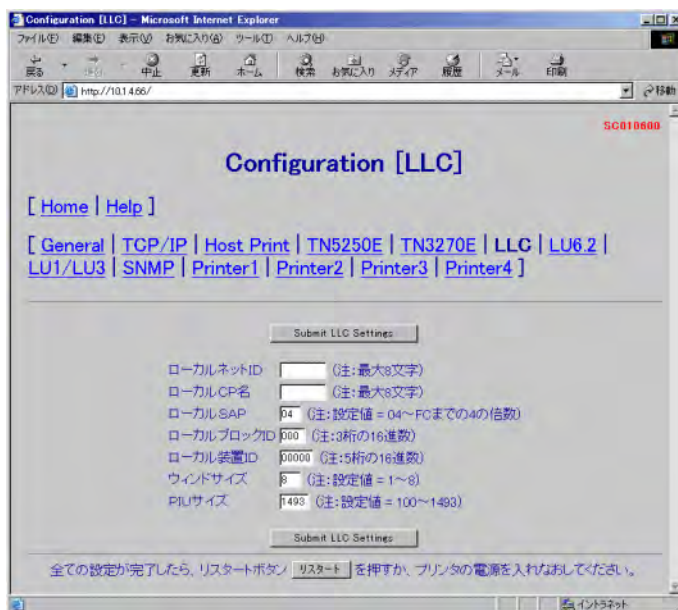
各種Webブラウザ製品でURLを入力する部分がありますので、そこにhttp://IPアドレスを入力するだけで終了です。以下はインターネットエクスプローラで10.1.4.66のIPアドレスをもつpConnectにアクセスする場合があります。



アクセスするとpConnectのWebページが表示されます。



Configuration をクリックして Configuration ページを表示させて、LLC のリンク をクリックすると以下のように表示されます。



ローカルネット ID に 3.3.4.1 AS/400 環境確認 で取得したローカルネットワーク ID を設定します。

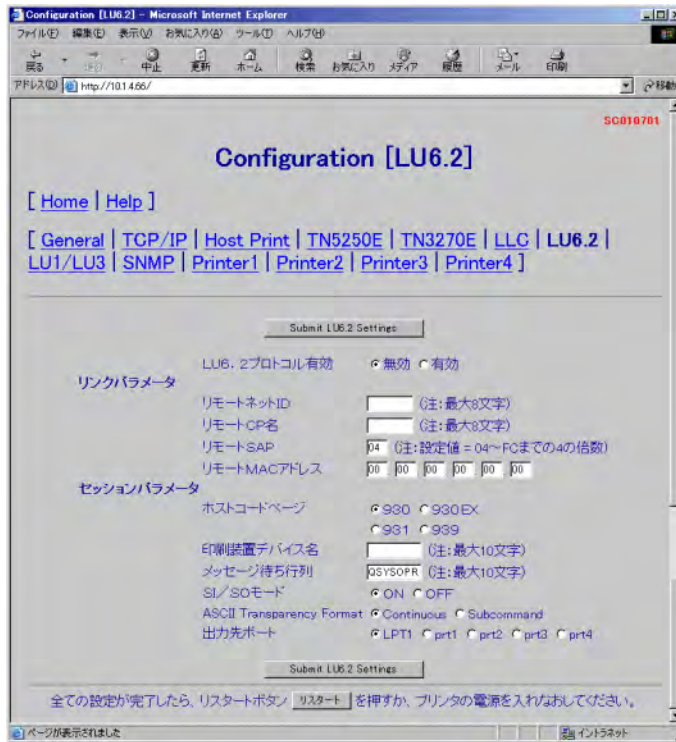
ローカル CP 名に **pConnect** の任意の CP 名を設定します。

ローカル SAP に 3.3.4.1 AS/400 環境確認 で取得した SSAP を設定します。

3.3.6 LU6.2 パラメータ説明を参照し、必要であれば他のパラメータを変更します。

変更後に「Submit LLC Settings」ボタンを押せば変更されたパラメータは保存されます。

つづいて、LU6.2のリンクをクリックすると以下のように表示されます。



LU6.2 プロトコル有効を有効にチェックします。

リモートネット ID に 3.3.4.1 AS/400 環境確認 で取得したローカルネットワーク ID を設定します。

3.3.4.1 AS/400 環境確認 で取得した「省略時のローカル・ロケーション」をリモート CP 名へ設定します。

リモート SAP に 3.3.4.1 AS/400 環境確認 で取得した SSAP を設定します。

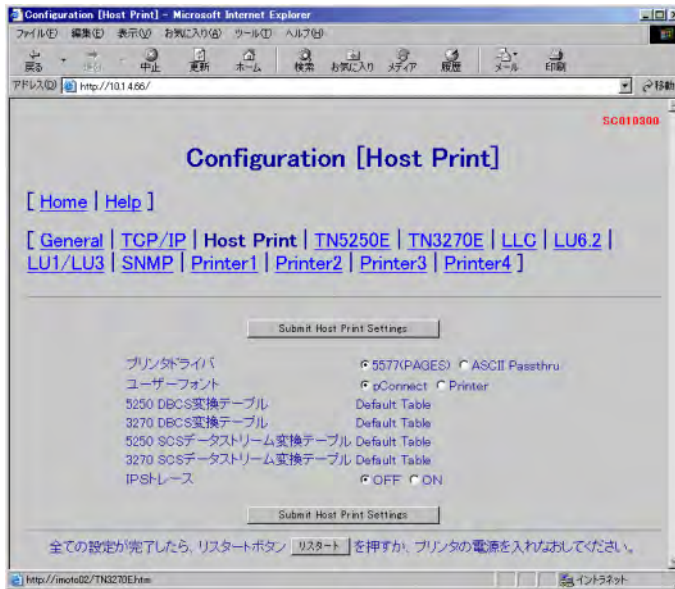
リモート MAC アドレスを設定します。リモート MAC アドレスは、3.3.4.1 AS/400 確認 で取得したローカル・アダプタ・アドレスを設定します。

印刷装置デバイス名にデバイス名を設定します。

3.3.6 LU6.2 パラメータ説明を参照し、必要であれば他のパラメータを変更します。

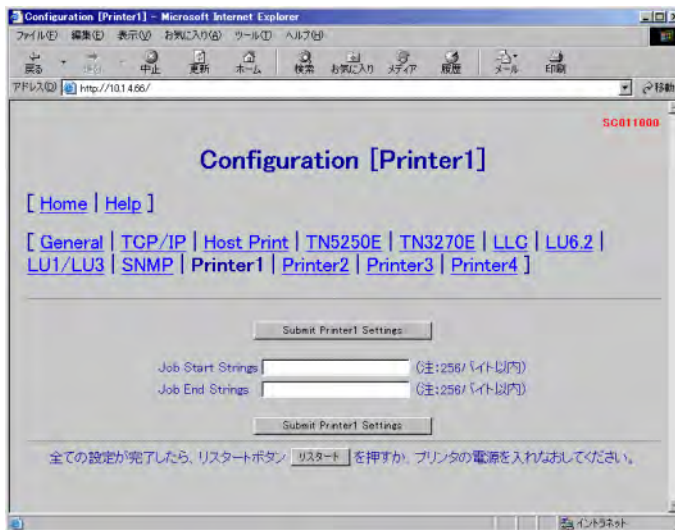
変更後に「Submit LU6.2 Settings」ボタンを押せば変更されたパラメータは保存されます。

Host Print のリンクをクリックすると以下のように表示されます。



3.2.5.2 Host Print を参照し変更が必要であれば変更してください。変更後は、Submit Host Print Settings をクリックして変更内容を保存してください。

リンクLU6.2内で出力先ポートへPrt1 ~ Prt4を指定された場合、対応するPrinter1 ~ Printer4へ必要な設定を行います。PrinterXをクリックすると以下のように表示されます。



3.2.5.3 Printer1 ~ Printer4および第6章 論理プリンタを参照し必要な設定を行ってください。変更後は、Submit PrinterX Settings をクリックして変更内容を保存してください。

全ての設定が完了したら（他の画面での設定も含みます）プリンタの電源を入れなおすか「リスタート」ボタンを押してください。



- ・「リスタート」ボタンを押す場合や、プリンタの電源を入れなおす場合は、必ず印刷が完了している事を確認してください。
印刷中に本製品を再起動させると、再起動後正常に動作しない場合があります。
- ・「リスタート」ボタンを押し、本製品が再起動するまでに1分数十秒かかる場合があります。
これは、LLC(SNA)接続の切断処理をする場合です。ご了承ください。

3.3.4.3 自動構成におけるAS/400の設定

pConnectのパラメータを設定し、AS/400とのセッションが確立されると、必要な記述が自動構成されます。

AS/400 構成状況の確認

WRKCFGSTS CFGTYPE(*CTL)コマンドにて、**pConnect**へ設定したデバイス名を確認しますと以下の表示になります。

```

                                     構成状況処理
                                     S103ZT8M
                                     02/01/11 14:26:21
位置指定 .....                      開始文字
オプションを入力して 実行キーを押してください。
  1= オンへの構成変更    2= オフへの構成変更    5= ジョブ処理    8= 記述の処理
  9= モード状況の表示    13= APPN 状況の処理...
OPT  記述                      状況          ----- ジョブ -----
      PCNLLC                      活動状態
      PCNLLC                      活動状態
      QPCSUPP                      活動状態 / ターゲット    *PASSTHR
      ⋮
      QVIRCD0001                  活動状態
      ⋮
      PCNLU62A                    活動状態 / 書出 PGM  HOSTNETP  QSPLJOB    143285

                                     続く ...

パラメーターまたはコマンド
===>
F3= 終了  F4= プリント  F12= 取消し  F23= オプション 続き  F24= キーの続き

```

AS/400 からテスト印刷

- ・ **pConnect**へプリントジョブを送ります。
- ・ 最初の印刷は、メッセージ応答待ちになりますので、メッセージに応答してください。

3.3.5 LU6.2(SNA)手動設定

3.3.5.1 AS/400 環境確認

以下は、LU6.2(SNA)プロトコルを使用して印刷するために、AS/400を手動で構成する場合、AS/400 環境で確認・メモすべき一覧です。

項目	コマンド	確認・メモ内容
ローカルネットワークID	DSPNETA	
省略時のローカルロケーション	DSPNETA	
ローカル・アダプタ・アドレス (ADPTADR)	WRKCFGSTS *LIN	
最大装置制御数(MAXCTL)	WRKCFGSTS *LIN	
アクティブになっているコントローラ数	WRKCFGSTS *LIN	最大装置制御数(MAXCTL)を超えていないこと
SSAP	WRKCFGSTS *LIN	
自動作成コントローラ (AUTOCRTCTL)	WRKCFGSTS *LIN	*N0であること
QAUTOVRT	WRKSYSVAL	
QPCSUPP	DSPMODD	存在すること
仮想装置の装置数	WRKCFGSTS *CTL	QAUTOVRTに設定された仮想装置の自動構成装置数を超えていないこと

上記項目を確認・メモすべき具体的な手順です。

AS/400のコマンドラインでDSPNETAとタイプしてください。この先の設定で使用するので、ローカル・ネットワークIDと省略時のローカル・ロケーションをメモしておいてください。F3キーを押して終わらせます。

DSPLIND XXXXXXXXXXXとタイプしてください。XXXXXXXXには**pConnect**で使用されるLANの回線記述の名前を指定してください。もし回線記述の名前がわからない場合、WRKCFGSTS *LINとタイプしシステム上の全ての回線記述を表示し、該当の回線記述で機能8を選択しさらに機能5を選択してください。

キーワードを表示するためにF11キーを押してください。

この先の設定で使用するので、ローカル・アダプタ・アドレス(ADPTADR)と最大制御装置数(MAXCTL)をメモしておいてください。実行キーを押して、アクティブになっているコントローラを表示し、そのコントローラの数(MAXCTL)を超えないことをチェックしてください。

SSAP リストを表示するために繰り返し実行キーを押してください。SNA のために割り当てられた少なくとも1つの SSAP エントリーがあることを確認してください。この先の設定で使用するので、SSAP の値をメモしておいてください。

[注意]

・ SNA エントリーは、通常 SSAP 04 に設定されます。

自動作成コントローラ (AUTOCTRL) を表示するために繰り返し実行キーを押してください。AUTOCTRL パラメータを *NO に設定しておいてください。コマンドラインに戻るために F3 キーを押してください。

AS/400 のコマンドラインで WRKSYSVAL とタイプしてください。QAUTOVRT のパラメータ値をメモしてください。コマンドラインに戻るために F3 キーを押してください。

DSPMODD QPCSUPP とタイプし、QPCSUPP が存在することを確認します。

もし存在しない場合、IBM 社へ問い合わせ QPCSUPP を定義してください。

これから導入しようとしている **pConnect** の記述 (同一 MAC アドレス) が既に AS/400 上にあり、**pConnect** のローカル CP 名を変更して再導入する場合、コントローラやデバイスの古い記述をすべて削除後、新しい設定を行ってください。削除には WRKCFGSTS *CTL コマンドを使用します。該当の APPC デバイス記述、APPC コントローラ記述、5553 デバイス記述を全て削除します。

既存の **pConnect** のローカル CP 名等が不明な場合は、テストプリント (本マニュアル第 1 章を参照) でパラメータリストを印刷してご確認ください。

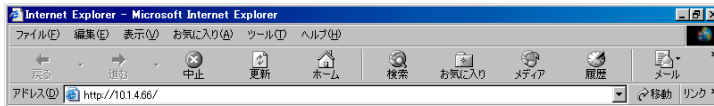
AS/400 のコマンドラインで WRKCFGSTS *CTL とタイプしてください。仮想コントローラ配下の仮想装置数を数えてください。仮想装置数が で調べた QAUTOVRT の値より小さいことを確認してください。仮想装置数が QAUTOVRT より大きい場合、QAUTOVRT の値を大きな値へ変更してください。

3.3.5.2 pConnectの設定

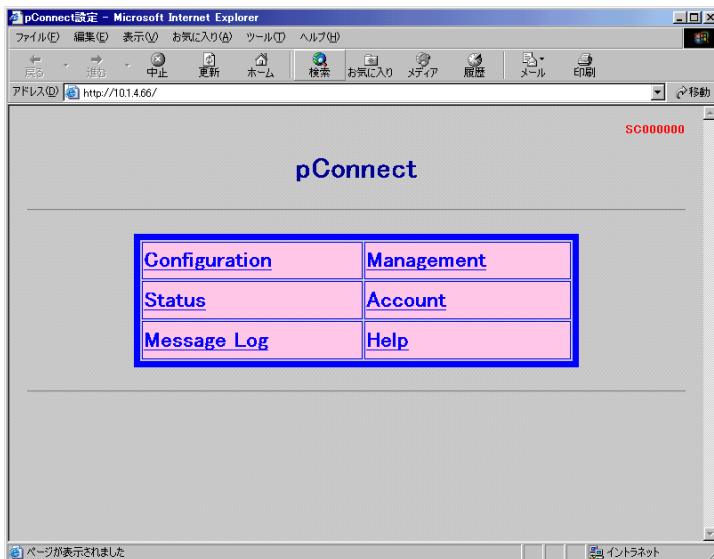
pConnectにWebブラウザでアクセスする方法

各種Webブラウザ製品でURLを入力する部分がありますので、そこにhttp://IPアドレスを入力するだけで終了です。

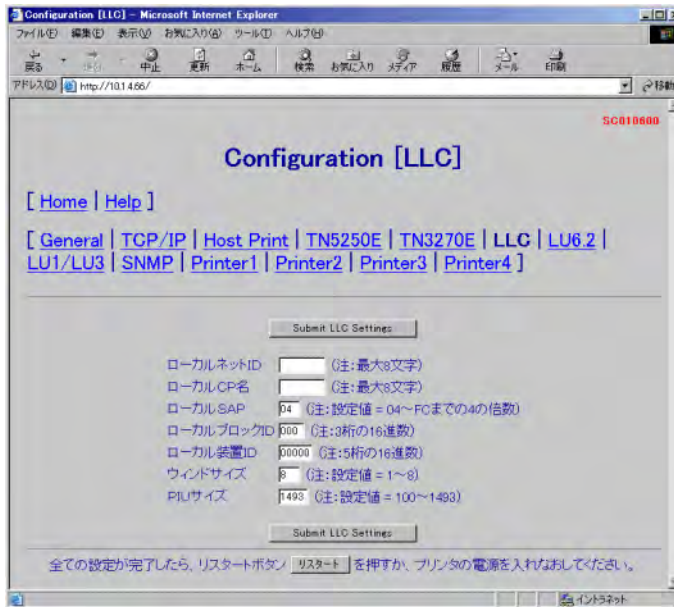
以下はインターネットエクスプローラで10.1.4.66のIPアドレスをもつpConnectにアクセスするケースです。



アクセスするとpConnectのWebページが表示されます。



Configuration をクリックして Configuration ページを表示させて、LLC のリンクをクリックすると以下のように表示されます。



ローカルネット ID に 3.3.5.1 AS/400 環境確認 で取得したローカルネットワーク ID を設定します。

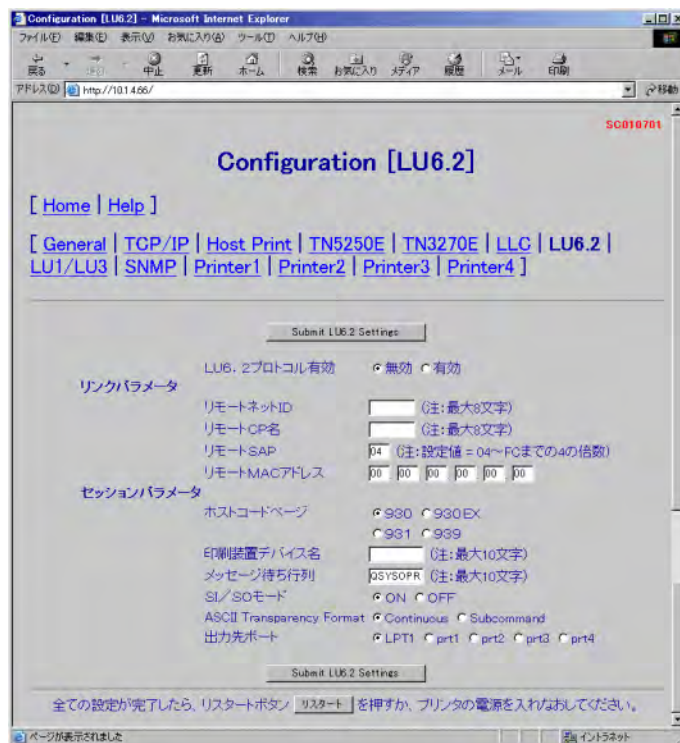
ローカル CP 名に **pConnect** の任意の CP 名を設定します。

ローカル SAP に 3.3.5.1 AS/400 環境確認 で取得した SSAP を設定します。

3.3.6 LU6.2 パラメータ説明を参照し、必要であれば他のパラメータを変更します。

変更後に「Submit LLC Settings」ボタンを押せば変更されたパラメータは保存されます。

つづいて、LU6.2のリンクをクリックすると以下のように表示されます。



LU6.2 プロトコル有効を有効にチェックします。

リモートネット ID に 3.3.5.1 AS/400 環境確認 で取得したローカルネットワーク ID を設定します。

3.3.5.1 AS/400 環境確認 で取得した「省略時のローカル・ロケーション」をリモート CP 名へ設定します。

リモート SAP に 3.3.5.1 AS/400 環境確認 で取得した SSAP を設定します。

リモート MAC アドレスを設定します。リモート MAC アドレスは、3.3.5.1 AS/400 確認 で取得したローカル・アダプタ・アドレスを設定します。

印刷装置デバイス名にデバイス名を設定します。

3.3.6 LU6.2 パラメータ説明を参照し、必要であれば他のパラメータを変更します。

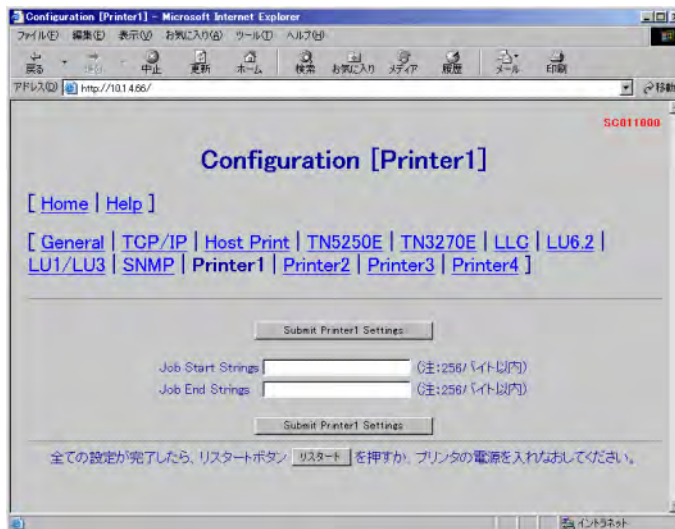
変更後に「Submit LU6.2 Settings」ボタンを押せば変更されたパラメータは保存されます。

Host Print のリンクをクリックすると以下のように表示されます。



3.2.5.2 Host Print を参照し変更が必要であれば変更してください。変更後は、Submit Host Print Settings をクリックして変更内容を保存してください。

リンクLU6.2内で出力先ポートへPrt1 ~ Prt4を指定された場合、対応するPrinter1 ~ Printer4へ必要な設定を行います。PrinterXをクリックすると以下のように表示されます。



3.2.5.3 Printer1 ~ Printer4および第6章 論理プリンタを参照し必要な設定を行ってください。変更後は、Submit PrinterX Settings をクリックして変更内容を保存してください。

全ての設定が完了したら（他の画面での設定も含みます）プリンタの電源を入れなおすか「リスタート」ボタンを押してください。



- ・「リスタート」ボタンを押す場合や、プリンタの電源を入れなおす場合は、必ず印刷が完了している事を確認してください。
印刷中に本製品を再起動させると、再起動後正常に動作しない場合があります。
- ・「リスタート」ボタンを押し、本製品が再起動するまでに1分数十秒かかる場合があります。
これは、LLQ(SNA)接続の切断処理をする場合です。ご了承ください。

3.3.5.3 手動構成における AS/400 の設定

設定を開始する前に、**pConnect**のパラメータリストを出力しておくことをお奨めします。パラメータリストの出力方法は、1.2.3 テストプリントを参照してください。

APPC 制御装置の作成

APPC コントローラの記述を作成する為に CRTCTLAPPC と入力します。画面に表示されるパネルの項目を以下のように選択してください。

- ・制御装置記述 : 使用する制御装置の名称を決めて入力してください。
- ・リンク・タイプ : *LAN を選択してください。
- ・APPN の可能性 : *YES を選択してください。
- ・交換回線リスト : 有効な回線の名称を入力してください。
- ・最大フレームサイズ : 16393 を選択してください。
- ・リモートネットワーク識別コード : このパラメータは**pConnect**が設置されている ID リモートネットワークの ID になっています。この値は **pConnect**のパラメータ、ローカルネット ID の設定と合致していなければなりません。デフォルトでこれは APPN になっています。
- ・リモート制御点 : このパラメータは**pConnect**のコントロール・ポイントの名称です。そしてこれは、**pConnect**のパラメータ、ローカル CP 名に合致していなければなりません。
- ・LAN リモート・アダプタ・アドレス : **pConnect**の MAC アドレス(S/N:Serial No.)を入力してください。
- ・APPN CP セッション・サポート : *YES を選択してください。
- ・APPN のノードタイプ : *LENNODE を選択してください。

例

APPCコントローラの記述の作成例です。

制御装置記述の作成 (APPC) (CRTCTLAPPC)		
選択項目を入力して、実行キーを押してください。		
制御装置記述	> <u>PCNLLC</u>	名前
リンク・タイプ	> <u>*LAN</u>	*IDLC, *LAN, *NONE, *SDLC . . .
IPL 時のオンライン	> <u>*YES</u>	*YES, *NO
APPN可能	> <u>*YES</u>	*YES, *NO
交換回線リスト	> <u>ETHERLIN01</u>	名前
値の続きは +		
最大フレーム・サイズ	> <u>16393</u>	265-16393, 256, 265, 265, 512 . . .
リモート ネットワーク 識別コード	> <u>APPN</u>	名前, *NETATR, *NONE, *ANY
リモート制御点	> <u>PCNLLC</u>	名前, *ANY
交換識別コード		00000000-FFFFFFFF
ダイヤル開始	> <u>*LINKTYPE</u>	*LINKTYPE, *IMMED, *DELAY
LAN遠隔アダプター・アドレス	> <u>00408C1B3007</u>	*0000000000001-FFFFFFFFFFFFFF
LAN DSAP	> <u>04</u>	04, 08, 0C, 10, 14, 18, 1C . . .
LAN SSAP	> <u>04</u>	04, 08, 0C, 10, 14, 18, 1C . . .
APPN CPセッション・サポート	> <u>*YES</u>	*YES, *NO
APPN ノードタイプ	> <u>*LENNODE</u>	*ENDNODE, *LENNODE
続く . . .		
F3= 終了 F4=プロンプト F5= 最新表示 F12= 取消し F13= この画面の使用法		
F24= キーの続き		

APPC 装置の作成

APPC装置の記述を作成する為にCRTDEVAPPCと入力します。画面に表示されるパネルの項目を以下のように選択してください。

- ・ 装置記述 : 使用する装置の名称を決めて入力してください。
- ・ リモート・ロケーション : このパラメータは、**pConnect**のパラメータローカルCP名と同じものを設定してください。
- ・ ローカル・ロケーション : このパラメータは、**pConnect**のパラメータリモートCP名と同じものを設定してください。
- ・ 接続されている制御装置 : このパラメータは、APPC制御装置と関連付けるために使われます。直前に作成されたAPPC制御装置の名前を設定してください。

例

APPC装置の記述の作成例です。

装置記述の作成(APPC)(CRTDEVAPPC)		
選択項目を入力して、実行キーを押してください。		
装置記述	> PCNLLC	名前
リモート・ロケーション	> PCNLLC	名前
IPL時のオンライン	> *YES	*YES, *NO
ローカル・ロケーション	> S103ZT8M	名前, *NETATR
リンク ネットワーク 識別コード	> *YES	名前, *NETATR, *NONE
接続される制御装置	> PCNLLC	名前
モード	> NETATR	名前, *NETATR
値の続きは +		
メッセージ待ち行列	> QSYSOPR	名前, QSYSOPR
ライブラリ	> *LIBL	名前, *LIBL, *CURLIB
APPN可能	> *NO	*YES, *NO
単一セッション:		
単一セッション可能	> *NO	*NO, *YES
会話の数	>	1-512
続く ...		
F3= 終了 F4=プロンプト F5= 最新表示 F12= 取り消し F13= この画面の使用法		
F24= キーの続き		

仮想WS制御装置の作成

仮想WS制御装置の記述を作成するためにCRTCTLVWSと入力します。画面に表示されるパネルの項目を以下のように選択してください。

- ・制御装置記述：使用する制御装置の名称を決めて入力してください。

例

仮想ワークステーション・コントローラの記述の作成例です。

制御装置記述の作成(仮想WS)(CRTCTLVWS)		
選択項目を入力して、実行キーを押してください。		
制御装置記述	QVIRCD0001	名前
IPL時のオンライン	*YES	*YES, *NO
テキスト記述	*BLANK	
終り		
F3= 終了 F4=プロンプト F5= 最新表示 F10= 追加のパラメーター F12= 取消し F13= この画面の使用法 F24= キーの続き パラメータ CTLDが必要である。		

仮想WS制御装置が既に作成されている場合は、新規に作成する必要はありません。既存の仮想WS制御装置もご使用いただけます。

プリンタ装置の作成

プリンタ装置の記述を作成するには CRTDEVPRT と入力します。画面に表示されるパネルの項目を以下のように設定してください。

- ・装置記述 : 装置として使用するものの名称を決めて入力します。
- ・装置クラス : *VRT を選択します。
- ・装置タイプ : 5553 を設定してください。
- ・装置形式 : B01 を設定してください。
- ・接続されている制御装置 : 前節で作成した仮想コントローラ (QVIRCD000x) を設定してください。
- ・DBCS 機能の装置の機構 : 2424J2 を設定します。

例

プリンタ装置の記述の作成例です。

装置記述の作成(印刷装置)(CRTDEVPRT)		
選択項目を入力して、実行キーを押してください。		
装置記述	> PCNLU62M	名前
装置クラス	> *VRT	*ANYNW, *FAX, *FR, *IDLC ...
装置タイプ	> 5553	3287, 3812, 4019, 4201 ...
装置型式	> B01	0, 1, 2, 3, 4, 10, 13, 200 ...
IPL 時のオンライン	> *YES	*YES, *NO
接続される制御装置	> QVIRCD0001	名前
フォント :		
識別コード	> 3	3, 5, 11, 12, 13, 18, 19 ...
ポイント・サイズ	> *NONE	000.1-999.9, *NONE
用紙送り	> *TYPE	*TYPE, *COUNT, *CUT, *AUTOCUT
区切り用紙入れ	> *FILE	名前
セパレーター・ファイル	> *NONE	名前, *NONE
ライブラリー	>	名前, *LIBL, *CURLIB
印刷装置エラー・メッセージ	> *INQ	*INQ, *INFO
続く ...		
F3= 終了 F4=プロンプト F5= 最新表示 F12= 取り消し F13= この画面の使用法		
F24= キーの続き		

制御装置、装置を VARY ON に

AS/400 のディスプレイセッションで、WRKCFGSTS コマンドを使用して、手動で作成した APPC 制御装置、APPC 装置、プリンタ装置をオンへ構成変更 (VARY ON) します。

AS/400 構成状況の確認

ここまでの手動構成作業の結果、AS/400 上で **pConnect** の構成状況を WRKCFGSTS コマンドで確認すると、1台の **pConnect** では、下記のような構成状況になります。

```

                                     構成状況処理
                                     S103ZT8M
                                     02/01/11 14:26:21
位置指定 .....                      開始文字
オプションを入力して 実行キーを押してください。
  1=オンへの構成変更   2=オフへの構成変更   5=ジョブ処理   8=記述の処理
  9=モード状況の表示  13=APPN 状況の処理...
OPT  記述                状況                ----- ジョブ -----
      PCNLLC              活動状態
      PCNLLC              活動状態
      QPCSUPP             活動状態 / ターゲット *PASSTHR
      :
      QVIRCD00001        活動状態
      :
      PCNLLC              活動状態 / 書出 PGM P2NLLC QSPLJOB 143285
                                     続く ...

パラメータまたはコマンド
====>
F3= 終了  F4=プロンプト  F12= 取消し  F23= オプション 続き  F24= キーの続き
```

ライターの起動

ライターを起動します。(STRPRTWTR コマンド)

AS/400 からテスト印刷

- ・ **pConnect**へプリントジョブを送ります。
- ・ ライター起動後の最初の印刷は、メッセージ応答待ちになりますので、メッセージに応答してください。

3.3.6 LU6.2 パラメータ説明

LU6.2(SNA)を使用して印刷するために、設定しなければならないパラメータについて、Web ブラウザによる各設定画面ごとのパラメータ説明です。

3.3.6.1 LLC

(1) ローカルネット ID

印刷装置のネットワーク名を定義します。半角の英数字で最大 8 文字まで指定できます。

ローカルネットワーク ID は、ホスト・コンピュータの APPC 制御装置記述の遠隔ネットワーク識別コードと同じでなければなりません。

[注意]

- ・ 使用可能文字には、以下の制限があります。

1 文字目 :A~Z,@,#,\$

2 文字目以降 :A~Z,0~9,@,#,\$

(2) ローカル CP 名

印刷装置の制御点名を定義します。半角の英数字で最大 8 文字まで指定できます。

ローカル CP 名は、ホストコンピュータの APPC 制御装置記述の遠隔制御点と同じでなければなりません。

[注意]

- ・ 使用可能文字には、以下の制限があります。

1 文字目 :A~Z,@,#,\$

2 文字目以降 :A~Z,0~9,@,#,\$

(3) ローカル SAP

印刷装置のローカル SAP (サービス・アクセス・ポイントの略称です。)を定義します。

16 進数 04 ~ FC までの 4 の倍数で設定します。

出荷時の値 : 04

(4) ローカルブロック ID

ブロック ID は、ネットワーク上のタイプ識別を定義します。3桁の16進数で定義します。

出荷時の設定値で使用してください。

出荷時の値 : 000

(5) ローカル装置 ID

物理装置 (PU) 識別子 (ID) はPUを識別します。PUは、ノードに関連付けられた資源を管理しモニターする構成要素です。

5桁の16進数で定義します。

出荷時の値で使用してください。

出荷時の値 : 00000

(6) ウィンドウサイズ

印刷装置の受信バッファ数を定義します。

設定可能値 : 1
 2
 .
 .
 .
 8 *

(* は出荷時の値)

(7) PIU サイズ

パス情報単位 (PIU) サイズは、データのメッセージ単位です。

設定可能値 : 0100
 .
 .
 .
 1493 *

(* は出荷時の値)

3 . 3 . 6 . 2 LU6.2

(1) リモートネット ID

ホスト・コンピュータのネットワーク ID を定義します。半角の英数字で最大 8 文字まで指定できます。

[注意]

- ・ 使用可能文字には、以下の制限があります。
 - 1 文字目 :A~Z,@,#,\$
 - 2 文字目以降 :A~Z,0~9,@,#,\$

(2) リモート CP 名

ホスト・コンピュータの制御点名を定義します。半角の英数字で最大 8 文字まで指定できます。

[注意]

- ・ 使用可能文字には、以下の制限があります。
 - 1 文字目 :A~Z,@,#,\$
 - 2 文字目以降 :A~Z,0~9,@,#,\$

(3) リモート SAP

ホスト・コンピュータのサービス・アクセス・ポイントを定義します。
16 進数 04 ~ FC までの 4 の倍数で設定します。

出荷時の値 : 04

(4) リモート MAC アドレス

ホスト・コンピュータのアダプター・アドレス (MAC アドレス) を定義します。
アダプター・アドレスは、16 進数 12 桁で定義します。

(5) ホストコードページ

1 バイト文字のコードテーブルを指定します。

- | | |
|-------|---------------------------------------|
| 930 | 英数カタカナ。英大文字と半角カナが印字されます。英小文字は印字されません。 |
| 930EX | 英数カタカナ拡張。英大文字、半角カナと英小文字が印字されます。 |
| 931 | 英数小文字。英大文字と英小文字が印字されます。半角カナは印字されません。 |
| 939 | 英数小文字拡張。英大文字、英小文字と半角カナが印字されます。 |

(6) 印刷装置デバイス名

装置名称を定義します。半角の英数字で最大 10 文字まで指定できます。

デバイス名は、ホスト・コンピュータの APPC 制御装置記述の装置記述と同じでなければなりません。

[注意]

- ・ 使用可能文字には、以下の制限があります。

1 文字目 :A~Z,@,#,\$

2 文字目以降 :A~Z,0~9,@,#,\$,_,.

(7) メッセージ待ち行列

プリンタの操作メッセージが送られる先の待ち行列の名前を定義します。

半角の英数字で最大 10 文字まで指定できます。

メッセージ待ち行列はディスプレイ装置ごとに存在し、ディスプレイ装置自身と同じ名前が割り当てられます。

ここでディスプレイ・セッションの名前を指定した場合には、このプリンタと関連したメッセージは、デフォルト値待ち行列ではなく、そのディスプレイ・セッションに送られます。

出荷時の値 : QSYSOPR

[注意]

- ・ 使用可能文字には、以下の制限があります。

1 文字目 :A~Z,@,#,\$

2 文字目以降 :A~Z,0~9,@,#,\$,_,.

(8) メッセージライブラリー

メッセージ待ち行列が入っているライブラリーの名前を定義します。

半角の英数字で最大 10 文字まで指定できます。

出荷時の値 : *LIBL

[注意]

- ・ 使用可能文字には、以下の制限があります。

1 文字目 :A~Z,@,#,\$,*

2 文字目以降 :A~Z,0~9,@,#,\$,_,.

(9) SI/SO モード

SI/SO制御コードが文字拡大指定範囲に含まれたときに拡大修飾の影響を受ける / 受けないを選択します。

選択可能値 : オン *
 オフ
 (* は出荷時の値)

(10) ASCII Transparency

APW で書式合成 (MRGAPW) を行う際、印刷装置タイプ (DEVTYPE) へ *PAGES が指定されたときにAS/400から送出される印刷データストリームのフォーマットと合致するものを選択します。

設定可能値 : Continuous *
 Subcommand
 (* は出荷時の値)

(11) 出力ポート

論理プリンタを経由してプリンタへ印刷データを送出する場合、prt1 ~ prt4のどれかを選択します。論理プリンタについては、第6章 論理プリンタをご参照ください。論理プリンタを経由せず直接プリンタへ印刷データを送出する場合、LPT1を選択してください。

設定可能値: LPT1 *
 prt1
 ~
 prt4
 (* は出荷時の値)

3.3.6.3 Host Print

(1) プリンタドライバ

5577(PAGES): 5250SCS から 5577 (PAGES) エミュレーションへ交換します。
ASCII Passthru: 5250SCS エミュレーションを無変換でプリンタへ送じます。

(2) ユーザーフォント

pConnect上のユーザーフォントを使用するか、プリンタ上のユーザーフォントを使用するかを選択します。

(3) IPS トレース

IPS トレースを採取したい場合は「ON」を選択してください。

3.3.6.4 Printer1 ~ Printer4

(1) Job Start Strings

各印刷JOB前にプリンタ制御コマンド等の文字列を送信するために指定します。16進数で最大 256 バイトまで設定できます。

(2) Job End Strings

各印刷JOB後にプリンタ制御コマンド等の文字列を送信するために指定します。16進数で最大 256 バイトまで設定できます。

詳しくは第6章論理プリンタをご参照ください。

3.3.7 LLC(LU6.2)メッセージ一覧

3.3.7.1 メッセージ

プリンタ表示	主な原因
装置デバイス名 S-02 ベルコマンド	ホストコンピュータからベルコマンドを受信しました。
装置デバイス名 S-04 インサツノメイ	印刷不能文字を受信しましたホスト・コンピュータのプログラムにエラーがあるか、データが壊れているためにこの状態が発生しています。ホスト・コンピュータのプログラマーに相談してください。回復は、「印刷可能・印刷中断」スイッチを押します。
装置デバイス名 S-05 インバリッドパラメータ	5250Eエミュレーションを使用している場合、転送データに未定義の制御コードが検出されました。ホスト・システムのプログラムにエラーがあるか、データが壊れているためにこの状態が発生しています。ホスト・システムのプログラマーに相談してください。
装置デバイス名 S-06 ジョシツデ-タエラー (XXXX:YYYY)	受信データからエラーを検出しました。電源スイッチのオフ/オンを行なってください。 再度発生した場合は、障害が発生したままの状態を表示内容を担当保守員に連絡してください。 LU6.2またはTN5250Eのデータ部が、更にGDSフォーマットとなっています。このフォーマットの中でデータカウンタ値とデータ数が合わないとき発生します。

3.3.7.2 通信チェックエラー一覧

プリンタ表示	主な原因
装置デバイス名 XXXX(YYYYZZZZZZZZ) ツクシツョウ	通信上でエラーが発生しました。電源スイッチのオン/オフを行なってください。 再度発生した場合は、障害が発生した状態を表示内容を担当保守員に連絡してください。 「APPCプログラミングの手引きと解説書」を参照してください。 (参考 SC88-5577-01)

3.3.7.3 CONFIG エラー一覧

プリンタ表示	主な原因
装置デバイス名 066 PDエラー_	<ul style="list-style-type: none"> ・AS/400が立ち上がっていない。 ・通信ケーブルの不具合 ・リモートまたはローカルSAP名が正しく設定されていない。 ・AS/400の制御装置が「オンに構成変更」状態でない。 1
装置デバイス名 068 CONFIGエラー_	<ul style="list-style-type: none"> ・AS/400が立ち上がっていない。 ・リモートまたはローカルアドレスが正しく設定されていない

3.3.7.4 PD エラー一覧

プリンタ表示	主な原因
装置デバイス名 066 PDエラー	<ul style="list-style-type: none"> ・ローカルネットワーク名またはCP名が正しく設定されていない。
装置デバイス名 068 PDエラー	<ul style="list-style-type: none"> ・通信ケーブルの不具合 ・ネットワーク上にこのプリンタに接続する定義が2つ以上存在している。
装置デバイス名 134 PDエラー	<ul style="list-style-type: none"> ・AS/400が立ち上がっていない。 ・通信ケーブルの不具合 ・リモートまたはローカルSAP名が正しく設定されていない。 ・AS/400の制御装置が「オンに構成変更」状態でない。
装置デバイス名 276 PDエラー	異常なUNBIND要求を受信した。 2
装置デバイス名 319 PDエラー	<ul style="list-style-type: none"> ・リモートCP名が正しく設定されていない。
装置デバイス名 533 PDエラー	<ul style="list-style-type: none"> ・リモートネットワーク名が正しく設定されていない。

1：AS/400 制御装置回復方法

- | | |
|---------------------|---|
| (1) “オフに構成変更” 状態 | “オンに構成変更” してください。 |
| (2) “VARYON 保留中” 状態 | “オフに構成変更” してその後
“オンに構成変更” してください。 |
| (3) “RCYPND” 状態 | AS/400上でメッセージが上がっていますので「R」
または「G」で応答します。 |

2：回復不可能エラーです。電源スイッチのオフ/オンしてください。

3.4 ユーザーフォントの登録

pConnectはAS/400用のユーザーフォントとS/390用のユーザーフォントをそれぞれ1880文字まで登録できます。また、**pConnect**内部で保持できるフォントサイズは、AS/400用、S/390用ともに24×24です。

pConnect内へ登録されたユーザーフォントは、削除されたり初期化ボタンにより初期化されない限り有効です。

3.4.1 ユーザーフォント・ファイル (QFMAUSR) の作成

ユーザーフォントをAS/400のフォントテーブルから抽出し、QFMAUSRファイルとしてQTEMP上に作成します。

コマンドラインより `'STRDBG'` を実行して、デバッグモードにします。

【画面1】

MAIN	AS/400 メイン・メニュー	システム:
次の中から1つを選んでください。		
1 ユーザー・タスク		
2 オフィス・タスク		
3 汎用システム・タスク		
4 .ファイル ,ライブラリー およびフォルダー		
5 .プログラミング		
6 通信		
7 システムの定義または変更		
8 問題処理		
9 .メニューの表示		
10 情報援助オプション		
11 .クライアント・アクセス /400 タスク		
90 .サイン・オフ		
選択項目またはコマンド		
====>	STRDBG	
F3= 終了	F4= プロンプト	F9= コマンドの複写
F12= 取消し	F13 =情報援助	

実行

正常にデバッグモードになりますと、画面1は、そのまま画面の変化はありません。

デバッグモードにならなかった場合は、何らかのエラーを画面下に表示します。

画面 1 より次に、コマンドラインより 'STRFMA' を実行します。

【画面2】

MAIN	AS/400 メイン・メニュー	システム:
次の中から 1 つを選んでください。		
1 ユーザー・タスク		
2 オフィス・タスク		
3 汎用システム・タスク		
4 .ファイル ,ライブラリー ,およびフォルダー		
5 .プログラミング		
6 .通信		
7 .システムの定義または変更		
8 .問題処理		
9 .メニューの表示		
10 .情報援助オプション		
11 .クライアント・アクセス /400 タスク		
90 .サイン・オフ		
選択項目またはコマンド		
====> STRFMA		
F3= 終了 F4=プロンプト F9= コマンドの複写 F12= 取消し F13 =情報援助		

実行

フォント管理援助機能 (FMA) を起動します。

オプション3.DBCS フォント・テーブルからのユーザー定義文字のコピーを選択してください。

【画面3】

フォント管理援助機能(FMA)	
	システム:
次の中から1つを選んでください。	
1 .ワークステーションからのユーザー・フォント/辞書ファイルのアクセス	
2 DBCS フォント・テーブルへのユーザー定義文字のコピー	
3 DBCS フォント・テーブルからのユーザー定義文字のコピー	
選択項目またはコマンド	
====> 3	
F3= 終了 F4=プロンプト F9= コマンドの複写 F12= 取消し F13 =情報援助	

実行

実行キーを押してください。

【画面4】

DBCS フォント・テーブルからのユーザー定義文字のコピー	
現行の言語 :	日本語
コピー元 :	DBCS フォント・テーブル
選択項目を入力して、実行キーを押してください。	
北°-先 ャーザ-フォント・ファイル :	<u>USRFNT</u> 名前
北°-先 クステーション :	_____ 名前
F3= 終了 F12= 取消し	

実行

画面4より実行しますと、デバッグモードのため画面5～画面7の表示になります。

【画面5】

非監視メッセージ停止点の表示

ステートメント/命令 : /03F9
プログラム : QFSCPYM
反復レベル : 1

UPDPROD(*NO) の時にメンバー-QFMADIR をオープンすることはできない。

実行

【画面6】

非監視メッセージ停止点の表示

ステートメント/命令 : /03F9
プログラム : QFSCPYM
反復レベル : 1

UPDPROD(*NO) の時にメンバー-QAFSVDF をオープンすることはできない。

実行

【画面7】

プログラム・メッセージの表示

QGPL のサブシステム MSC のジョブ 358459/MITS00676/QPADEV0004 が 98/03/11 11:
(C S D F) OPEN の過程でエラー・メッセージ CPF4203 が出された。

応答を入力して、実行キーを押してください。

応答 ... C

F3= 終了	F12= 取消し
--------	----------

キャンセルしてください

画面7よりキャンセルしますと、もとの画面4と同じ画面へ戻り以下 のメッセージ(画面8下)を表示します。

【画面8】

DBCS フォント・テーブルからのユーザー定義文字のコピー		
現行の言語 :	日本語	
コピー元 :	DBCS フォント・テーブル	
選択項目を入力して、実行キーを押してください。		
北°-先 ユーザー・フォント・ファイル :	USRFNT	名前
北°-先 インスタンス :		名前
F3= 終了 F12= 取消し		
ユーザー・フォント・ファイルの作業ファイルを割り振ることができない。		

F3=終了 or F12=取消し

画面8までの作業が完了しましたら、ENDBG (デバッグモードの終了)を忘れないでください。

【画面9】

MAIN	AS/400 メイン・メニュー	
		システム:
次の中から1つを選んでください。		
1 ユーザー・タスク		
2 オフィス・タスク		
3 汎用システム・タスク		
4 .ファイル,ライブラリー およびフォルダー		
5 .プログラミング		
90 .サイン・オフ		
選択項目またはコマンド		
====> ENDBG		
F3= 終了 F4=プロンプト F9= コマンドの複写 F12= 取消し F13 =情報援助		

実行

WRKF QTEMP/*ALL より画面 10 のファイルが QTEMP 上に作成されたことを確認してください。

【画面10】

ファイルの処理				
オプションを入力して、実行キーを押してください。				
1=作成	3=コピー	4=削除	5=物理ファイル・メンバーの表示	
8=ファイル記述の表示	9=保管	10=復元	13=記述の変更	
OPT	ファイル	ライブラリ	属性	テキスト
—	_____	_____	_____	_____
—	QFMAUSR	QTEMP	PF	FMA:USER FONT FILE
				終了
オプション 1, 3, 4, 5, 8, 9, 10, 13 のパラメータまたはコマンド				
====>				
F3= 終了	F4=プリント	F5= 最新表示	F9= コマンドの複写	F11 =名前だけの表示

3.4.2 ユーザーフォントファイル(QFMAUSR)をPCへダウンロード
DOS画面より処理します。

■部分が入力になります。以外は表示です。

あらかじめダウンロードしたいPCディレクトリにしておいてください。

```
Microsoft® Windows 95
©Copy right Microsost Corp 1981-1995

C:¥WINDOWS>cd ¥gaiji

C:¥GAIJI>
```

AS/400のIPアドレスまたはWin95上にhostsファイル設定にてIPアドレス:ホスト名の登録ができていればホスト名を入力してください。

```
Microsoft® Windows 95
©Copy right Microsost Corp 1981-1995

C:¥WINDOWS>cd ¥gaiji

C:¥GAIJI>ftp 192.168.4.53
Connected to 192.168.4.53
220-QTCP AT XXXX.XXXX.CO.JP
220 CONNECTED WILL IF IDLE MORE THAN 5 MINUTES
User (192.168.4.53: (none)):
```

AS/400 ユーザー ID を入力してください。次にパスワードを聞いてきます。

```
Microsoft® Windows 95
  ©Copy right Microsost Corp 1981-1995

C:¥WINDOWS>cd ¥gaiji

C:¥GAIJI>ftp 192.168.4.53
Connected to 192.168.4.53
220-QTCP AT XXXX.XXXX.CO.JP
220 CONNECTED WILL IF IDLE MORE THAN 5 MINUTES
User (192.168.4.53: (none)): qsecofr
331 ENETR PASSWORD
Password
```

パスワード（非表示）を入力してください。

```
C:¥WINDOWS>cd ¥gaiji

C:¥GAIJI>ftp 192.168.4.53
Connected to 192.168.4.53
220-QTCP AT XXXX.XXXX.CO.JP
220 CONNECTED WILL IF IDLE MORE THAN 5 MINUTES
User (192.168.4.53: (none)): qsecofr
331 ENETR PASSWORD
Password ██████████
230 QSECOFR LOGGED ON
ftp>
```

bin または binary を入力してバイナリモードにしてください。

```
C:¥WINDOWS>cd ¥gaiji

C:¥GAIJI>ftp 192.168.4.53
Connected to 192.168.4.53
220-QTCP AT XXXX.XXXX.CO.JP
220 CONNECTED WILL IF IDLE MORE THAN 5 MINUTES
User (192.168.4.53: (none)): qsecofr
331 ENETR PASSWORD
Password
230 QSECOFR LOGGED ON
ftp> bin
200 REPRESENTATION TYPE IS BINARY IMAGE
ftp>
```


ユーザーフォントファイル(QFMAUSR)があるAS/400のライブラリー名でcd(チェンジディレクトリ)してください。

```
C:¥WINDOWS>cd ¥gaiji

C:¥GAIJI>ftp 192.168.4.53
Connected to 192.168.4.53
220-QTCP AT XXXX.XXXX.CO.JP
220 CONNECTED WILL IF IDLE MORE THAN 5 MINUTES
User (192.168.4.53: (none)): qsecofr
331 ENETR PASSWORD
Password
230 QSECOFR LOGGED ON
ftp> bin
200 REPRESENTATION TYPE IS BINARY IMAGE
ftp> cd gaijilib
250 CURRENT LIBRARY CHANGED TO GAIJILIB
ftp>
```

AS/400の該当ライブラリーからQFMAUSRをPCへダウンロードします。
画面1にてPCディレクトリを指定していなかった場合はget qfmausr c:¥gaijiでも可能です。

```
C:¥WINDOWS>cd ¥gaiji

C:¥GAIJI>ftp 192.168.4.53
Connected to 192.168.4.53
220-QTCP AT XXXX.XXXX.CO.JP
220 CONNECTED WILL IF IDLE MORE THAN 5 MINUTES
User (192.168.4.53: (none)): qsecofr
331 ENETR PASSWORD
Password
230 QSECOFR LOGGED ON
ftp> bin
200 REPRESENTATION TYPE IS BINARY IMAGE
ftp> cd gaijilib
250 CURRENT LIBRARY CHANGED TO GAIJILIB
ftp> get qfmausr
200 PORT SUBCOMMAND REQUEST SUCCESSFUL
150 RETRIEVING MEMBER AFMAUSR IN FILE QFMAUSR IN LIBRARY GAIJILIB
250 FILE TRASFER COMPLETED SUCCESSFULLY
13312 bytes received in 1.10 seconds (12.10 Kbytes/sec)
ftp>
```

PCダウンロードが完了しましたら 'bye' または 'quit' で ftp を終了してください。

```
C:¥WINDOWS>cd ¥gaiji

C:¥GAIJI>ftp 192.168.4.53
Connected to 192.168.4.53
220-QTCP AT XXXX.XXXX.CO.JP
220 CONNECTED WILL IF IDLE MORE THAN 5 MINUTES
User (192.168.4.53: (none)): qsecofr
331 ENETR PASSWORD
Password
230 QSECOFR LOGGED ON
ftp> bin
200 REPRESENTATION TYPE IS BINARY IMAGE
ftp> cd gaijilib
250 CURRENT LIBRARY CHANGED TO GAIJILIB
ftp> get qfmausr
200 PORT SUBCOMMAND REQUEST SUCCESSFUL
150 RETRIEVING MEMBER AFMAUSR IN FILE QFMAUSR IN LIBRARY GAIJILIB
250 FILE TRAFER COMPLETED SUCCESSFULLY
13312 bytes received in 1.10 seconds (12.10 Kbytes/sec)
ftp> bye
221 QUIT SUBCOMMAND RECEIVED

C:¥GAIJI
```

から まで作業が完了しましたら、エクスプローラ等で指定ディレクトリにダウンロードできているか確認してください。

3.4.3 ユーザーフォントファイルをpConnectへ登録

3.4.3.1 ユーザーフォントファイルの変換

ダウンロードしたユーザーフォントファイルをFont Conversion Program「Mrxfntc」を使用し変換します。

サポートCDのGAIJIディレクトリからMrxfntc.exeをユーザーフォントファイルのある作業ディレクトリへコピーします。

DOSプロンプトより、Mrxfntcに続けて、作成したユーザーフォントファイル名を入力して実行してください。



```
コマンド プロンプト - mrxfntc.qfmausr
C:\%gaiji>mrxfntc qfmausr
Font Conversion Program, Version 3.06
Copyright (c) Memorex Telex Japan Limited 1997. All rights reserved.

2 個の外字を変換しました。

変換テーブルを使用しますか(y/n) :
```

変換テーブルを指定します。使用する場合は"Y"を入力します。

ファイル"mrxfnt.fnt"が作成されます。



```
選択 コマンド プロンプト
C:\%gaiji>mrxfntc qfmausr
Font Conversion Program, Version 3.06
Copyright (c) Memorex Telex Japan Limited 1997. All rights reserved.

2 個の外字を変換しました。

変換テーブルを使用しますか(y/n) : y
ファイル名 : psys11bm.tbl

外字ファイル mrxfnt.fnt が作成されました。

C:\%gaiji>
```



- ・ MEMOREX 2300, 2320, 2340, 2360, 2480でユーザーフォント登録に使用したファイル(mrxfnt.fnt)があれば、これを流用することができます。

3.4.3.2 ユーザーフォントファイルの登録



- ・ **pConnect**がジョブ処理中でないことをご確認ください。

FTP を使用してユーザーフォント・ファイルを**pConnect**へ登録します。

あらかじめダウンロードしたいファイルがあるディレクトリにしておいてください。

以下のように 'C:¥>ftp IPアドレス' を実行してください。

IP アドレスとは、**pConnect**の IP アドレスです。

```
C:¥>WINDOWS>cd ¥gaiji  
C:¥GAIJI>ftp XXX.XXX.XXX.XXX
```

英数 半角

以下のように 'root' にてログインします。

```
C:¥GAIJI>ftp XXX.XXX.XXX.XXX  
Connected to XXX.XXX.XXX.XXX  
220 FTP SERVER READY.  
User (XXX.XXX.XXX.XXX: (none)): root
```

英数 半角

パスワード（非表示）を入力してください。パスワードのデフォルトは、passです。

```
C:¥GAIJI>ftp XXX.XXX.XXX.XXX
Connected to XXX.XXX.XXX.XXX
220 FTP SERVER READY.
User (XXX.XXX.XXX.XXX: (none)): root
331 ENTER PASSWORD
Password ██████████
```

英数 半角

‘ BINARY ’ または ‘ BIN ’ を入力してください。

```
C:¥GAIJI>ftp XXX.XXX.XXX.XXX
Connected to XXX.XXX.XXX.XXX
220 FTP SERVER READY.
User (XXX.XXX.XXX.XXX: (none)): root
230 USER NAME ACCEPTED
331 ENTER PASSWORD
Password
230 User LOGGED in
ftp> binary
```

英数 半角

ファイル転送を行う時は、必ずバイナリータイプを指定します。

‘SEND’ または ‘PUT’ コマンドを使用してファイル転送を行います。

```
FTP> SEND mrxfmt.fnt gaiji_5250
```

```
C:¥GAIJI>ftp XXX.XXX.XXX.XXX
Connected to XXX.XXX.XXX.XXX
220 FTP SERVER READY.
User (XXX.XXX.XXX.XXX: (none)): root
331 User name okay,need password
Password
230 User logged in
ftp> binary
200 OK
ftp> send mrxfmt.fnt gaiji_5250
```

英数 半角



- ・ 登録中は絶対に電源を切らないでください。

ファイル転送処理が正常に完了すると以下のように 部分のメッセージ表示
します。

```
C:¥GAIJI>ftp XXX.XXX.XXX.XXX
Connected to XXX.XXX.XXX.XXX
220 FTP SERVER READY.
User (XXX.XXX.XXX.XXX: (none)): root
331 User name okay,need password
Password
230 User logged in
ftp> binary
200 OK
ftp> send mrxfmt.fnt gaiji_5250
200 command okay
150 Binary data connection for gaiji_5250
226 Transfer complete
4196byte sent in 0.00 seconds (4196000.00 kbytes/sec)
ftp>
```

英数 半角

ファイル転送処理が正常に完了したらログアウトする。
‘BYE’または‘QUIT’にてログアウトします。

```
C:¥GAIJI>ftp XXX.XXX.XXX.XXX
Connected to XXX.XXX.XXX.XXX
220 FTP SERVER READY.
User (XXX.XXX.XXX.XXX: (none)): root
331 User name okay,need password
Password
230 User logged in
ftp> binary
200 OK
ftp> send mrxfnt,fnt gaiji_5250
200 command okay
150 Binary data connection for gaiji_5250
226 Transfer complete
4196byte sent in 0.00 seconds (4196000.00 kbytes/sec)
ftp> bye
220 Good bye
```

英数 半角

以上でユーザー・フォントの登録は終了です。
リスタートなしで次のジョブから登録した外字が有効になります。
正しく登録されたか、AS/400からユーザー・フォントを印刷して確認してください。

～（ファイル転送）の過程にて、処理ミス等発生した場合は一度ログアウトして のFTP開始の処理からやり直すことをお勧めします。

3.4.4 pConnectからユーザーフォントを削除

FTPを使用してユーザーフォント・ファイルをpConnectから削除します。

以下のように 'C:¥>ftp IPアドレス' を実行してください。
IPアドレスとは、pConnectのIPアドレスです。

```
C:¥>ftp XXX.XXX.XXX.XXX
```

英数 半角

以下のように 'root' にてログインします。

```
C:¥>ftp XXX.XXX.XXX.XXX
Connected to XXX.XXX.XXX.XXX
220 FTP SERVER READY.
User (XXX.XXX.XXX.XXX: (none)): root
```

英数 半角

パスワード（非表示）を入力してください。パスワードのデフォルトは、passです。

```
C:¥>ftp XXX.XXX.XXX.XXX
Connected to XXX.XXX.XXX.XXX
220 FTP SERVER READY.
User (XXX.XXX.XXX.XXX: (none)): root
331 ENTER PASSWORD
Password ██████████
```

英数 半角

‘delete’ コマンドを使用してユーザーフォント・ファイルの削除を行います。

```
FTP> delete Gaiji_5250
```

```
C:¥>ftp XXX.XXX.XXX.XXX
Connected to XXX.XXX.XXX.XXX
220 FTP SERVER READY.
User (XXX.XXX.XXX.XXX: (none)): root
230 USER NAME ACCEPTED
331 ENTER PASSWORD
Password
230 QSECOFR LOGGED ON
ftp> binary
200 OK
ftp> delete Gaiji_5250
```

英数 半角

ファイル転送処理が正常に完了したらログアウトする。

‘BYE’または‘QUIT’にてログアウトします。

以上でユーザー・フォントの削除は終了です。

第 4 章

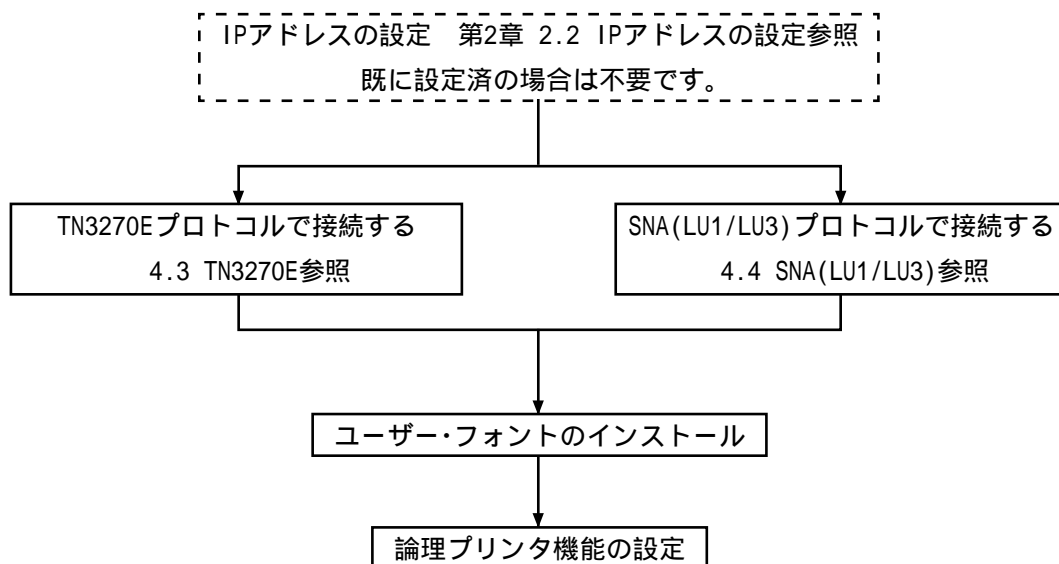
S/390

4.1 インストールの前に

pConnectは、S/390からの印刷データ・ストリームとして、3270データ・ストリームとSNA文字ストリング(SCS)データ・ストリームをサポートしています。

印刷する方法として、TN3270E (TCP/IP)とLU1/LU3 (SNA)の2種類のプロトコルをサポートしています。

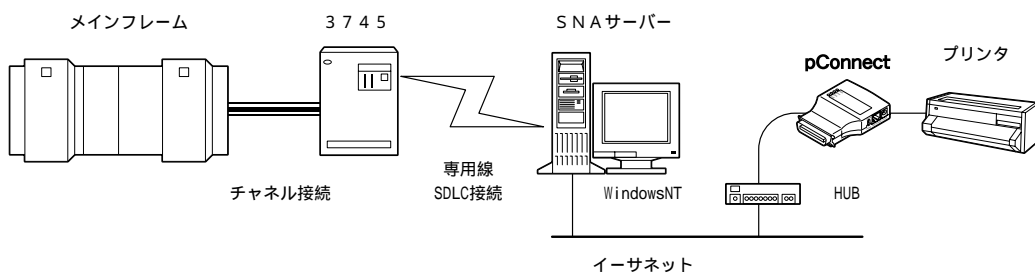
4.2 インストールの流れ



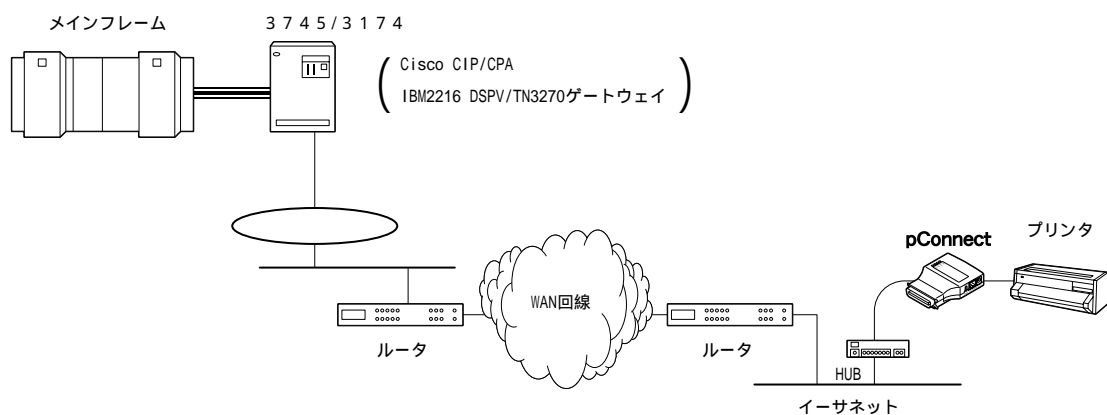
4.3 TN3270E

4.3.1 SNAサーバーとのTN接続図

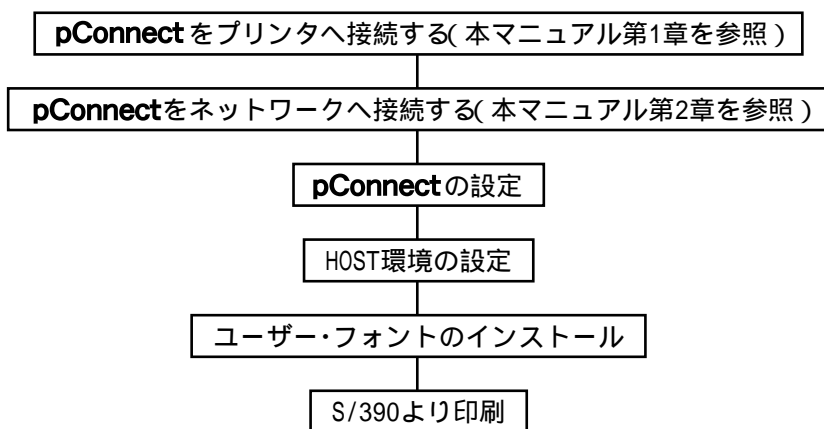
SNAサーバーを使用した接続



ルータを使用した接続



4 . 3 . 2 TN3270E 設定手順概要

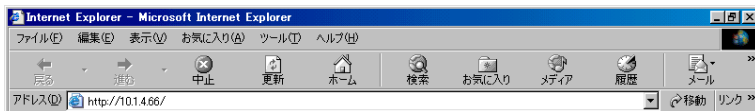


4.3.3 pConnectの設定

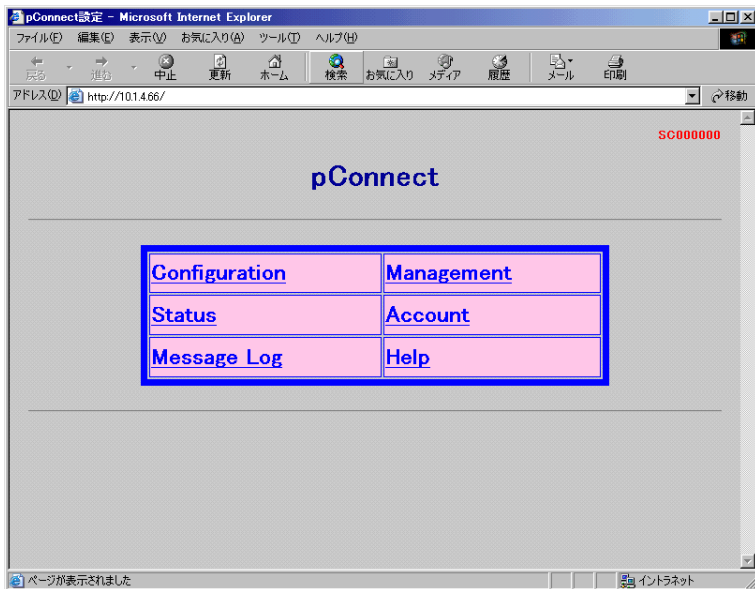
pConnectはWebブラウザ又はtelnetより設定します。

pConnectにWebブラウザでアクセスする方法

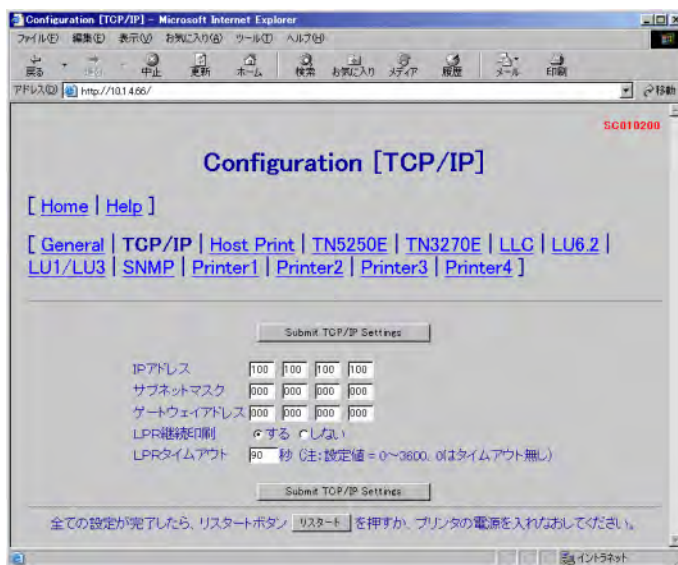
各種Webブラウザ製品でURLを入力する部分がありますのでそこにhttp://IPアドレスを入力するだけで終了です。以下はインターネットエクスプローラで10.1.4.66のIPアドレスをもつpConnectにアクセスする場合です。



アクセスするとpConnectのWebページが表示されます。



Configuration をクリックしてください。以下の画面が表示されます。



Configuration サブメニュー「TN3270E」をクリックしてください。以下の画面が表示されます。

TN3270E プロトコル有効を有効にチェックします。

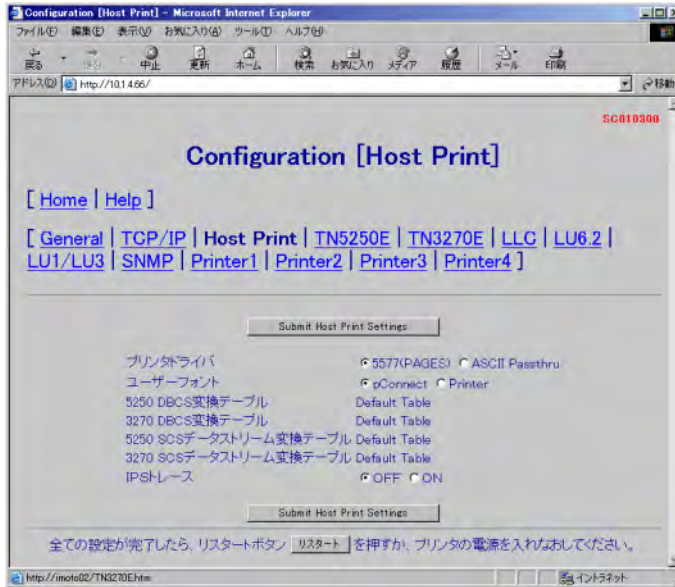
Host IPアドレスにホストの IP アドレスを設定します。

LU 名にプリンタ装置の適切な LU 名を設定します。

4.3.5.1 TN3270E を参照し、必要であれば他のパラメータを変更します。

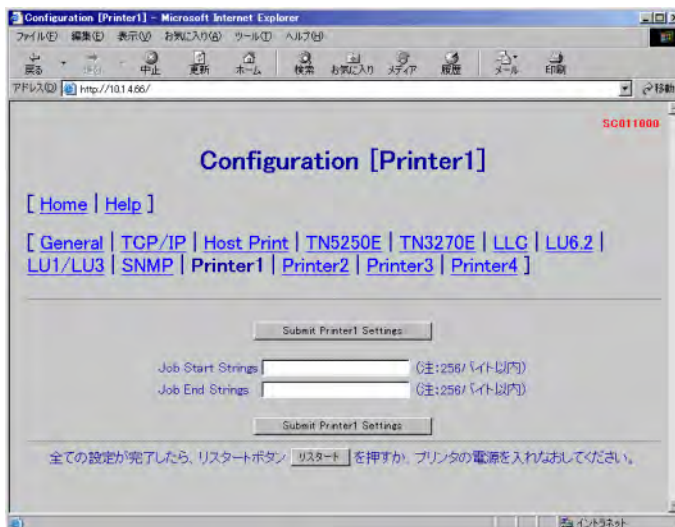
変更後に「Submit TN3270E Settings」ボタンを押し、変更したパラメータを保存します。

Host Print のリンクをクリックすると以下のように表示されます。



4.3.5.2 Host Print を参照し変更が必要であれば変更してください。変更後は、「Submit Host Print Settings」をクリックして変更内容を保存してください。

リンク TN3270E 内で出力先ポートへ Prt1 ~ Prt4 を指定された場合、対応する Printer1 ~ Printer4 へ必要な設定を行います。PrinterX をクリックすると以下のように表示されます。



4.3.5.3 Printer1 ~ Printer4 および第 6 章 論理プリンタを参照し必要な設定を行ってください。変更後は、「Submit PrinterX Settings」をクリックして変更内容を保存してください。

全ての設定が完了したら（他の画面での設定も含みます）プリンタの電源を入れなおすか「リスタート」ボタンを押してください。



- ・「リスタート」ボタンを押す場合や、プリンタの電源を入れなおす場合は、必ず印刷が完了している事を確認してください。
印刷中に本製品を再起動させると、再起動後正常に動作しない場合があります。
- ・「リスタート」ボタンを押し、本製品が再起動するまでに1分数十秒かかる場合があります。
これは、LLC(SNA)接続の切断処理をする場合です。ご了承ください。

4.3.4 TN3270E サーバーの設定

SNA サーバーにプリンタ名 (TNPRINT) の記述を作成する場合の手順を説明します。

(1) SDLC の設定

- 1) WindowsNT の「スタート」 「プログラム」に登録されている「Microsoft SNA server」の「マネージャ」を起動します。
- 2) 「接続」の中にある「SDLC」を選択し、「挿入」 「3270」 「アプリケーション LU」を選択します。
- 3) LU名 (TNPRNT) を入力し、「OK」をクリックします。
- 4) 作成された TNPRNT を TN3270 フォルダに割り当てます。
TNPRNT を選択し、マウス右ボタンを押し、「割り当て」 「TN3270 サービス」 「サーバ」を選択します。
- 5) 作成された TNPRNT のプロパティを設定します。
プロパティの TN3270 画面で、種類は「一般のプリンタ」を選択します。
端末名が「IBM-3287-1」を選択していることを確認してください。
- 6) TN3270E フォルダに TNPRNT が追加されていることを確認してください。

注：本プリンタのTN3270エミュレーションは、RFC1646、RFC1647のプリンタセッションをサポートします。

プリンタクラス名は「IBM-3287-1」です。

ただし、「PA1」、「PA2」、「CANCEL」スイッチ処理と、NVTモードはサポートされません。

4.3.5 TN3270E パラメータ説明

4.3.5.1 TN3270E

(1) TN3270E プロトコル有効

TN3270E プロトコルを使用する場合は、「有効」をチェックしてください。

TN3270E プロトコルを使用しない場合は、「無効」をチェックしてください。ネットワーク上に不要なパケットが流出するのを防ぎます。

(2) HOST IP アドレス

pConnectを TN3270E 接続するホストの IP アドレスを設定します。

[注意]

- ・ 3270 Host IPアドレス値が000.000.000.000の状態では接続動作を行いません。

(3) ポート番号

選択可能値： 1
 .
 .
 .
 23 *
 .
 .
 .
 65535
 (* は出荷時の値)

(4) 自動接続

Hostから切断要求がきて一度切断した後、**pConnect**側から自動的に接続要求を行います。

選択可能値： OFF
 ON *
 (* は出荷時の値)

(5) ホストコードページ

ホストコードページを選択します。

- 930 * 英数カタカナ。英大文字と半角カナが印字されます。英小文字は印字されません。
 - 930EX 英数カタカナ拡張。英大文字、半角カナと英小文字が印字されます。
 - 931 英数小文字。英大文字と英小文字が印字されます。半角カナは印字されません。
 - 939 英数小文字拡張。英大文字、英小文字と半角カナが印字されます。
- (* は出荷時の値)

(6) LU 名

印刷装置の LU 名を定義します。半角の英数字で最大 10 文字まで指定できます。

[注意]

- ・ 使用可能文字には、以下の制限があります。
 - 1 文字目 : A ~ Z, 0 ~ 9, @, #, \$, ¥
 - 2 文字目以降 : A ~ Z, 0 ~ 9, @, #, \$, ¥, _

(7) 文字ピッチ

半角文字単位での文字ピッチを選択します。

単位は CPI (Character Per Inch)

- 10 CPI *
- 12 CPI
- 13.4 CPI
- 15 CPI

(* は出荷時の値)

(8) 最大文字数

1 行あたりの最大文字数を選択します。

[注意]

- ・ ホスト・コンピュータから設定コマンドが送られてきた場合は設定コマンドが優先されます。
- ・ 文字ピッチにより最大文字数が異なります。以下に文字ピッチによる最大文字数一覧を示します。

文字ピッチ (CPI)	最大文字数(漢字)
10	136(68)*
12	163(81)
13.4	181(90)
15	204(102)

(* は出荷時の値)

(9) 行ピッチ

1 インチ当たりの行数を選択します。単位はLPI (Line Per Inch) です。

- 2 LPI
- 3 LPI
- 4 LPI
- 6 LPI *
- 7.5 LPI
- 8 LPI

(* は出荷時の値)

[注意]

- ・ ホスト・コンピュータから設定コマンドが送られてきた場合は設定コマンドが優先されます。

(10) 最大行数

1 ページあたりの最大行数を選択します。

選択可能値 : 1 ~ 127 (出荷時の値 66)

[注意]

- ・ ホスト・コンピュータから設定コマンドが送られてきた場合は設定コマンドが優先されます。

(11) 大文字小文字

大文字小文字混在か、大文字のみかの選択をします。

選択可能値 : 混在 *

大文字のみ

(* は出荷時の値)

(12) LU1 オプション

LU1 で使用する場合、特別処理を行うか選択します。

この機能は、LU3用に作られたユーザー・データのうち、ある限られたデータに関してのみ LU1 (SCS) の環境下において同じ印字結果とするものです。

OFF *

OPTION1= S0/SI に囲まれた漢字データを漢字として印字し、S0/SI をスペースとして印字する。

OPTION2= 1+最大印字桁数の次にくる行のはじめの制御コードのうち下記のものを有効にする。

・ CR, FF, VT, LF, BS, EM, NL

(* は出荷時の値)

[注意]

・ 処理不能なデータで、文字バケ、位置ズレが発生します。

- 1) 属性文字により、漢字指定している漢字データ
- 2) 罫線を含むデータ
- 3) 下記制御コードを除く制御コード('00' ~ '3F')

CR(キャリッジリターン)

FF(フォームフィード)

VT(垂直方向タブ)

LF(ラインフィード)

BS(バックスペース)

EM(エンドマーク)

NL(ニューライン)

(13) LU3 オプション

LU3 で使用する場合の印刷オプションを選択します。

1. 空白行の削除

印刷不能文字だけが入っている行が削除されます。印刷不能文字は空白文字、非印刷フィールドの文字、およびフィールドの属性です。スペース(X'40')は印刷可能文字とみなされます。

オフ *

オン

(* は出荷時の値)

2. NUL 制御コードを空白文字 (として印刷)

空白文字はスペース (X ' 40 ') として印刷されます。

オフ *
オン
(* は出荷時の値)

3. CR が最大印刷位置 +1 の制御

このオプションを選択すると、CR が最大印刷位置 +1 にある場合に自動改行が抑止されます。

オフ *
オン
(* は出荷時の値)

4. NL が最大印刷位置 +1 の制御

このオプションを選択すると、NL は最大印刷位置 +1 で行われて、自動改行は行われません

オフ *
オン
(* は出荷時の値)

5. FF オプション

このオプションを選択すると、FF (フォームコード) が実行されて印刷位置を占め、次のページの最初の行の最初の桁にブランクとして印刷されます。したがって、次の印刷位置はその行の 2 桁目となります。

オフ *
オン
(* は出荷時の値)

(14) ジョブエンドタイム

SNA ブラケット処理を正しく使用していないアプリケーションのために、ジョブの終了を監視します。ジョブ終了コマンドが受信されなくても、データの途切れが設定した時間経過した場合はジョブの終了として処理します。

0 (タイムアウトなし) *

1 秒

2 秒

・

・

3600 秒

(* は出荷時の値)

(15) ジョブリンクタイム

SNA ブラケット処理を正しく使用していないアプリケーションのために、ジョブの終了を監視します。ジョブ終了コマンドを受信しても、監視時間内に次のジョブを受信した場合は連結したジョブとして、監視時間が経過した場合はジョブの終了として処理します。

0 (監視時間なし) *

1 秒

2 秒

・

・

3600 秒

(* は出荷時の値)

(16) プリンタチェックタイム

用紙詰まりや用紙切れなどが発生すると、操作員介入要求がホスト・コンピュータに返されます。ここで設定する時間以内に問題を解除しなければ、プリンタ・タイムアウトとなります。

0 (タイムアウトなし)

1 分

2 分

・

・

99 分 *

(* は出荷時の値)

(17) プリンタ保留タイマ

印刷中に「印刷」スイッチを押し印刷中断モードに入り、印刷を保留できる時間を設定します。ここで設定したプリンタ保留時間を過ぎると、プリンタ・タイムアウトとなります。

0 (タイムアウトなし)

1 分

2 分

・

・

99分 *

(* は出荷時の値)

(18) 設定の優先

ホスト・コンピュータから設定コマンドを受信した場合、設定コマンドを優先するか選択されている値を優先するかを選択します。

コマンド優先 *

設定優先

(* は出荷時の値)

(19) 出力ポート

論理プリンタを経由してプリンタへ印刷データを送出する場合、prt1 ~ prt4のどれかを選択します。論理プリンタについては、第6章 論理プリンタをご参照ください。論理プリンタを経由せず直接プリンタへ印刷データを送出する場合、LPT1を選択してください。

LPT1 *

prt1

・

prt4

(* は出荷時の値)

4 . 3 . 5 . 2 Host Print

(1) プリンタドライバ

5577(PAGES): 5250SCS から 5577 (PAGES) エミュレーションへ交換します。

ASCII Passthru: 5250SCS エミュレーションを無変換でプリンタへ送ります。

通常このモードは使用しないでください。

この機能は障害発生時に解析等の為使用します。

使用する場合はプリンタ側をトレースモード (16 進ダンプモード) に設定し使用する必要があります。

(2) ユーザーフォント

pConnect上のユーザーフォントを使用するか、プリンタ上のユーザーフォントを使用するかを選択します。

(3) IPS トレース

IPS トレースを採取したい場合は「ON」を選択してください。

4 . 3 . 5 . 3 Printer1 ~ Printer4

(1) Job Start Strings

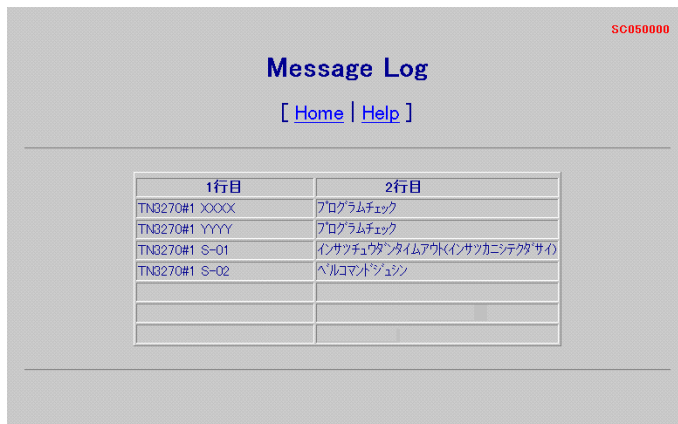
各印刷JOB前にプリンタ制御コマンド等の文字列を送信するために指定します。16進数で最大 256 バイトまで設定できます。

(2) Job End Strings

各印刷JOB後にプリンタ制御コマンド等の文字列を送信するために指定します。16進数で最大 256 バイトまで設定できます。

4.3.6 TN3270E 通信エラー・メッセージ

pConnectのTN3270E 通信およびエミュレーションから発生する以下のエラーがあります。以下に表示および内容について説明します。



(1) プログラムチェックエラー

プログラムチェック：プリンタ電源断し、操作をやり直してください。再発する場合は、ホストのシステム・プログラマに連絡してください。

XXXX はホストコンピュータに送られるセンスコードに相当します。

以下に XXXX のコードについて説明します。

プリンタ表示	主な原因
TN3270#n 731 プログラムチェック	正しくない SNA BIND コマンドを受け取りました。
TN3270#n 716 プログラムチェック	パラメータリストが不完全な SNA BIND コマンドを受け取りました。
TN3270#n 723 プログラムチェック	正しくない LU タイプを指定した SNA BIND コマンドを受け取りました。
TN3270#n 724 プログラムチェック	正しくないセッションサイズを指定した SNA BIND コマンドを受け取りました。
TN3270#n 747 プログラムチェック	SCS データ・ストリームのエラー
TN3270#n 749 プログラムチェック	LU タイプ 3 で読取り指令受信
TN3270#n 750 プログラムチェック	正しくない 3270 コマンドを受け取りました。
TN3270#n 752 プログラムチェック	SBA RA EUA 副指令で無効なアドレスが指定されている。 MF 副指令を属性以外のアドレスに対して受け取った。
TN3270#n 753 プログラムチェック	読取り指令、EAU 指令のあとにデータを受け取った。 SFE MF 副指令で無効な属性または値が指定されている。 RA 副指令で無効な反復文字が指定されている。 GE のあとに制御コードを受け取った。
TN3270#n 754 プログラムチェック	SBA RA EUA SF SFE GE または漢字コードの必要バイトを全部受け取る前にデータ・ストリームが終了した。
TN3270#n 755 プログラムチェック	データ・ストリームに無効な副指令が受信された。

プリンタ表示	主な原因
TN3270#n 756 プログラムチェック	構造化フィールドにエラーがあった。
TN3270#n 758 プログラムチェック	Set Reply Modeの指定が正しくない。
TN3270#n 759 プログラムチェック	Set Reply Mode属性のタイプ指定が正しくない。 Read Partitionが最後の構造化フィールドではなかった。 構造化フィールドの長さの指定が正しくなかった。 構造化フィールドが完全に終了していない。 Read Partitionのタイプの指定が正しくない。
TN3270#n 760 プログラムチェック	Set Reply Modeの属性バイトに誤りがある。
TN3270#n 761 プログラムチェック	指定された区画が正しくない。
TN3270#n 771 プログラムチェック	構造化フィールド内に無効な指令があります。
TN3270#n 797 プログラムチェック	漢字サブフィールドにS0を受けた。S0/S1が対になっていない。
TN3270#n 798 プログラムチェック	漢字フィールドの副指令または制御コードに誤りがあった。 漢字フィールドにS0/S1を書き込もうとした。
TN3270#n 799 プログラムチェック	漢字フィールドまたは漢字サブフィールド内にデータを書き込もうとしたが、アドレス指定が正しくない。 漢字フィールドか漢字サブフィールドに停止アドレスがくるが、その指定が正しくない。 (上のいずれの場合も、アドレスが属性文字またはS0の直後から奇数番地目を指していない)

(2)通信チェック一覧

通信チェックのYYYYのコードについて説明します。

プリンタ表示	主な原因
TN3270#n 654 1 ツウシンチェック	指定したLUは既に別のTelnetセッションと関連づけられています。
TN3270#n 654 2 ツウシンチェック	ネゴシエーションエラー(不明なエラー)
TN3270#n 654 3 ツウシンチェック	LU名が認識できません。
TN3270#n 654 4 ツウシンチェック	サーバは、プリンタをサポートしていません。
TN3270#n 654 5 ツウシンチェック	プリンタタイプのそのLU名は存在しません。
TN3270#n 654 6 ツウシンチェック	ネゴシエーションエラー(不明なエラー)
TN3270#n 654 7 ツウシンチェック	サーバは、プリンタをサポートしていません。
TN3270#n 654 9 ツウシンチェック	ネゴシエーションエラー(不明なエラー)
TN3270#n 659 ツウシンチェック	TCP接続が切断されました。Nread/Nwriteのエラープロトコル関連の問題。
TN3270#n 685 ツウシンチェック	リンクステーションと接続されませんでした。

(3)メッセージ一覧

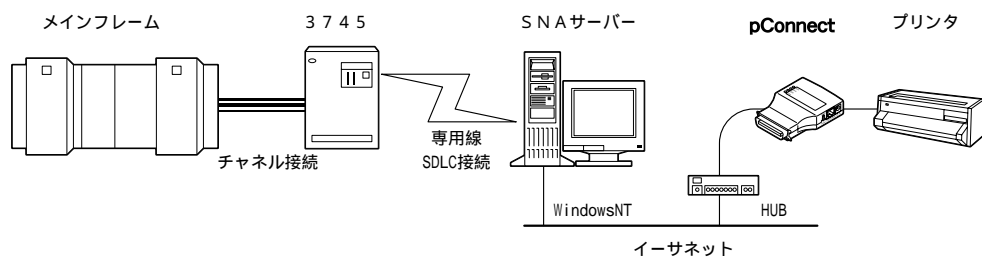
プリンタ表示	主な原因
TN3270#n S-01 インサツチュウダツタムアウト(インサツカニシテクダ サイ)	3270環境下で印刷中断状態になってから、プリンタチェックタイム/プリンタ保留タイムの各パラメータで設定されている時間が経過しました。
TN3270#n S-02 ヘルコマンドジ ユシツ	ホストコンピュータからヘルコマンドを受信しました。

4.4 SNA (LU1/LU3)

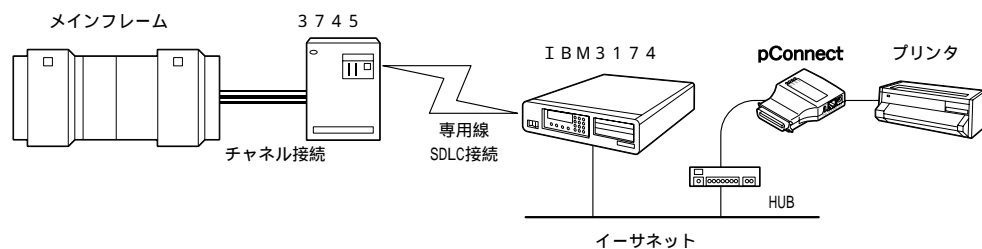
4.4.1 SNA 接続図

SNA(LU1/LU3)でS/390から印刷するために、以下のような接続方法があります。

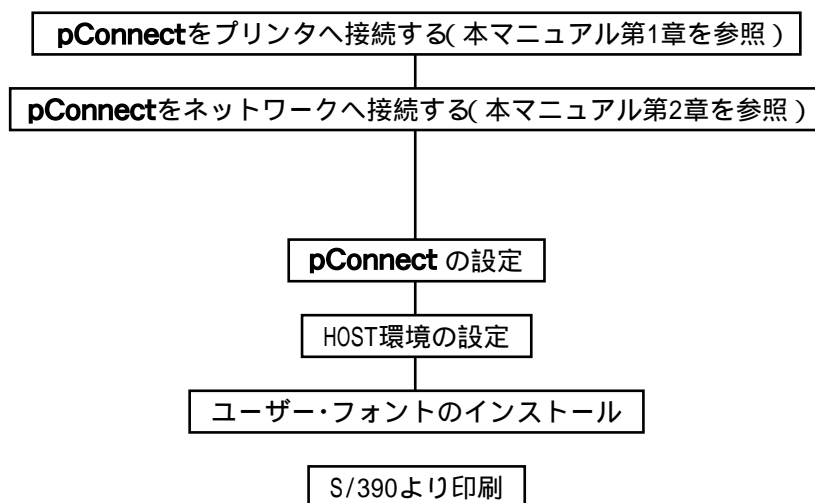
SNAサーバーを使用した接続



IBM3174を使用した接続



4 . 4 . 2 LU1/LU3 設定手順概要



4.4.3 S/390 環境確認

pConnectに設定すべきパラメータ値はVTAMまたはNCPの設定に依存します。下記表のような対応となっていますので、事前にVTAMまたはNCPの設定をご確認ください。

pConnectの設定項目	VTAMまたはNCPの設定内容	メモ
ローカルネットワークID	NETID	
ローカルCP名	CPMANE	
ローカルSAP	SAPADDR	
ローカルブロックID	IDBLK	
ローカル装置ID	IDNUM	
ローカルアドレス	MACADDR	
リモートネットワークID	NETID	
リモートCP名	CPNAME	
リモートSAP	SAPADDR	
リモートアドレス	MACADDR	
LU番号	LOCADDR	
受信ウインド		
PIUサイズ	MAXDATA	

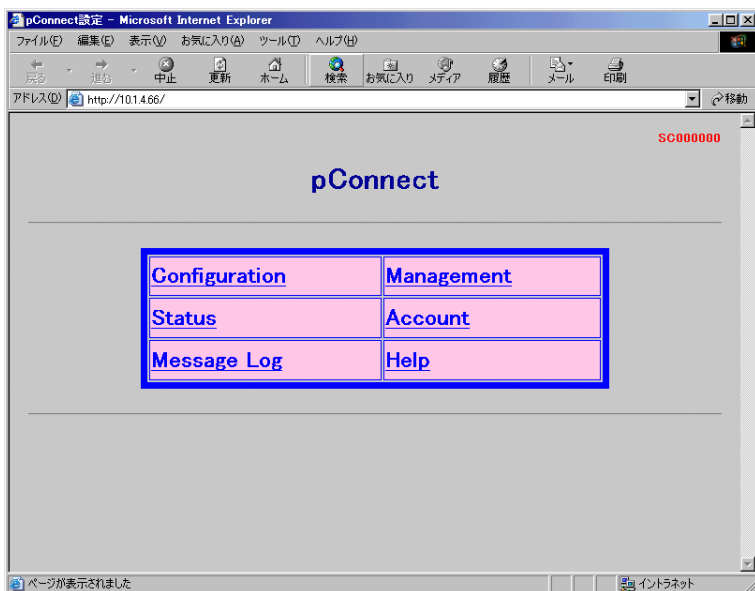
- (1)ローカルネットワークID/ローカルCP名、リモートネットワークID/リモートCP名
VTAMで無効となる設定がされている場合は、適当な名前をつけてください。
- (2)ローカルSAP、リモートSAP
VTAM定義の値を設定してください。両方とも同じ値に設定してください。
- (3)ローカルブロックID、ローカル装置ID (PUID)、ローカルアドレス (MACアドレス)
ブロックID + 装置IDか、ローカルアドレスのどちらかで接続します。ローカルアドレスはすべてゼロのときはマシン固有の値となります。(設定値印刷のノードIDで得られます。)
- (4)ローカルアドレス、リモートアドレス
MACアドレスを指定します。
プリンタ内部でビット反転処理をしています。リモート装置がトークンリング接続している場合は、アドレス値をビット反転して設定してください。
- (5)LU番号
VTAMで定義した値を設定してください。違っていると印刷ができません。
- (6)受信ウインド
ペーシングカウント要求値です。必要無ければ、デフォルトのままお使いください。
- (7)PIUサイズ
VTAMで定義した値を設定してください。違っていると通信障害を起こす場合があります。

4 . 4 . 4 pConnectの設定

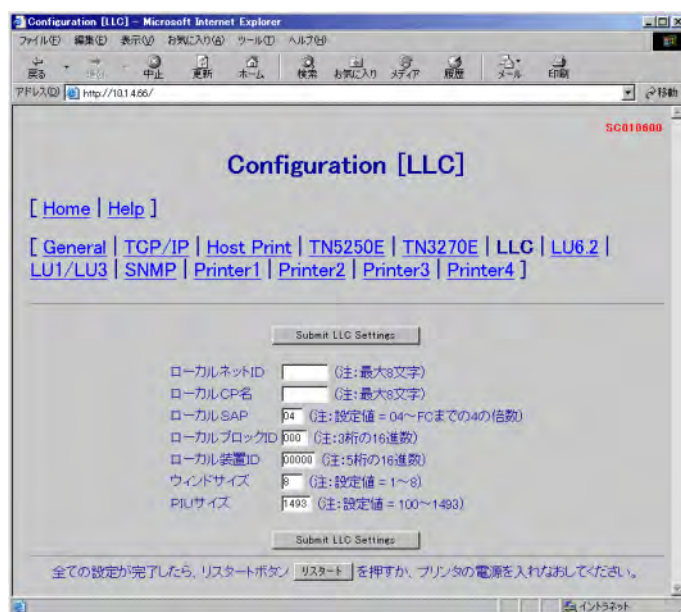
各種Webブラウザ製品でURLを入力する部分がありますので、そこにhttp://IPアドレスを入力するだけで終了です。以下はインターネットエクスプローラで10.1.4.66のIPアドレスをもつpConnectにアクセスする場合です。



アクセスするとpConnectのWebページが表示されます。



Configuration をクリックして Configuration ページを表示させ、LLC のリンクをクリックすると以下のように表示されます。



ローカルネット ID、ローカルCP 名、ローカルSAP に適切な値を設定します。
4.4.6 LU1/LU3 パラメータ説明を参照し、必要であれば他のパラメータを変更します。変更後に「Submit LLC Settings」ボタンをクリックし変更内容を保存します。

つづいて、LU1/LU3 のリンクをクリックすると以下のように表示されます。



リモートネット ID、リモート CP 名、リモート SAP、リモート MAC アドレスへホストに割当てられている値を設定します。

4.4.6 LU1/LU3 パラメータ説明を参照し、他のパラメータを変更します。

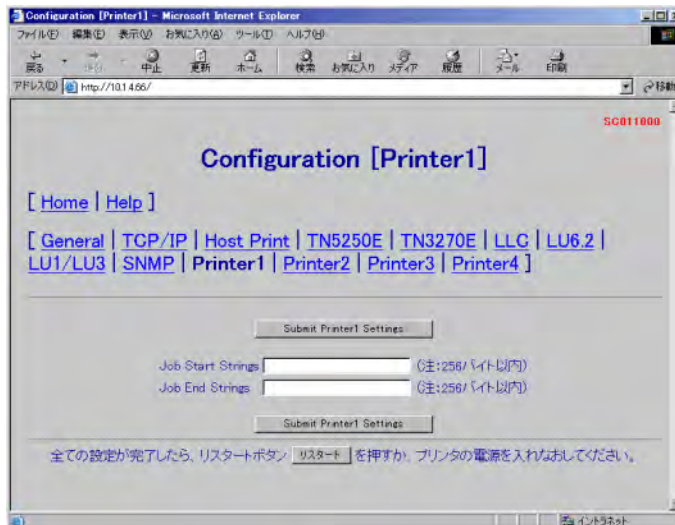
変更後に「Submit LU1/LU3 Settings」ボタンをクリックし、変更内容を保存します。

Host Print のリンクをクリックすると以下のように表示されます。



4.4.6.3 Host Print を参照し変更が必要であれば変更してください。変更後は、Submit Host Print Settings をクリックして変更内容を保存してください。

リンク LU1/LU3 内で出力先ポートへ Prt1 ~ Prt4 を指定された場合、対応する Printer1 ~ Printer4 へ必要な設定を行います。PrinterX をクリックすると以下のように表示されます。



4.4.6.4 Printer1 ~ Printer4 および第 6 章 論理プリンタを参照し必要な設定を行ってください。変更後は、Submit PrinterX Settings をクリックして変更内容を保存してください。

全ての設定が完了したら（他の画面での設定も含まれます）プリンタの電源を入れなおすか「リスタート」ボタンを押してください。



- ・「リスタート」ボタンを押す場合や、プリンタの電源を入れなおす場合は、必ず印刷が完了している事を確認してください。
印刷中に本製品を再起動させると、再起動後正常に動作しない場合があります。
- ・「リスタート」ボタンを押し、本製品が再起動するまでに1分数十秒かかる場合があります。
これは、LLC (SNA) 接続の切断処理をする場合です。ご了承ください。

4.4.5 Host 環境の設定

VTAMおよびNCPの定義

一つのPU(物理装置)と一つのプリンタLU(論理装置)を定義してください。

[注意]

- ・ IBM 5227-011プリンタを使用していた時のようなダミーディスプレイLUを定義する必要はありません。

BINDパラメータ

VTAMにおけるSNA端末ノードで定義されるBINDパラメータには、以下の値を推奨いたします。

1) LUタイプ1

項目	値
FMPROF	X '03 '
TSPROF	X '03 '
PRIPROT	X 'B1 '
SECPROT	X '90 '
COMPROT	X '3080 '
RUSIZE	X '8585 '
PSEVIC	X '0100 0000 E100 0000 0000 0000 '
PSNDPAC	X '01 '
SRCVPAC	X '01 '

2) LUタイプ3

項目	値
FMPROF	X '03 '
TSPROF	X '03 '
PRIPROT	X 'B1 '
SECPROT	X '90 '
COMPROT	X '3080 '
RUSIZE	X '8787 '
PSEVIC	X '0380 0000 0000 1850 1850 7F00 '

X 'xx ' または X 'xxxx ' は16進数を表わします。

SNAサーバーの設定

SNAサーバーを使用する場合の設定手順を説明します。

(1) SDLC の設定

- 1) WindowsNT の「スタート」 「プログラム」に登録されている「Microsoft SNA server」の「マネージャ」を起動します。
- 2) 「接続」の中にある「SDLC」を選択し、マウスの右ボタンを押し、「挿入」 「3270」 「ダウンストリーム」を選択します。
- 3) LU名 (PRTL430) を入力し、「OK」をクリックします。
- 4) 以上でSDLC の設定は完了です。

(2) イーサネットの設定

- 1) 「SNA サービス」 「接続」を選択し、マウスの右ボタンを押します。
- 2) 「挿入」 「接続」 「802.2」を選択します。
- 3) “アドレス” で以下の設定をして「OK」をクリックします。
 - ・名前 (N) : ローカルCP名を設定します。
 - ・リンクサービス (L) : で選択します。
(右側が “イーサネット” 表示になります)
 - ・リモートエンド : “ダウンストリーム” を設定します。
- 4) “アドレス” に移り、「4.2.1 プリンタの設定」で行ったプリンタの設定値印刷結果から、[共通設定項目]の“ノードID”をリモートネットワークアドレスに書き込み、「OK」をクリックします。
- 5) イーサネットの設定が作成されたことを確認します。
- 6) 以上でイーサネットの設定は完了です。

(3) 設定の保存

- 1) Microsoft SNA server マネージャで設定の保存を行います。
「ファイル」 「設定の保存」
- 2) SNAサーバーを立ち上げてください。

4.4.6 LU1/LU3 パラメータ説明

4.4.6.1 LLC

(1) ローカルネットID

印刷装置のネットワーク名を定義します。半角の英数字で最大8文字まで指定できます。

[注意]

- ・ 使用可能文字には、以下の制限があります。

1文字目 : A ~ Z ,@ ,# , \$

2文字目以降: A ~ Z ,0 ~ 9 ,@ ,# , \$

(2) ローカルCP名

印刷装置の制御点名を定義します。半角の英数字で最大8文字まで指定できます。

[注意]

- ・ 使用可能文字には、以下の制限があります。

1文字目 : A ~ Z ,@ ,# , \$

2文字目以降: A ~ Z ,0 ~ 9 ,@ ,# , \$

(3) ローカルSAP

印刷装置のローカル・サービス・アクセス・ポイントの略称です。

16進数04 ~ FCまでの4の倍数で設定します。

出荷時の値 : 04

(4) ローカルブロックID

ブロックIDは、ネットワーク上のタイプ識別を定義します。3桁の16進数で定義します。

出荷時の値 : 000

(5) ローカル装置ID

物理装置(PU)識別子(ID)はPUを識別します。PUは、ノードに関連付けられた資源を管理しモニターする構成要素です。

5桁の16進数で定義します。

出荷時の値 : 00000

(6) ウィンドウサイズ

印刷装置の受信バッファ数を定義します。

設定可能値：1

2

・

・

・

8 *

(* は出荷時の値)

(7) PIUサイズ

パス情報単位 (PIU) サイズは、データのメッセージ単位です。

設定可能値：0 1 0 0

・

・

0 5 2 1

・

・

1 4 9 3 *

(* は出荷時の値)

4 . 4 . 6 . 2 LU1/LU3

(1) リモートネットワーク I D

接続先制御装置のネットワーク I D を定義します。半角の英数字で最大 8 文字まで指定できます。

[注意]

- ・ 使用可能文字には、以下の制限があります。
 - 1 文字目 : A ~ Z , @ , # , \$
 - 2 文字目以降 : A ~ Z , 0 ~ 9 , @ , # , \$

(2) リモート C P 名

接続先制御装置の制御点名を定義します。半角の英数字で最大 8 文字まで指定できます。

[注意]

- ・ 使用可能文字には、以下の制限があります。
 - 1 文字目 : A ~ Z , @ , # , \$
 - 2 文字目以降 : A ~ Z , 0 ~ 9 , @ , # , \$

(3) リモート S A P

接続先制御装置のサービス・アクセス・ポイントを定義します。
1 6 進数 0 4 ~ F C までの 4 の倍数で設定します。

出荷時の値 : 0 4

(4) リモート MAC アドレス

ホスト・コンピュータのアダプター・アドレスを定義します。
アダプター・アドレスは、1 6 進数 1 2 桁で定義します。

(5) 自動接続

ホストから切断要求がきた後 (D L C 切断) プリンタ側から自動的に接続要求を発行します。

設定可能値 : OFF *
ON
(* は出荷時の値)

(6) ホストコードページ

ホストコードページを選択します。

- 930 * 英数カタカナ。英大文字と半角カナが印字されます。英小文字は印字されません。
 - 930EX 英数カタカナ拡張。英大文字、半角カナと英小文字が印字されます。
 - 931 英数小文字。英大文字と英小文字が印字されます。半角カナは印字されません。
 - 939 英数小文字拡張。英大文字、英小文字と半角カナが印字されます。
- (* は出荷時の値)

(7) LU 番号

セッション識別アドレスを定義します。

設定可能値 : 0 0 2 *

0 0 3

.

.

.

2 5 4

(* は出荷時の値)

(8) 文字ピッチ

半角文字単位での文字ピッチを選択します。

選択可能値 : 1 0 C P I *

1 2 C P I

1 3 . 4 C P I

1 5 C P I

(* は出荷時の値)

(9) 最大文字数

1行当たりの最大文字数を選択します。

[注意]

- ・ ホスト・コンピュータから設定コマンドが送られてきた場合は設定コマンドが優先されます。
- ・ 文字ピッチにより最大文字数が異なります。以下に文字ピッチによる最大文字数一覧を示します。

文字ピッチ(CPI)	最大文字数(漢字)
10	136(68)*
12	163(81)
13.4	181(90)
15	204(102)

(*は出荷時の値)

(10) 行ピッチ

1インチ当たりの行数を選択します。

選択可能値： 2 LPI
3 LPI
4 LPI
6 LPI *
7.5 LPI
8 LPI

(*は出荷時の値)

[注意]

- ・ ホスト・コンピュータから設定コマンドが送られてきた場合は設定コマンドが優先されます。

(11) 最大行数

1ページ当たりの最大行数を選択します。

選択可能値： 1 ~ 127 (出荷時の値66)

[注意]

- ・ ホスト・コンピュータから設定コマンドが送られてきた場合は設定コマンドが優先されます。

(12) 大文字小文字

大文字小文字混在か、大文字のみかの選択をします。

選択可能値：混在 *
大文字のみ

(* は出荷時の値)

(13) LU1 オプション

LU1 で使用する場合、特別処理を行うか選択します。

この機能は、LU3 用に作られたユーザー・データのうち、ある限られたデータに関してのみ LU1 (SCS) の環境下において同じ印字結果とするものです。

選択可能値：OFF *

OPTION 1 = SO / SI に囲まれた漢字データを漢字として印字し、
SO / SI をスペースとして印字する。

OPTION 2 = 1 + 最大印字桁数の次にくる行のはじめの制御コードの
うち下記のを有効にする。

・ CR, FF, VT, LF, BS, EM, NL

(* は出荷時の値)

[注意]

- ・ 処理不能なデータで、文字バケ、位置ズレが発生します。
 - 1) 属性文字により、漢字指定している漢字データ
 - 2) 罫線を含むデータ
 - 3) 下記制御コードを除く制御コード('00' ~ '3F')
 - CR(キャリッジリターン) FF(フォームフィード)
 - VT(垂直方向タブ) LF(ラインフィード)
 - BS(バックスペース) EM(エンドマーク)
 - NL(ニューライン)

(14) L U 3 オプション

L U 3 で使用する場合は印刷オプションを選択します。

1 . 空白行の削除

印刷不能文字だけが入っている行が削除されます。印刷不能文字は空白文字、非印刷フィールドの文字、およびフィールドの属性です。スペース (X ' 4 0 ') は印刷可能文字とみなされます。

選択可能値 : OFF *
ON
(* は出荷時の値)

2 . N U L 制御コードを空白文字 (として印刷)

空白文字はスペース (X ' 4 0 ') として印刷されます。

選択可能値 : OFF
ON *
(* は出荷時の値)

3 . C R が最大印刷位置 + 1 の制御

このオプションを選択すると、C R が最大印刷位置 + 1 にある場合に自動改行が抑止されます。

選択可能値 : OFF *
ON
(* は出荷時の値)

4 . N L が最大印刷位置 + 1 の制御

このオプションを選択すると、N L は最大印刷位置 + 1 で行われて、自動改行は行われません。

選択可能値 : OFF *
ON
(* は出荷時の値)

5 . F F オプション

このオプションを選択すると、F F (フォームフィールド) が実行されて印刷位置を占め、次のページの最初の行の最初の桁にブランクとして印刷されます。したがって、次の印刷位置はその行の 2 桁目となります。

選択可能値 : OFF *
ON
(* は出荷時の値)

(15) プリンタチェックタイマ

用紙詰まりや用紙切れなどが発生すると、操作員介入要求がホスト・コンピュータに返されます。ここで設定する時間以内に問題を解除しなければ、プリンタ・タイムアウトとなります。

選択可能値： 0 (タイムアウトなし)

1 分

2 分

・

・

99分 *

(* は出荷時の値)

(16) プリンタ保留タイマ

印刷中に「印刷可能 / 中断」スイッチを押し印刷中断モードに入り、印刷を保留できる時間を設定します。ここで設定したプリンタ保留時間を過ぎると、プリンタ・タイムアウトとなります。

選択可能値： 0 (タイムアウトなし)

1 分

2 分

・

・

99分 *

(* は出荷時の値)

[注意]

- ・ 用紙詰まりや用紙切れ状態なども含まれます。

(17) 設定の優先

ホスト・コンピュータから設定コマンドを受信した場合、設定コマンドを優先するか選択されている値を優先するかを選択します。

選択可能値： コマンド優先 *

設定優先

(* は出荷時の値)

(18) ジョブエンドタイマ

SNAブラケット処理を正しく使用していないアプリケーションのために、ジョブの終了を監視します。ジョブ終了コマンドが受信されなくても、データの途切れが設定した時間経過した場合はジョブの終了として処理します。

0 (タイムアウトなし) *

1 秒

2 秒

・

・

3600 秒

(* は出荷時の値)

(19) ジョブリンクタイマ

SNAブラケット処理を正しく使用していないアプリケーションのために、ジョブの終了を監視します。ジョブ終了コマンドを受信しても、監視時間内に次のジョブを受信した場合は連結したジョブとして、監視時間が経過した場合はジョブの終了として処理します。

0 (監視時間なし) *

1 秒

2 秒

・

・

3600 秒

(* は出荷時の値)

(20) PA1/PA2 の制御

PA1/PA2 を受信したときの制御を定義します。

選択可能値 : OFF *

PA1

PA2

(* は出荷時の値)

(21) 出力ポート

論理プリンタを経由してプリンタへ印刷データを送出する場合、prt1 ~ prt4のどれかを選択します。論理プリンタについては、第6章 論理プリンタをご参照ください。論理プリンタを経由せず直接プリンタへ印刷データを送出する場合 LPT1 を選択してください。

```
LPT1 *  
prt1  
}  
prt4  
(* は出荷時の値)
```

4 . 4 . 6 . 3 Host Print

(1) プリンタドライバ

5577(PAGES): 5250SCS から 5577 (PAGES) エミュレーションへ交換します。
ASCII Passthru: 5250SCS エミュレーションを無変換でプリンタへ送じます。
通常このモードは使用しないでください。
この機能は障害発生時に解析等の為使用します。
使用する場合はプリンタ側をトレースモード (16 進ダンプモード) に設定し使用する必要があります。

(2) ユーザーフォント

pConnect上のユーザーフォントを使用するか、プリンタ上のユーザーフォントを使用するかを選択します。

(3) IPS トレース

IPS トレースを採取したい場合は「ON」を選択してください。

4 . 4 . 6 . 4 Printer1 ~ Printer4

(1) Job Start Strings

各印刷JOB前にプリンタ制御コマンド等の文字列を送信するために指定します。16進数で最大 256 バイトまで設定できます。

(2) Job End Strings

各印刷JOB後にプリンタ制御コマンド等の文字列を送信するために指定します。16進数で最大 256 バイトまで設定できます。

4.4.7 LU1/LU3 通信エラー・メッセージ

pConnectのLU1/LU3通信およびエミュレーションから発生する以下のエラーがあります。以下に表示および内容について説明します。



(1) プログラムチェックエラー

プログラムチェック：プリンタの電源を切り、操作をやり直してください。再発する場合は、ホストのシステム・プログラマに連絡してください。

XXXXはホストコンピュータに送られるセンスコードに相当します。

以下にXXXXのコードについて説明します。

プリンタ表示	主な原因
LU1/3#n 0801 プログラムチェック	使用可能でない資源
LU1/3#n 0802 プログラムチェック	介入要求
LU1/3#n 0805 プログラムチェック	セッションの制約を超えた
LU1/3#n 0809 プログラムチェック	モードの不一致
LU1/3#n 080A プログラムチェック	アクセス権の拒否、NOTIFYは送信されない
LU1/3#n 080B プログラムチェック	ブラケットの競合エラー
LU1/3#n 080C プログラムチェック	手続きがサポートされていない
LU1/3#n 0812 プログラムチェック	資源不足
LU1/3#n 0813 プログラムチェック	ブラケット送信権要求拒否(RTRは返されない)
LU1/3#n 0814 プログラムチェック	ブラケット送信権要求拒否(RTRは返される)
LU1/3#n 0815 プログラムチェック	機能がアクティブでない
LU1/3#n 081B プログラムチェック	受信側送信状態
LU1/3#n 081C プログラムチェック	要求実行不可能
LU1/3#n 0821 プログラムチェック	無効なセッション・パラメータ
LU1/3#n 0829 プログラムチェック	方向変更が必要
LU1/3#n 082B プログラムチェック	プレゼンテーション領域の完全性が失われた
LU1/3#n 082D プログラムチェック	LUがビジー(通常、ローカルコピー印刷が実行中)

プリンタ表示	主な原因
LU1/3#n 082E プリントエラー	介入の要求(ローカルコピー印刷のソフトウェア)
LU1/3#n 082F プリントエラー	要求が実行不可能(ローカルコピー印刷のハードエラー)
LU1/3#n 0831 プリントエラー	LUの要素が切断された
LU1/3#n 0843 プリントエラー	WCC印刷コマンドが送られていない(RQD,RQE,CD,EB)
LU1/3#n 0845 プリントエラー	アクセス権の拒否、NOTIFYを送信
LU1/3#n 0857 プリントエラー	要求を処理する必要があるSSCP-LUセッションが、活動状態でない
LU1/3#n 0878 プリントエラー	要求された流れについて、セッション受信関連テーブルがいっぱいになった
LU1/3#n 087D プリントエラー	セッション・サービス要求は、SSCP-SSCPセッション経路に従って経路を再指定することができません
LU1/3#n 1002 プリントエラー	RH長さエラー
LU1/3#n 1003 プリントエラー	サポートされない機能
LU1/3#n 1005 プリントエラー	パラメータエラー
LU1/3#n 1007 プリントエラー	サポートされていないカテゴリ
LU1/3#n 2001 プリントエラー	順序番号エラー
LU1/3#n 2002 プリントエラー	連鎖エラー
LU1/3#n 2003 プリントエラー	ブラケット状態エラー
LU1/3#n 2004 プリントエラー	方向エラー
LU1/3#n 2005 プリントエラー	データ・トラフィック・リセット
LU1/3#n 2006 プリントエラー	データ・トラフィック静止
LU1/3#n 2007 プリントエラー	データ・トラフィック変動
LU1/3#n 2008 プリントエラー	BBI=BBが指定されたBIDまたはFMD要求が、受信側が以前に送ったBISコマンドに対する肯定応答の後で受信された
LU1/3#n 2009 プリントエラー	セッション制御プロトコル違反
LU1/3#n 200A プリントエラー	要求が、即時要求モードプロトコルに違反している
LU1/3#n 200B プリントエラー	要求が、待ち行列応答プロトコルに違反している
LU1/3#n 200C プリントエラー	ERP同期イベントプロトコルの違反が発生した
LU1/3#n 200D プリントエラー	前に受信された要求に対する応答が送信されていないのに、通常流れ要求を送信しようとした
LU1/3#n 200E プリントエラー	前に送信した要求と対応づけができない応答が受信された、または前に受信した要求と対応づけができない応答が送信された
LU1/3#n 200F プリントエラー	応答プロトコルに違反している
LU1/3#n 4001 プリントエラー	セッション制御(SC)要求またはネットワーク制御(NC)要求のRHが正しくない
LU1/3#n 4003 プリントエラー	ブラケット開始標識(BB)の指定が誤っている
LU1/3#n 4004 プリントエラー	ブラケット終了標識(EB)の指定が誤っている
LU1/3#n 4006 プリントエラー	認められない例外応答
LU1/3#n 4007 プリントエラー	認められない確定応答
LU1/3#n 4008 プリントエラー	受信ハーフ・セッションまたは境界機能ハーフ・セッションではベージングをサポートしません
LU1/3#n 4009 プリントエラー	方向変更識別の指定が誤っている
LU1/3#n 400A プリントエラー	無応答は認められない
LU1/3#n 400B プリントエラー	連鎖標識(BCIとECI)の指定が誤っている
LU1/3#n 400C プリントエラー	ブラケット標識(BBIとEBI)の指定が誤っている
LU1/3#n 400D プリントエラー	方向変更が標識がセットされたが、サポートされていない
LU1/3#n 400F プリントエラー	認められない様式指定

プリンタ表示	主な原因
LU1/3#n 4010 プリントアウトエラー	コード選択標識(CSI)がセッションでサポートされていないのにセットされた
LU1/3#n 4011 プリントアウトエラー	RUカテゴリの誤った指定
LU1/3#n 4012 プリントアウトエラー	応答の要求コードが、対応する要求の要求コードと一致しない
LU1/3#n 4013 プリントアウトエラー	センスデータ付き標識(SDI)および応答標識(RTI)の応答上での指定が正しくありません
LU1/3#n 4014 プリントアウトエラー	DR1, DR2, ERの誤った指定
LU1/3#n 4015 プリントアウトエラー	待ち行列応答標識(QRI)の指定が間違っている
LU1/3#n 4016 プリントアウトエラー	暗号化データ標識(EDI)の指定が間違っている
LU1/3#n 4017 プリントアウトエラー	埋込みデータ標識(PDI)の指定が正しくない
LU1/3#n 8003 プリントアウトエラー	NAUは、要求または応答を処理することができない
LU1/3#n 8004 プリントアウトエラー	認知の不能なDAF
LU1/3#n 8005 プリントアウトエラー	セッションなし
LU1/3#n 8006 プリントアウトエラー	無効なFID、エラー検出され記録されたが、否定応答は送られない
LU1/3#n 8007 プリントアウトエラー	セグメンテーションエラー
LU1/3#n 8008 プリントアウトエラー	PUが活動中でない
LU1/3#n 8009 プリントアウトエラー	LUが活動中でない
LU1/3#n 800F プリントアウトエラー	無効なアドレス組み合わせ

(2) CONFIG エラー一覧

CONFIG エラーのYYYYのコードについて説明します。

プリンタ表示	主な原因
LU1/3#n 132 CONFIGエラー	電源投入時に通信ケーブルが接続されていないリモートアドレスが正しく設定されていない
LU1/3#n 134 CONFIGエラー	コントローラが接続可能状態になっていない ローカルSAP、ローカルアドレス、LU番号、リモートSAPの設定が正しくない

(3)PD エラー一覧

PD エラーの ZZZ のコードについて説明します。

プリンタ表示	主な原因
LU1/3#n 060 プログラムエラー	・通信ケーブルの不具合 ケーブルが接続されているか確認してください。
LU1/3#n 066 プログラムエラー	・接続先の異常 NCPまたはコントローラの状態を確認してください。 ・SNA項目設定ミス ローカルネットワークID、ローカルSAP、ローカルアドレス、リモートネットワークID、リモートSAP、LU番号を確認してください。
LU1/3#n 068 プログラムエラー	・通信ケーブルの不具合 ケーブルがセットされているか確認してください。 ・マルチアクセス ネットワーク上に、このプリンタに接続する定義が2つ以上存在しないか確認してください。
LU1/3#n 324 プログラムエラー	・SNA項目設定ミス リモートSAPを確認してください。 ・マルチアクセス ネットワーク上に、このプリンタに接続する定義が2つ以上存在しないか確認してください。
LU1/3#n 261 プログラムエラー	・未定義LUアクセス VTAMの定義を確認してください。

(4)メッセージ一覧

プリンタ表示	主な原因
LU1/3#n S-01 インサッチェックタイムアウト(インサッチェックサイ)	3270環境下で印刷中断状態になってから、プリンタチェックタイム/プリンタ保留タイムの各パラメータで設定されている時間が経過しました。
LU1/3#n S-02 ヘルコマンドシヨシ	ホストコンピュータからヘルコマンドを受信しました。

4.5 ユーザフォントの登録

ユーザフォントは、**pConnect**上に登録可能であり、AS/400用フォントとして1880字、S/390用フォントとして1880字登録できます。

また、**pConnect**内部で保持できるフォントサイズは、AS/400用、S/390用ともに24×24です。

pConnect内へ登録されたユーザフォントは、削除されたり初期化ボタンにより初期化されない限り有効です。

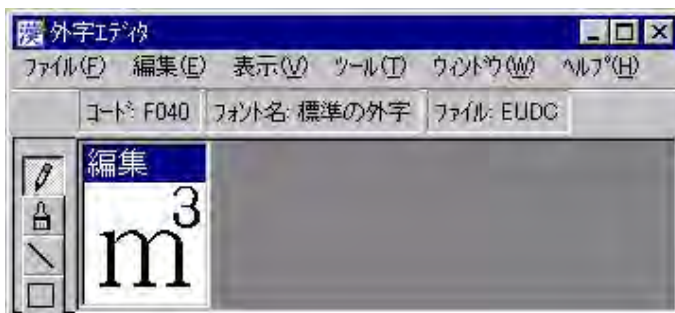
外字登録手順

Windowsシステムに外字ファイルがない場合、下記4.5.1の方法で外字ファイルを作成してください。すでに外字ファイルがある場合、4.5.2 **pConnect**へ外字ファイルを登録するへ進んでください。

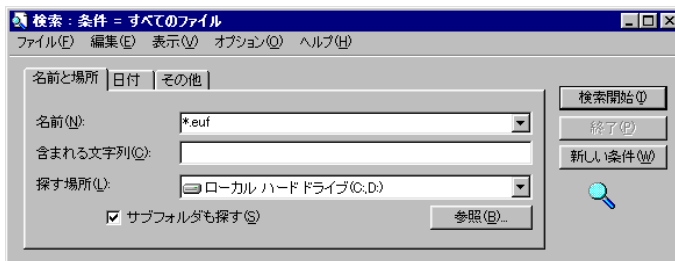
4.5.1 Windows95、NTでユーザフォントを作成する

- (1) Windows95、NTの外字エディタを使用して外字ファイルを作成します。
「スタート」 「プログラム」 「アクセサリ」 「外字エディタ」

例)

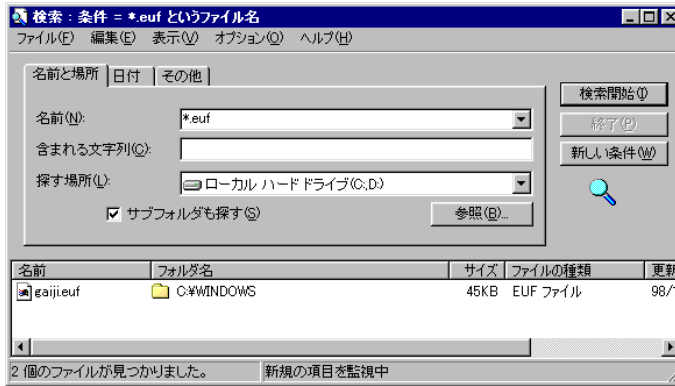


- (2) 作成した外字ファイルを検索します。
「スタート」 「検索」 「ファイルやフォルダ」



(3) 外字ファイル (*.euf) をローカルハードディスクで検索します。
「検索開始」をクリックします。

(4) 検索したファイルおよびディレクトリを表示します。



4.5.2 pConnectへ外字ファイルを登録する

4.5.2.1 ユーザーフォントファイルの変換

作成したユーザーフォントファイルを Font Conversion Program「Mrxfntc」を使用し変換します。

サポート CD の GAIJI ディレクトリから Mrxfntc.exe をユーザーフォントファイルのある作業ディレクトリへコピーします。

DOS プロンプトより、Mrxfntcに続けて、作成したユーザーフォントファイル名を入力して実行してください。



```
コマンドプロンプト - mrxfntc.eudc.euf
C:\%gaiji>mrxfntc eudc.euf
Font Conversion Program, Version 3.06
Copyright (c) Memorex Telex Japan Limited 1997. All rights reserved.

1 個の外字を変換しました。
変換テーブルを使用しますか(y/n) :
```

変換テーブルを指定します。使用する場合は "Y" を入力します。ファイル "mrxfnt.fnt" が作成されます。



```
コマンドプロンプト
C:\%gaiji>mrxfntc eudc.euf
Font Conversion Program, Version 3.06
Copyright (c) Memorex Telex Japan Limited 1997. All rights reserved.

1 個の外字を変換しました。
変換テーブルを使用しますか(y/n) : y
ファイル名 : psyslibm.tbl
外字ファイル mrxfnt.fnt が作成されました。
C:\%gaiji>
```



- ・ MEMOREX 2300, 2320, 2340, 2360, 2480 でユーザーフォント登録に使用したファイル(mrxfnt.fnt)があれば、これを流用することができます。

4.5.2.2 ユーザーフォントファイルの登録



- ・ **pConnect**がジョブ処理中でないことをご確認ください。

TCP/IPのファイル転送プロトコル(FTP)を使用して、**pConnect**へ `mrxfnt, fnt` をファイル転送します。

例)

- ・ **pConnect**へ `ftp` でログインします。
`C:¥WINDOWS>ftp 192.1.2.102 [return]`
- ・ ユーザー ID を尋ねてきたら “ root ” を入力します。
`User ID:root [return]`
- ・ パスワードを尋ねてきたら “ pass ” (デフォルトの場合) を入力します。パスワードの入力時、入力内容は表示されません。
`Password:pass [return]`
- ・ ファイル転送を行う場合は必ずバイナリタイプを指定します。
`binary [return]`
- ・ `send` または `put` コマンドを使用してファイル転送を行います。
`send mrxfnt,fnt Gaiji_3270 [return]`



- ・ 登録中は絶対に電源を切らないでください。
- ・ **pConnect**からログアウトします。
`bye (または quit)[return]`

以上でユーザーフォント登録は完了です。

リスタートなしで次のジョブから登録した外字が有効になります。

4.5.3 pConnectから外字ファイルを削除する

TCP/IPのファイル転送プロトコル(FTP)を使用して、**pConnect**に登録されたEudc.eufをファイル削除します。

例)

- **pConnect**へftpでログインします。
C:¥WINDOWS>ftp 192.1.2.102 [return]
- ユーザーIDを尋ねてきたら“root”を入力します。
User ID:root [return]
- パスワードを尋ねてきたら“pass”(デフォルトの場合)を入力します。パスワードの入力時、入力内容は表示されません。
Password:pass [return]
- S/390用ユーザーフォントを削除します。
delete Gaiji_3270 [return]
- **pConnect**からログアウトします。
bye (または quit)[return]

以上でユーザーフォント削除は完了です。

第 5 章

LPR 印刷

5 . 1 LPR 印刷の設定手順概要

LPR を利用し、**pConnect** で印刷をおこなうために必要な設定は、次のとおりです。

pConnect 本体への IP アドレスの設定

* 「2.2 IP アドレスの設定」参照

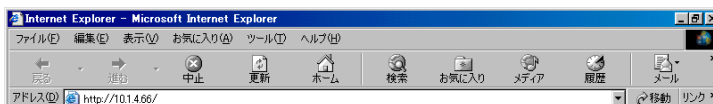
pConnect 本体の設定

ご利用の OS 環境の設定

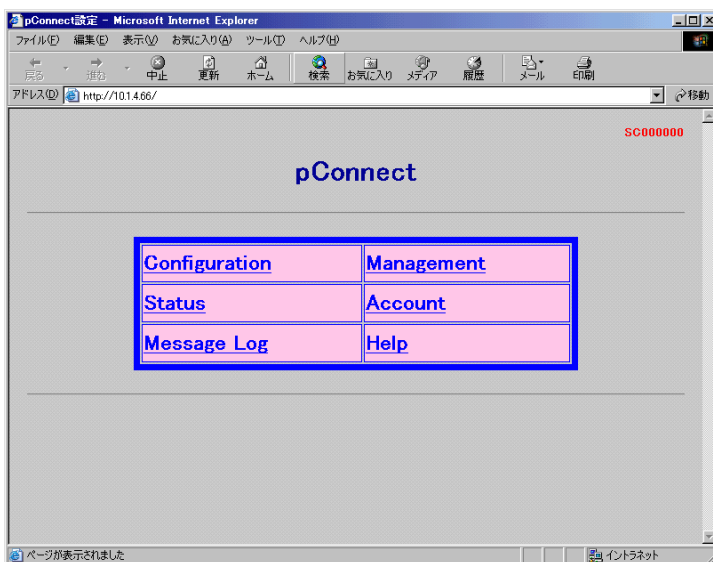
5.2 pConnect本体の設定

pConnectでLPR印刷のため、また設定を行うためにはIPアドレスを設定しておく必要があります。IPアドレスの設定方法は、「2.2 IPアドレスの設定」をご参照ください。

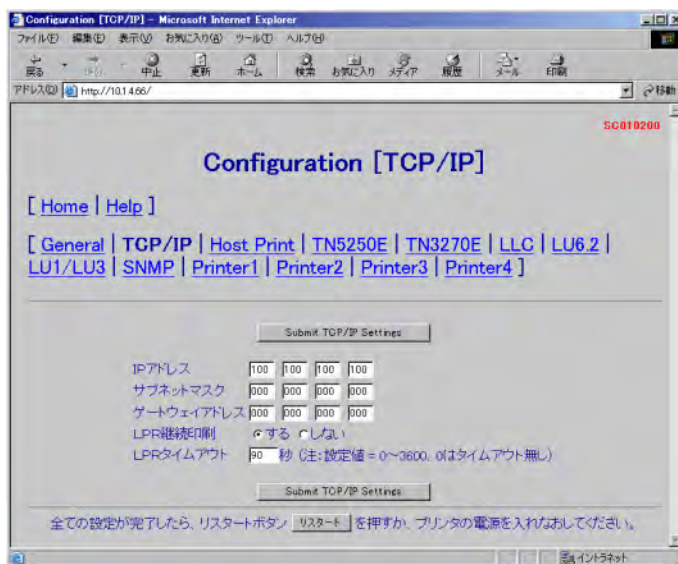
各種Webブラウザ製品でURLを入力する部分がありますので、そこにhttp://IPアドレスを入力するだけで終了です。以下はインターネットエクスプローラで10.1.4.66のIPアドレスをもつpConnectにアクセスする場合です。



アクセスするとpConnectのWebページが表示されます。



Configuration をクリックして Configuration ページを表示させて、TCP/IP のリンクをクリックすると以下のように表示されます。



サブネットマスクやゲートウェイアドレスが設定されていない場合設定してください。設定すべきサブネットマスクやゲートウェイアドレスはネットワーク管理者へおたずねください。

LPRタイムアウトについて、下記のパラメータ説明を参照し必要であれば変更してください。

LPR タイムアウト

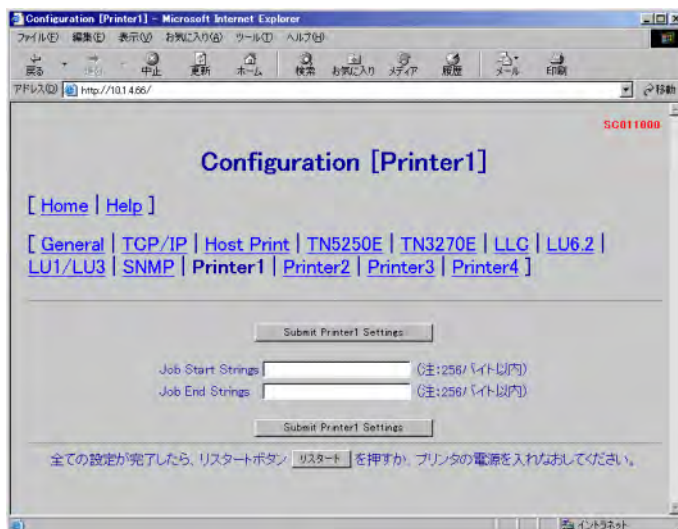
LPR タイムアウト時間を設定します。単位は秒です。

設定値は0 ~ 3600 秒です。

なお、設定値を「0 (零)」に設定すると、タイムアウト無しとなります。

変更を行なった場合、Submit TCP/IP Settings をクリックし変更内容を保存してください。

論理プリンタ機能を使用する場合、使用する Printer1 ~ Printer4 へ必要な設定を行います。PrinterX をクリックすると以下のように表示されます。



第6章 論理プリンタを参照し必要な設定を行ってください。変更後は、Submit PrinterX Settings をクリックして変更内容を保存してください。

全ての設定が完了したら（他の画面での設定も含みます）プリンタの電源を入れなおすが「リスタート」ボタンを押してください。



- ・「リスタート」ボタンを押す場合や、プリンタの電源を入れなおす場合は、必ず印刷が完了している事を確認してください。
印刷中に本製品を再起動させると、再起動後正常に動作しない場合があります。
- ・「リスタート」ボタンを押し、本製品が再起動するまでに1分数十秒かかる場合があります。
これは、LLQ(SNA)接続の切断処理をする場合です。ご了承ください。

5.3 Windowsでの使用方法

5.3.1 概要

pConnectでは、Windows95/98/Meと付属のMEMOREX TCP Port Monitorの組み合わせで、またはWindowsNT3.51/4.0(SERVER/WORKSTATION)標準のLPR、Windows2000(Professional/Server)/WindowsXP標準のStandard TCP/IP(LPR)を使用して印刷できません。

5.3.2 WindowsNT3.51の設定

LPRを利用し**pConnect**で印刷を行うために必要なWindowsNT3.51の設定について説明します。

[注意]

- WindowsNT3.51にて使用するには、ServicePack5をインストールする必要があります。「TCP/IP プロトコルおよび関連コンポーネント」の「TCP/IP ネットワーク印刷サポート」を既に組み込まれている方は「2. プリンタの作成」へお進みください。

1. LPRの組み込み

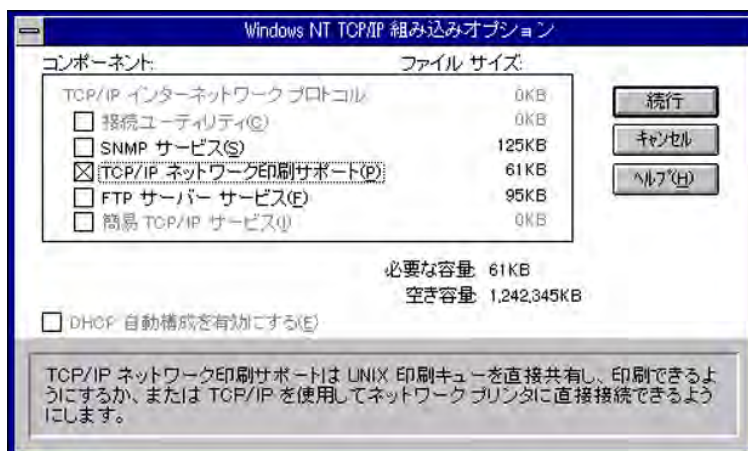
- 1a. 「コントロールパネル」画面で「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。
- 1b. 「ネットワークの設定」画面が表示されたら、「組み込まれているネットワークソフトウェア(W):」に「Microsoft TCP/IP 印刷」が組み込まれているかを確認してください。

既に組み込まれている場合は「2. プリンタの作成」へ進みます。

組み込まれていない場合は「ソフトウェアの追加(S)...」ボタンをクリックしてください。

- 1c. 「ネットワークソフトウェアの追加」画面を表示したら、「ネットワークソフトウェア (N):」のリストから「TCP/IPプロトコルおよび関連コンポーネント」を選び「続行」ボタンをクリックします。

- 1d. 「Windows NT TCP/IP 組み込みオプション」画面が表示されたら、「TCP/IP ネットワーク印刷サポート(P):」を選び「続行」ボタンをクリックします。



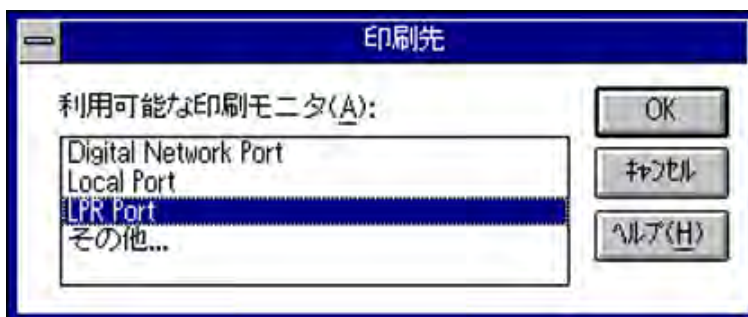
[注意]

- ・ 「TCP/IP ネットワーク印刷サポート(P):」を選べない場合は既に組み込まれています。この場合は、「2. プリンタの作成」へ進みます。

- 1e. 「ネットワークの設定」画面に戻ったら「組み込まれているネットワークソフトウェア(W)」に「Microsoft TCP/IP 印刷」が表示されていることを確認し、「OK」ボタンをクリックします。
- 1f. 「ネットワーク設定の変更」画面が表示されたら「システム再起動」ボタンをクリックします。

2. プリンタの作成

- 2a. 「メイン」画面から「プリントマネージャー」アイコンをダブルクリックします。
- 2b. **pConnect**に現在接続されているプリンタ、またはこれから接続するプリンタが既に作成されている場合はそのプリンタのウィンドウを開き「プリンタ(P)」メニューから「プリンタ情報(P)...」を選び 2f. へ進みます。
- 2c. 「プリンタ(P)」メニューから「プリンタ作成(T)...」を選びます。
- 2d. 「プリンタ作成」画面が表示されたら、「プリンタ名(N):」の欄に他のプリンタと区別できるユニークなプリンタ名を入力します。
- 2e. 「ドライバ(D):」のリストからプリンタの機種を選びます。
- 2f. 「印刷先(T):」のリストから「その他...」を選びます。
- 2g. 「印刷先」画面が表示されたら、「利用可能な印刷モニタ(A):」の覧から「LPR Port」を選びます。



- 2h. 「OK」ボタンをクリックします。
- 2i. 「LPR 互換プリンタの追加」の画面で「lpdを提供しているサーバーの名前またはアドレス(N):」の欄には、**pConnect**に設定した IP アドレスを入力します。「サーバーのプリンタ名またはプリントキュー(R):」の欄には**pConnect**の出力先“ lpt1 ”を入力して「OK」をクリックしてください。入力は大文字、小文字を区別しません。
1つ前の画面に戻りますので、「閉じる」をクリックしてください。

- 2j . 「プリンタの作成」画面に戻ったら、全ての設定が正しいか確認して「OK」ボタンをクリックします。

これまでの設定を行った場合、次の様な画面が表示されます。



プリンタの作成

プリンタ名(N): printer1

ドライバ(D): Printer Driver

説明(E):

印刷先(T): 100.100.100.100:LPT1

ネットワーク上で共有(S)

共有名(A):

設置場所(L):

OK

キャンセル

設定(O)...

詳細(D)...

ポート設定(P)...

ヘルプ(H)

新規にプリンタを作成した場合、選んだプリンタドライバの設定画面が表示されますので、必要な設定を行います。

5.3.3 WindowsNT4.0 の設定

LPR を利用し **pConnect** で印刷を行うために必要な WindowsNT4.0 の設定について説明します。

[注意]

- WindowsNT4.0 にて使用する場合には、ServicePack3 をインストールすることが最低限必要です。
推奨する環境は、ServicePack5 以上です。

「Microsoft TCP/IP 印刷」を既に組み込まれている方は「2. プリンタの作成」へお進みください。

1. LPR の組み込み

- 「コントロールパネル」画面で「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。
- 「ネットワーク」画面が表示されたら「サービス」をクリックし、ネットワークサービスウィンドウリストに「Microsoft TCP/IP 印刷」が組み込まれているか確認してください。
既に組み込まれている場合は「2. プリンタの作成」へお進みください。

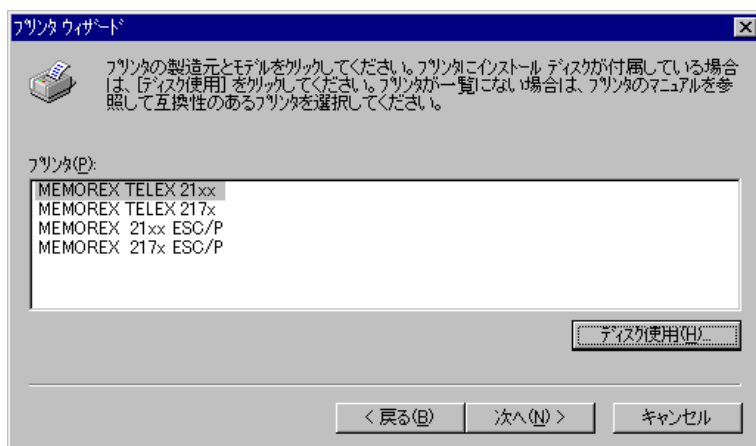


- 1c. 組み込まれていない場合は「追加(A)...」をクリックし、「Microsoft TCP/IP 印刷」を選択して「OK」をクリックします。
- 1d. 「ネットワーク」の画面に戻りましたら、ネットワークサービスウィンドウのリストに「Microsoft TCP/IP 印刷」が表示されていることを確認し、「OK」ボタンをクリックします。
- 1e. 「ネットワーク設定の変更」画面が表示されたら「再起動」ボタンをクリックします。

2. プリンタの作成

- 2a. コントロールパネルを開き、「プリンタ」をダブルクリックします。「プリンタの追加」をダブルクリックし「プリンタの追加ウィザード」を立ち上げます。
「このコンピュータ(M)」を選択して、「次へ」をクリックします。
- 2b. 「ポートの追加(T)」をクリックし「プリンタポート」画面を表示します。
- 2c. 「利用可能なプリンタポート(A):」のリストで「LPR Port」を選択して、「新しいポート(P)...」をクリックします。
- 2d. 「LPR 互換プリンタの追加」の画面で「lpd を提供しているサーバーの名前またはアドレス(N):」の欄には、**pConnect**に設定した IP アドレスを入力します。
「サーバーのプリンタ名またはプリントキュー(R):」の欄には**pConnect**の出力先“ lpt1 ”を入力して「OK」をクリックしてください。入力は大文字、小文字を区別しません。
1つ前の画面に戻りますので、「閉じる」をクリックしてください。
- 2e. ここで、「利用可能なポート(A):」のリストに作成したプリンタポートが追加表示されチェックされているのを確認して「次へ」をクリックします。

- 2f. 下図の画面で「製造元(M):」からメーカーを、「プリンタ(P):」から接続されているプリンタを選択して、「次へ」をクリックします。
使用するプリンタが見つからない場合は、プリンタ付属のドライバをご使用ください。
なお、プリンタドライバのインストール方法はプリンタのマニュアルをご覧ください。



- 2g. プリンタ名を入力する画面では、判別しやすい名前を入力し「次へ」をクリックしてください。(WindowsNT4.0 上でのプリンタ名になります。)
- 2h. 次の画面では「共有しない(O)」を選択して、「次へ」をクリックします。
- 2i. 続いて、テストページを印刷で「はい」を選択して、「完了」をクリックしてください。

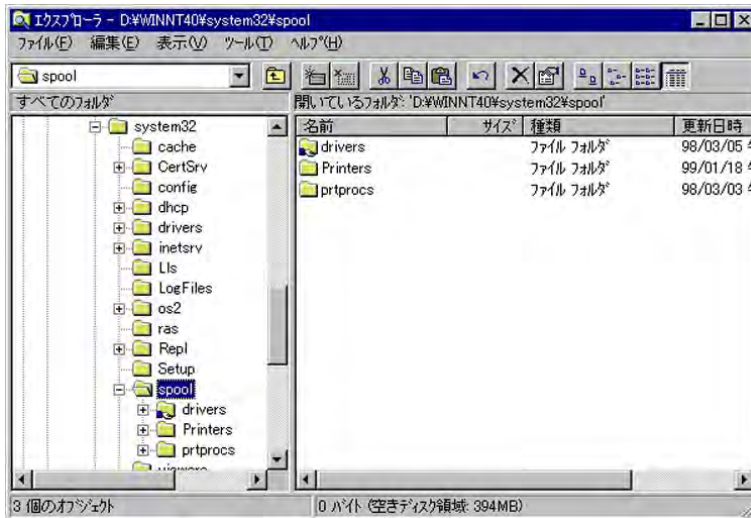
5.3.4 ファイルシステムがNTFS の場合のご注意

WindowsNT から LPR 印刷を行った際に「書き込みエラー」とエラーが表示される場合について説明します。

この場合、ユーザーに与えられたスプールディレクトリのアクセス権が適切でないことがありますので、以下のことを確認してください。

「エクスプローラ」を起動し、%WINNT%system32%spool というディレクトリを選択し、右クリックで「プロパティ」を選択します。

次に、「セキュリティ」を選択し、「アクセス権」をクリックします。



「ディレクトリのアクセス権」に印刷を行うユーザーに与えられたグループが存在していることを確認します。

また、そのグループに与えられたアクセス権の種類が、「フルコントロール」または「追加と読み取り」、「変更」になっていることを確認してください。



【ケース1】印刷を行うユーザーのグループがない場合

「追加」を選択してグループを追加してください。

【ケース2】アクセス権が、「フルコントロール」「追加と読みとり」「変更」以外になっている場合

そのグループを選択して「アクセス権の種類」で上記のアクセス権を与えてください。

【ケース3】アクセス権の種類が「特殊なディレクトリのアクセス権」になっている場合
「読み取り」、「書き込み」、「実行」のアクセス権を与えられていることを確認してください。

この3つのアクセス権が与えられていない場合は、不足している権利を与えてください。同様に「spool」下の「Printers」というディレクトリアクセス権もご確認ください。

5.3.5 WindowsNTのプリンタをネットワークで共有する場合

WindowsNT で作成したプリンタを共有することで、Windows パソコンから WindowsNT を経由した印刷が可能になります。共有プリンタの設定は次の手順で行います。

1. 共有設定するプリンタを右クリックし「共有」を選択します。
2. 「共有」タブを選択された画面で「共有する」にチェックを入れます。
3. 「共有名」の覧にシステムが作成した共有名を表示します。
この共有名は自由に変更できますが、ネットワークで共有するためユニークな名前が必要です。
4. プリンタ共有に関するユーザーの使用権などについての詳細は Windows NT のマニュアルをご覧ください。
5. Windows ディレクトリの下、[System32] 下の「Spool」と、「Spool」の下の「printer」について、印刷を行うユーザーのグループに対して、「追加と読み取り」のアクセス権を与えてください。

[注意]

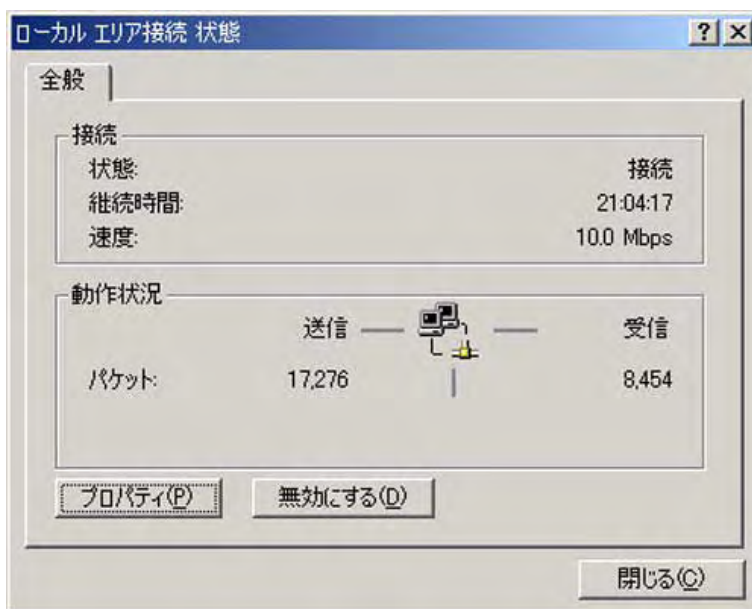
- LANManager 等のワークステーションから WindowsNT を経由して印刷する場合、WindowsNT で設定するプリンタドライバは使用されません。印刷するワークステーション側のプリンタドライバが使用されます。

5.3.6 Windows2000 の設定

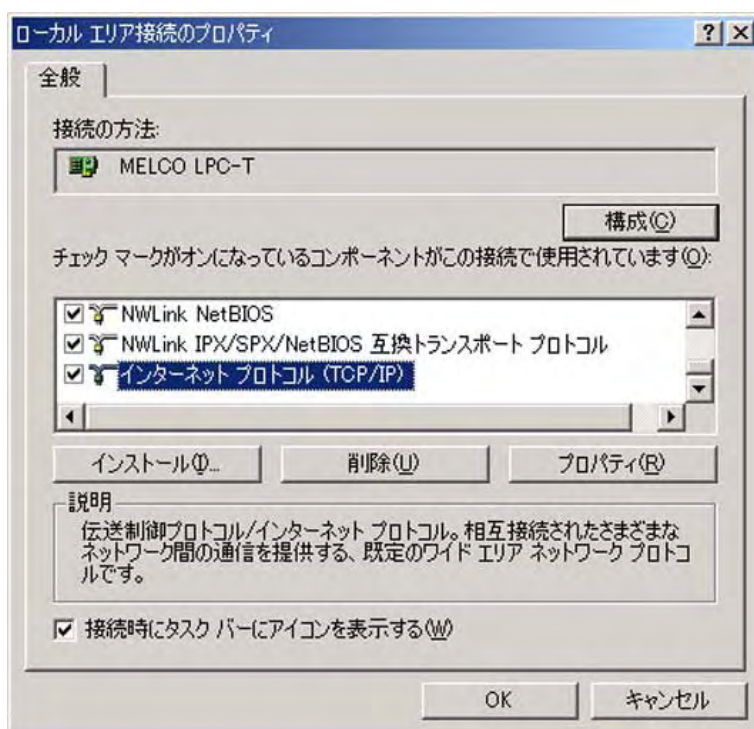
Standard TCP/IP(LPR)を利用し**pConnect**で印刷を行うために必要な設定について説明します。

1. インターネットプロトコル (TCP/IP)の組み込み

- 1a. Windows2000 に Administrator (または同等権限のユーザ) でログインします。
- 1b. 「スタート」 「設定」 「ネットワークとダイヤルアップ接続」 「ローカルエリア接続」を実行します。



- 1c. 「プロパティ」をクリックし、「インストール」をクリックしてください。「ネットワークコンポーネントの種類を選択」画面が表示されますので、「プロトコル」を選択して、「追加」をクリックしてください。「ネットワークプロトコルの選択」画面が表示されるので一覧から「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択して「OK」をクリックすると必要なファイルがコピーされ、「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が組み込まれます。



- 1d. 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」をクリックして、使用する環境に適した IP アドレス等の設定を行ってください。

- 1e. **pConnect**と TCP/IP を使用して通信ができることを確認してください。

[注意]

- 既に「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が組み込まれている場合は必要ありません。

2. プリンタの作成

< 前提条件 >

Windows2000 がイーサネットに接続されており、TCP/IP を使用して**pConnect**と通信ができることを前提とします。**pConnect**には、適切な IP アドレス（必要に応じて、SubnetMask、DefaultGatewayAddress）が設定されているものとします。

< 使用環境 >

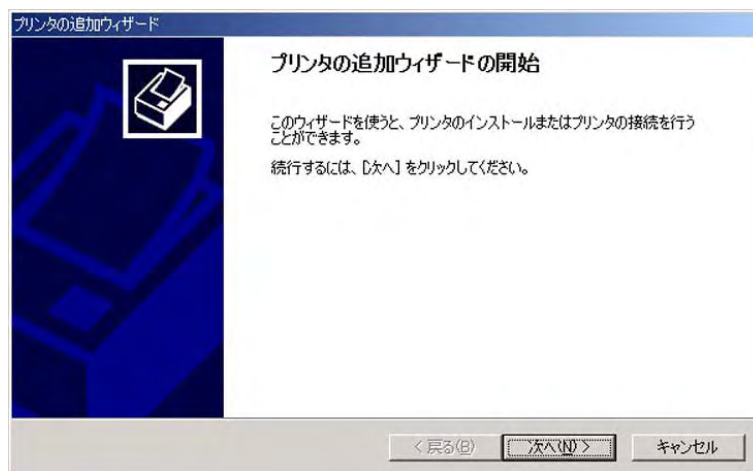
本マニュアルでは、下記の環境にて実施した場合を例としています。

使用 OS Windows2000 Professional

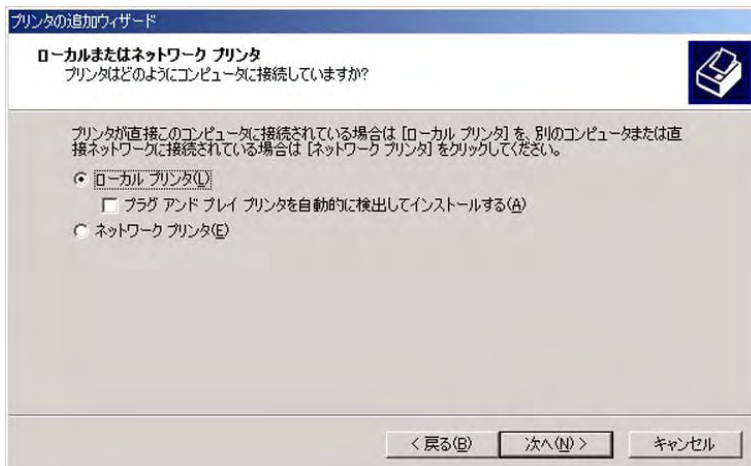
使用 Printer MEMOREX 2163

使用 Printserver **pConnect**(設定 IP アドレス =10.1.4.219)

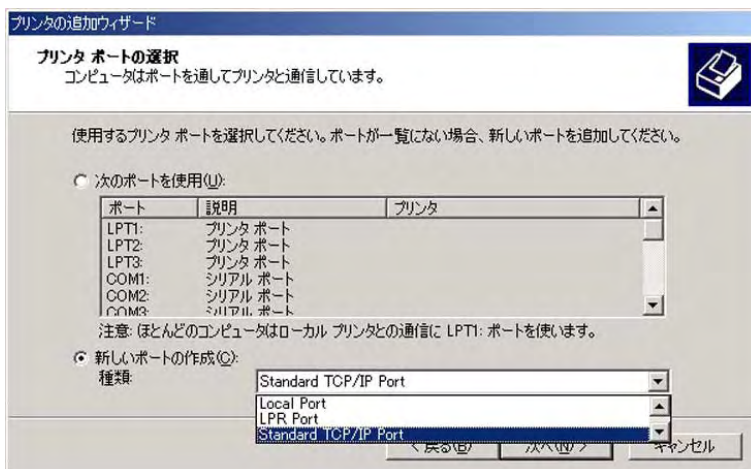
- 2a. スタートメニューより、「設定」「プリンタ」を選択します。「プリンタの追加」をダブルクリックします。
- 2b. 「プリンタの追加ウィザード」が表示されるので、「次へ」をクリックしてください。



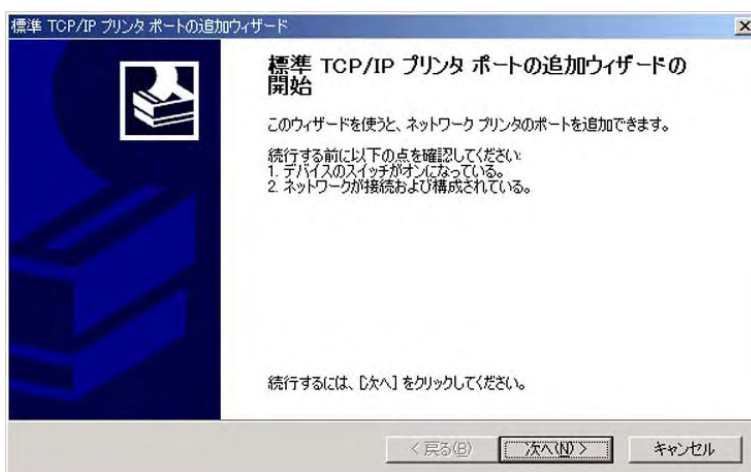
- 2c. 「ローカルプリンタ」を選択し、「次へ」をクリックします。「プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする」にはチェックを入れないでください。



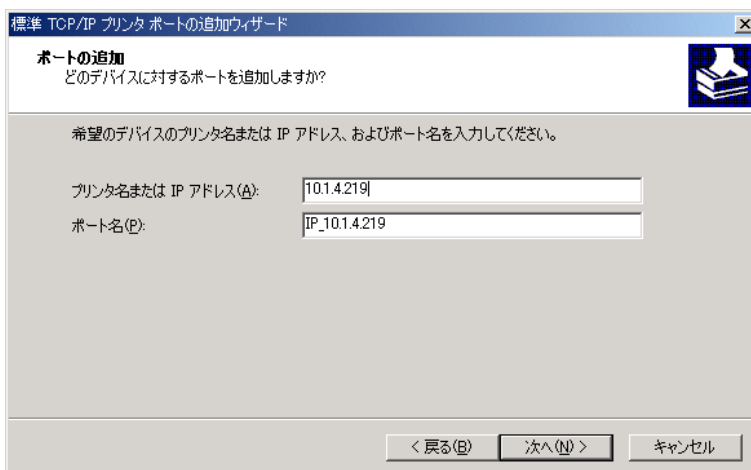
- 2d. 新しいポートの作成で「Standard TCP/IP Port」を選択し、「次へ」をクリックします。



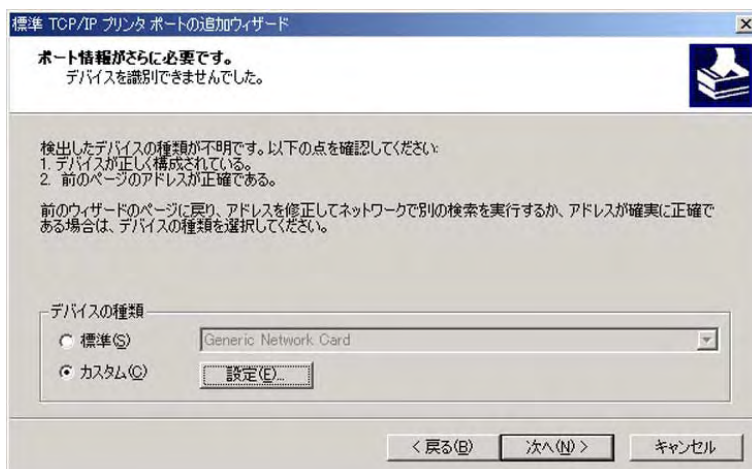
- 2e . 「標準TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」が表示されるので、「次へ」をクリックしてください。



- 2f . **pConnect**に設定した IP アドレスを入力し、「次へ」をクリックしてください。
ポート名は、ユニークなものに限ります。デフォルトでは、「IP_入力した IP アドレス」が入ります。



- 2g . ポートの追加で IP アドレスを入力すると、その IP アドレスにアクセスし、プリンタの情報を取得する機能が用意されていますが、**pConnect**はこの機能をサポートしていませんので「カスタム」を選択し、「設定」をクリックしてください。



「設定」をクリックすると、「標準 TCP/IP ポートモニタの構成」のデフォルト値が表示されるので、設定を変更してください。

< 標準 TCP/IP ポートモニタの構成のデフォルト画面 >

標準 TCP/IP ポートモニタの構成

ポートの設定

ポート名(P): IP_10.1.4.219

プリンタ名または IP アドレス(A): 10.1.4.219

プロトコル

Raw(R) LPR(L)

Raw 設定

ポート番号(N): 9100

LPR 設定

キュー名(Q):

LPR バイト カウントを有効にする(B)

SNMP ステータスを有効にする(S)

コミュニティ名(C): public

SNMP デバイス
インデックス(I): 1

OK キャンセル

- 2h. プロトコル: RAW LPR、キュー名: lpt1 に変更してください。「LPR バイトカウントを有効にする」にチェックをしてください。

[注意]

- ・ “SNMP ステータスを有効にする”機能には対応していないので、チェックをしないでください。

< 標準 TCP/IP ポートモニタの構成の変更画面 >

標準 TCP/IP ポートモニタの構成

ポートの設定

ポート名(P): IP_10.1.4.219

プリンタ名または IP アドレス(A): 10.1.4.219

プロトコル

Raw(R) LPR(L)

Raw 設定

ポート番号(N): 9100

LPR 設定

キュー名(Q): lpt1

LPR バイト カウントを有効にする(B)

SNMP ステータスを有効にする(S)

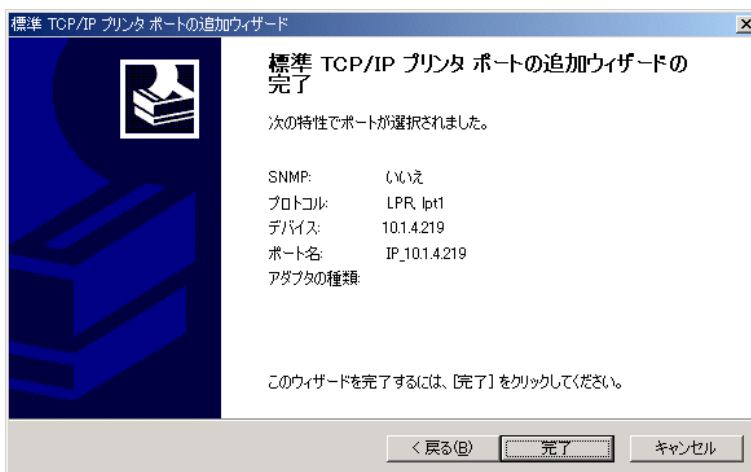
コミュニティ名(C): public

SNMP デバイス
インデックス(I): 1

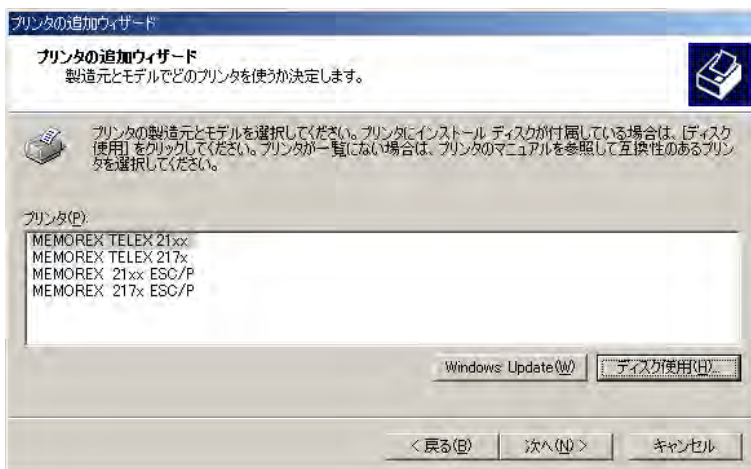
OK キャンセル

- 2i . 「OK」をクリックすると、「標準TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードの完了」画面が表示されます。

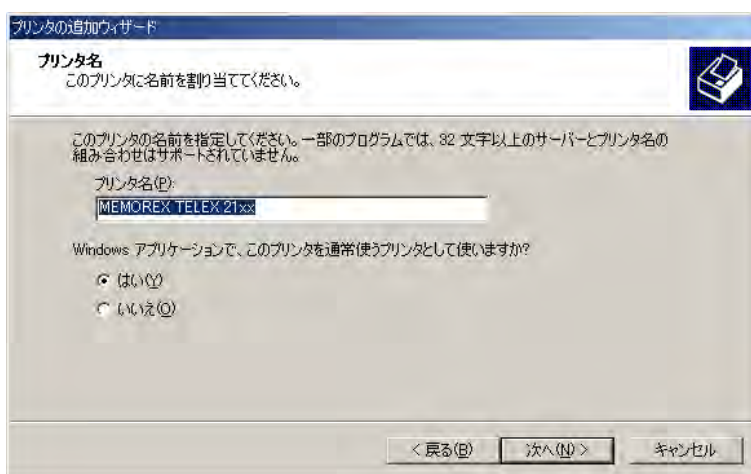
設定を行った内容が表示されるので間違いがないか確認して、「完了」をクリックしてください。



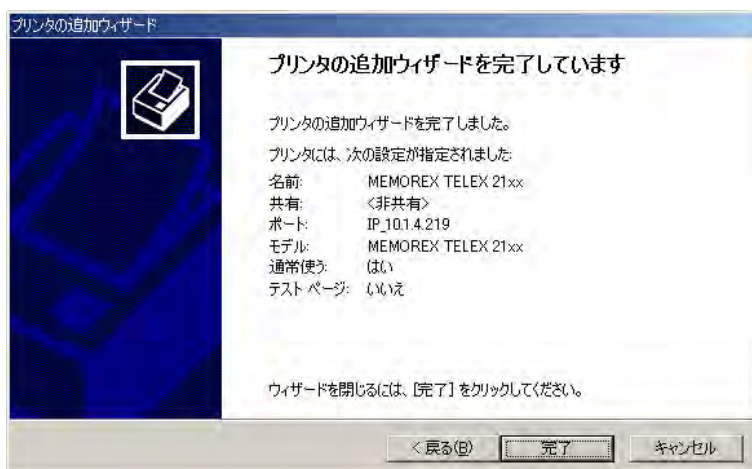
- 2j . 「プリンタの追加ウィザード」が表示されるので、**pConnect**に接続しているプリンタのドライバを選択し「次へ」をクリックします。



- 2k . 任意のプリンタ名を設定し、通常使用するプリンタに設定する場合は「はい」を選択して「次へ」をクリックします。



- 2l . プリンタの共有設定を行う画面が表示されるので、必要に応じて設定をおこない「次へ」をクリックしてください。
- 2m . テストページの印刷画面が表示されるので、テストページ印刷を行う場合は「はい」にチェックをして、「次へ」をクリックしてください。
- 2n . 正常にプリンタが作成された場合は、次のような画面が表示されるので「完了」をクリックしてください。これでプリンタの作成は終了です。



5.3.7 WindowsXP の設定

< 前提条件 >

WindowsXP がイーサネットに接続されており、TCP/IP を使用して**pConnect**と通信ができることを前提とします。**pConnect**には、適切な IP アドレス（必要に応じて、SubnetMask、DefaultGatewayAddress）が設定されているものとします。

< 使用環境 >

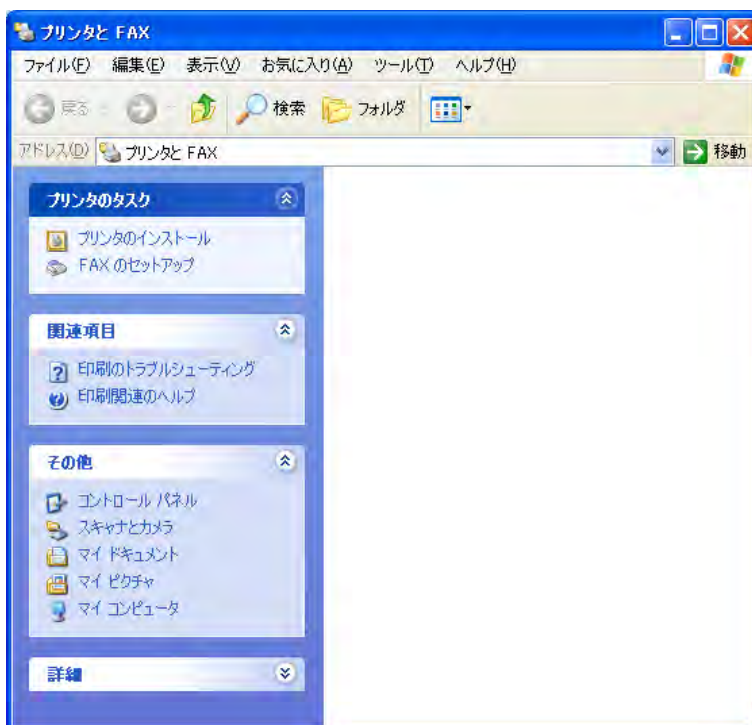
本マニュアルでは、下記の環境にて実施した場合を例としています。

使用 OS WindowsXP Professional

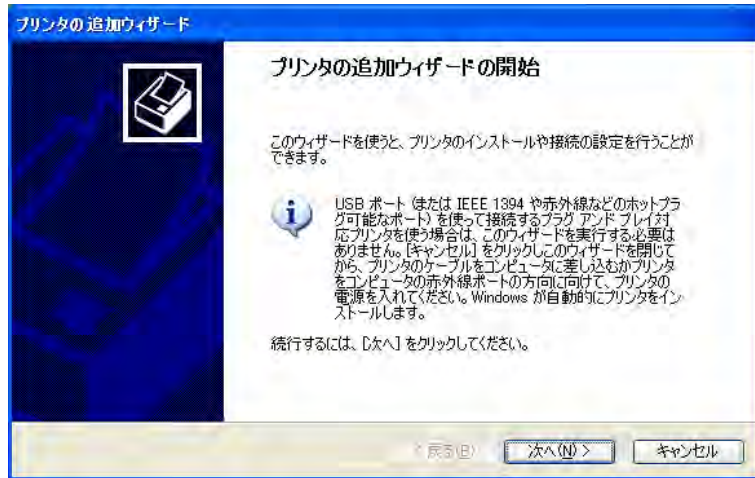
使用 Printer MEMOREX 2163

使用 Printserver **pConnect**(設定 IP アドレス =10.1.4.221)

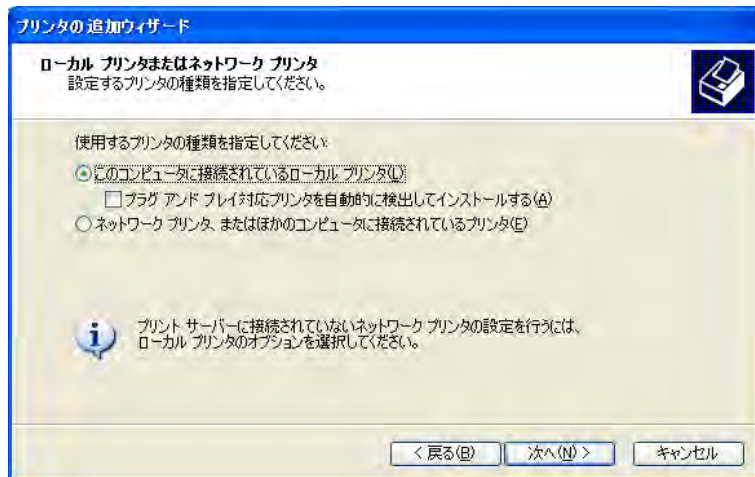
スタートメニューより、「プリンタと FAX」を選択します。
「プリンタのインストール」をクリックします。



ウィザードに従い、プリンタの追加、設定を開始します。



「ローカルプリンタ」を選択します。「プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする」にはチェックを入れないでください。



プリンタポートを追加します。

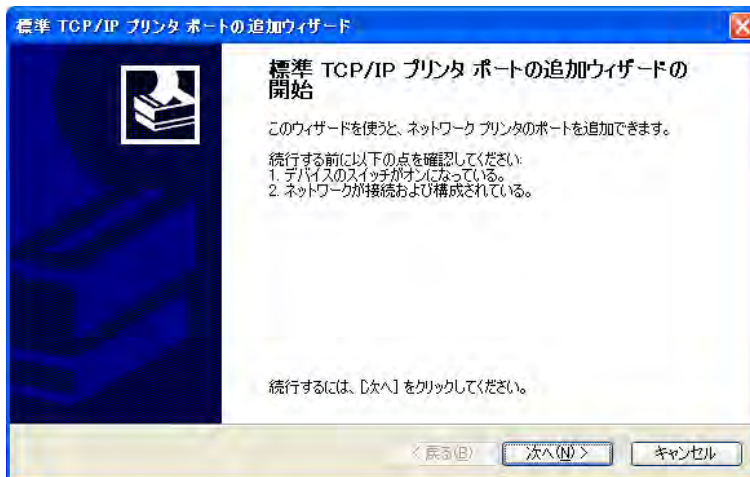
WindowsXP Professional においては、ローカルプリンタポートとして2種類のポートが用意されています。

- ・Local Port: WindowsXP Professional のParallel Port に Printer を接続する場合
- ・Standard TCP/IP Port: WindowsXP Professional での機能 (LPR/RAW を選択できる) を使用する場合

新しいポートの作成で「Standard TCP/IP Port」を選択します。



次に「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」を開始します。

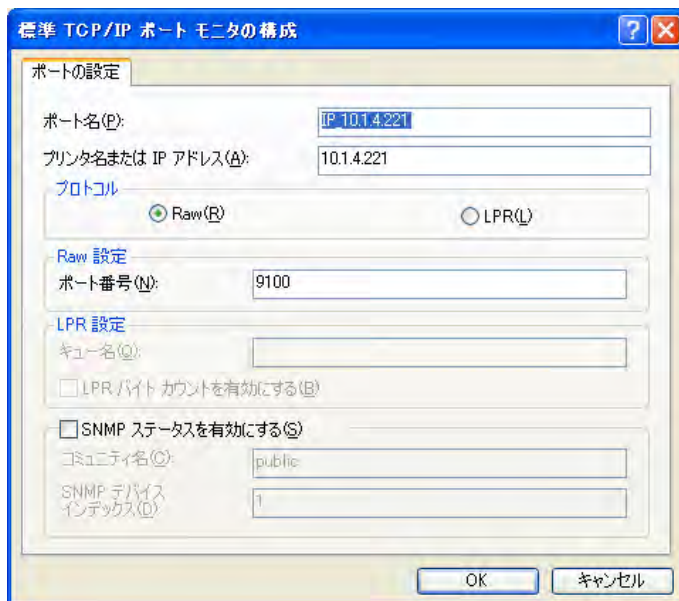


pConnectに設定した IP アドレスを入力してください。ポート名は、ユニークなものに限ります。デフォルトでは、「IP_入力した IP アドレス」が入ります。

ポートの追加で IP アドレスを入力すると、その IP アドレスにアクセスし、プリンタの情報を取得する機能が用意されていますが、pConnectはこの機能をサポートしていませんので「カスタム」を選択し、「設定」をクリックしてください。

「設定」をクリックすると、下記のようなデフォルト値が表示されますので、設定を変更してください。

< デフォルト値 >

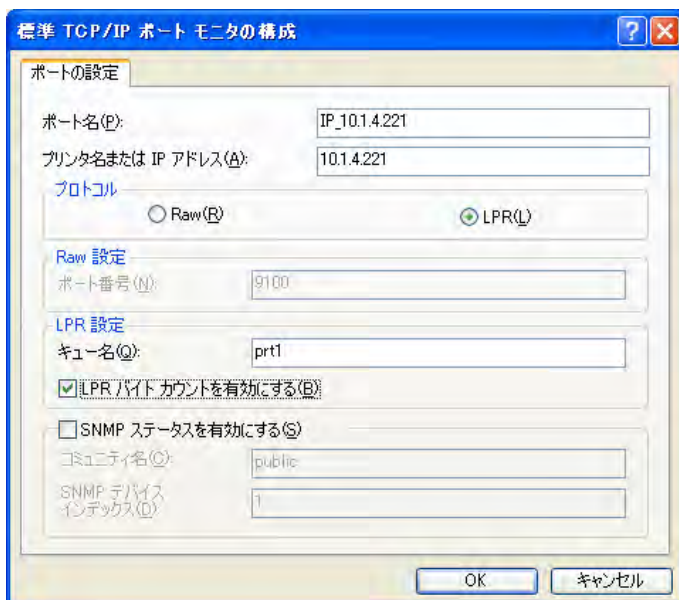


プロトコル : RAW LPR

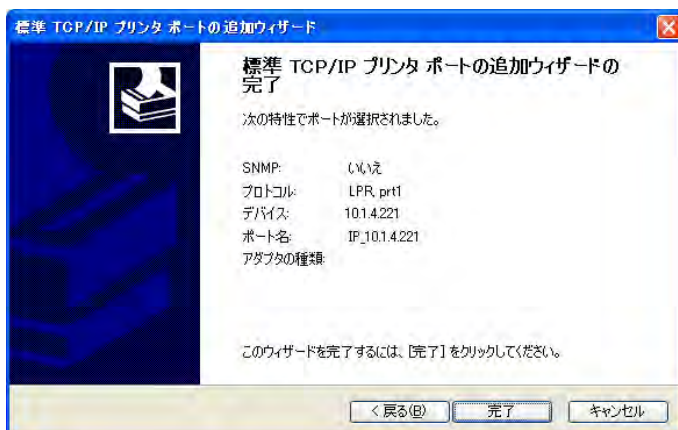
キュー名 : lpt1(lpt1, prt1, prt2 等 : プリントサーバで使用するプリンタポートに合わせて指定してください。)

「LPR バイトカウントを有効にする」にチェックを入れる。

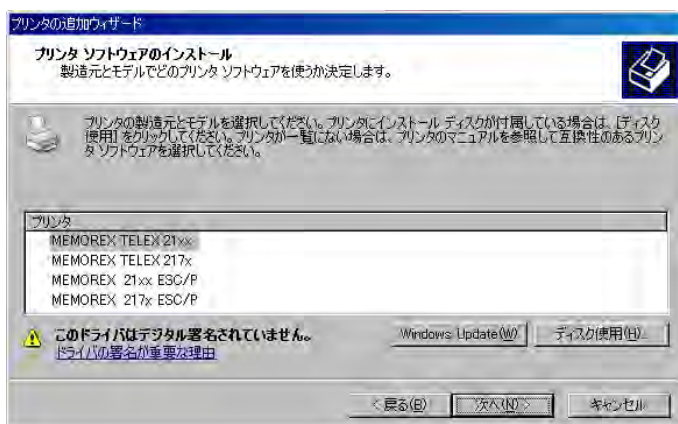
< 変更後の画面 >



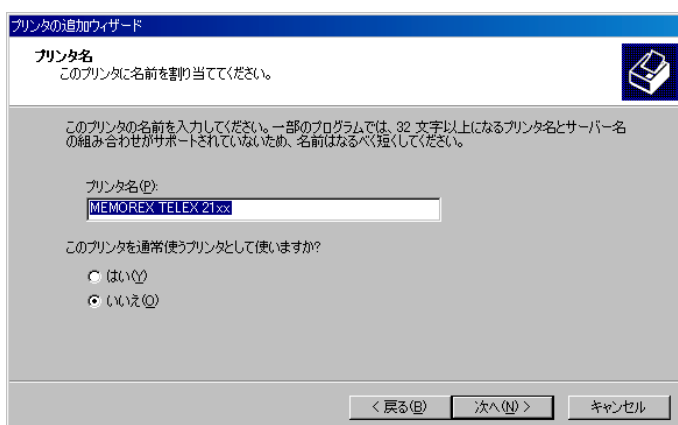
以上で、「標準 TCP/IP プリントポートの追加ウィザード」が終了します。



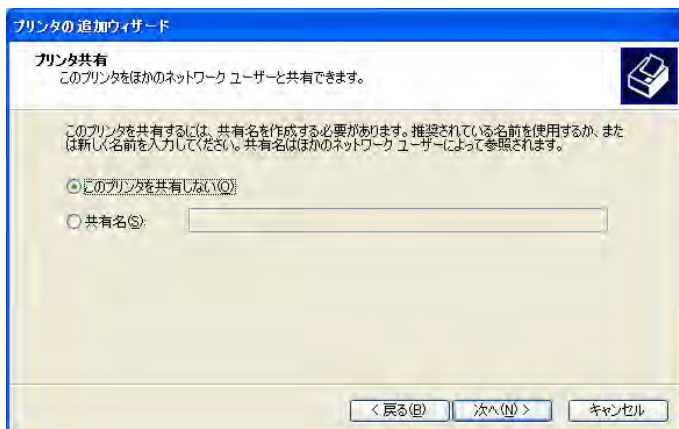
次に、pConnectに接続しているプリンタのドライバを選択します。



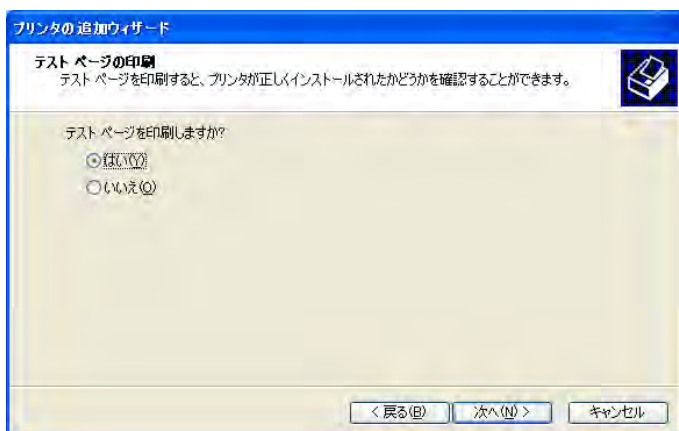
「プリンタ名」を設定します。



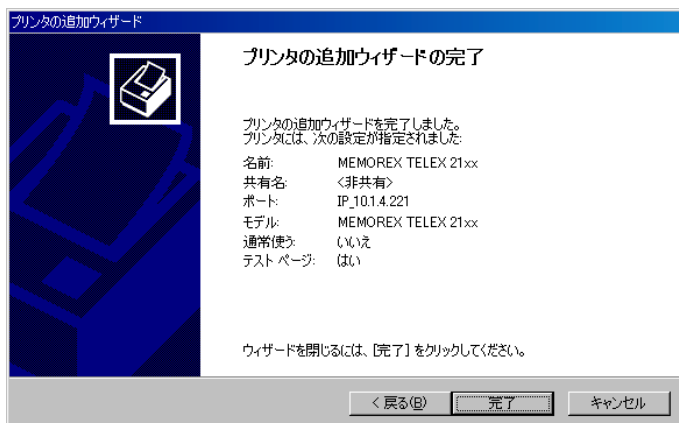
プリンタの共有をする場合には、ここで指定します。



テスト印刷を行い、正常に出力されればOKです。



正常にプリンタが作成された場合は、下記のような画面が表示されますので完了をクリックしてください。これでプリンタの作成は終了です。



5.3.8 プリンタの共有について

作成したプリンタを共有する場合の使用法を説明します。

1. 共有するプリンタを選択し、「右クリック」「共有」を選択します。
2. 共有のプロパティを選択し、共有するにチェックを入れ、共有名を入力し、「OK」をクリックしてください。これで、プリンタの共有は完了です。



3. 次に、共有化したプリンタに他のPC からアクセスできるようにするために、ユーザーを作成します。コントロールパネルの中のユーザーとパスワードを開きます。

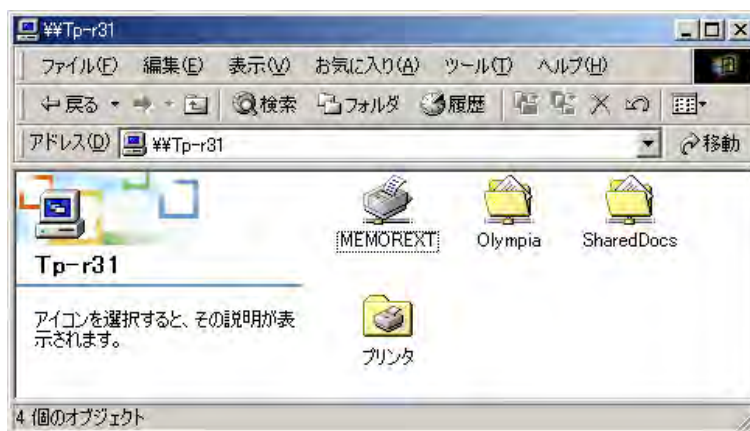


4. 「追加」をクリックして任意のユーザー名の入力、パスワードの設定、権限の設定（例は PowerUser ）を行ってください。

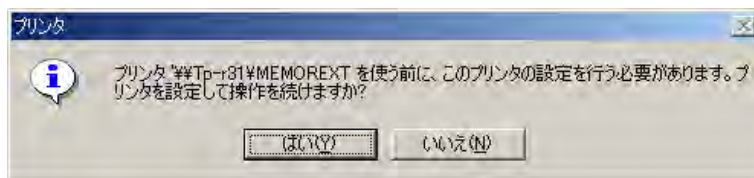


「USER01」という名前のユーザーが追加されました。他の PC から共有したプリンタへアクセスする場合にはここで作成したユーザー名にてアクセスすることになります。

5. 共有化したプリンタを持つ PC にアクセスすると、他の共有フォルダとともに、プリンタが表示されます。



6. 共有プリンタを使用するには、プリンタを右クリックし、開くを選択すると、共有プリンタにアクセスし次のような画面が表示されるので、「はい」をクリックしてください。



7. プリンタを検索し正常に認識されるとプリンタが追加されます。名前は、「共有名-PC名」となります。これで、他のローカルプリンタと同様に使用することが可能となります。



5.3.9 Windows95/98/Me の設定

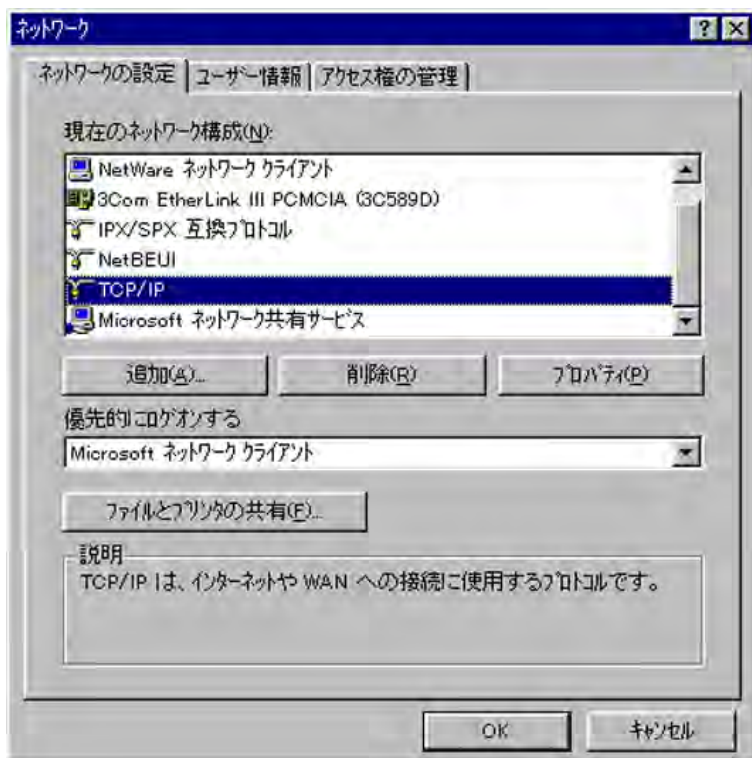
1. TCP/IP 環境設定

既に Windows95/98/Me に IP アドレスが設定されている場合は、「2.MEMOREX TCP Port Monitor のインストール」に進んでください。

1a. 「コントロールパネル」の「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。

「ネットワーク」画面が表示されたら、「現在のネットワーク構成」に以下の項目が組み込まれていることを確認してください。

- ・TCP/IP (プロトコル)
- ・LAN アダプタ (アダプタ)



[注意]

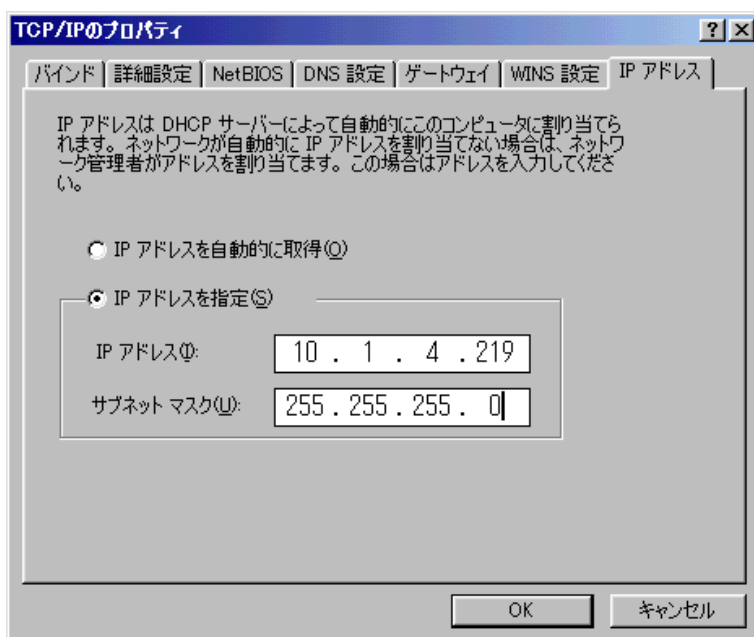
- ・ TCP/IP が表示されていない場合

「追加」をクリックし、「プロトコル」「追加」をクリック、「Microsoft」「TCP/IP」「OK」をクリックして組み込みます。再起動を要求されますが、「いいえ」を選択して下記の IP アドレスの設定を同時に行います。

- 1 b. 「現在のネットワーク構成」のTCP/IP をダブルクリックして「TCP/IP のプロパティ」を表示します。「IP アドレスを指定」にチェックを入れて IP アドレス/サブネットマスクの欄にご使用になっているネットワークの環境に合った IP アドレス/サブネットマスクを正確に入力して「OK」をクリックしてください。設定が終了後、Windows95/98/Me を再起動してください。

なお IP アドレス/サブネットマスクの値については、ネットワーク管理者にご相談ください。

例) IP アドレス : 10.1.4.219
サブネットマスク : 255.255.255.0



2 . MEMOREX TCP Port Monitorのインストール

ご使用になられます、LPRのインストールガイドに従いインストールしてください。
pConnectサポート CD には、LPR ツールとして「MEMOREX TCP Port Monitor」が同梱されています。

5.3.10 トラブルシューティング

5.3.10.1 WindowsNT で印刷できない

- ① PING コマンドで **pConnect** にアクセスできるか確認します。アクセスできない場合は IP_Setup やテストプリントなどで IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトルータを確認してください。
- ② LPR コマンドを使用してプリンタに直接データを送ります。
pConnect の IP アドレスを 192.1.2.100 としたら以下のようにコマンドを送ります。
LPR -S192.1.2.100 -PPR1 C:¥?????.TXT (LPR /? でコマンドの送り方ができます)
?????.TXT の中身は印刷されましたか？されない場合、**pConnect** の電源を OFF/ON してください。
- ③ LPR コマンドで印刷可能なのに、NT 中の LPR Port 使用時だけ印刷不可の場合は、WindowsNT の TCP/IP 印刷サービスがおかしい可能性があります。WindowsNT を立ち上げ直してみてください。
- ④ サーバーからは印刷できるがクライアントから印刷できない場合は 5.3.9.3 サーバーからは印刷できるがクライアントから印刷できないを参照してください。
- ⑤ Print Monitor 内の LPR ポートを使用しての印刷はできません。WindowsNT 標準の LPR port を使用して印刷設定を行ってください。

5.3.10.2 **pConnect** との PING ができなくなってしまう。

- ① TCP/IP の IP アドレスを設定した後、Default Router や Subnet Mask を設定しないと、アクセスできなくなることがあります。WindowsNT で Subnet Mask や Default Router を設定している場合は **pConnect** も必ず Default Router, Subnet Mask を設定してください。
- ② **pConnect** のテストプリントボタンを押してテストページを出力して IP アドレスを確認してください。

5.3.10.3 サーバーからは印刷できるがクライアントから印刷できない

WindowsNT 3.51 をご使用の場合、WindowsNT 3.51 の不具合で、プリンタを共有した場合一般ユーザーが印刷を行うとエラーが発生し印刷できないことがあります。この不具合はスプールディレクトリのアクセス権がの初期設定が読み取り専用になっているため起こる問題です。この問題はNTFSでフォーマットされている場合に起こる問題です。 を実行して下さい。

まずWindowsNT 3.51のファイルマネージャを起動しスプールファイルが格納されているディレクトリ(初期状態では "%SystemRoot%\system32\spool\PRINTERS ")の Everyone のアクセス権を RX (読み取り) から RWXD (変更) に変更する。

この情報はマイクロソフトのホームページからも獲得可能です。

5.3.10.4 WindowsNT の印刷関連問題

下記の問題はマイクロソフトのホームページのサポート情報で提供されている情報です。HTTPで情報獲得することができるのでご参照ください。

(<http://www.microsoft.com/japan/support/>)

プリント中の SP00LSS.EXE アプリケーションエラー (文書番号: J040437)

印刷キューにある文書のプロパティを変更できない (文書番号: J040357)

Win95 プリントジョブがWindows NT プリントキューから消える

(文書番号: J040348)

Windows 95 クライアントが、プリントキュー一覧を表示できない

(文書番号: J040346)

NT4.0 でWindows 95 のプリンタドライバを共有する方法 (文書番号: J040345)

スプーラがディスクに空き容量が無くなったことを通知しない

(文書番号: J040094)

印刷ウィザードにプリンタが表示されない (文書番号: J032125)

LPR ポートでの印刷時のイベント 2007 エラー (文書番号: J032122)

エラーメッセージ: 規定のプリンタが設定できません (文書番号: J032108)

TCP/IP および LMHOSTS ファイルを使用したドメインブラウジング

(文書番号: J030016)

文書が印刷されず、エラー メッセージも表示されない (文書番号: J027487)

管理者以外から印刷をしたときに印刷ジョブが削除されない (文書番号: J032126)

WindowsNT4.0 SP3 での LPR 印刷について (11 の TCP/IP ポートの使用制限)

(文書番号: J031725)

5.4 UNIXでの使用方法

pConnectはUNIX (TCP/IP) 環境で印刷することができます。

5.4.1 概要

pConnectをUNIXで使用するには次の設定が必要です。

1. pConnectの設定

2. ワークステーションの設定

lpr , lp で印刷する場合はワークステーションに**pConnect**を登録します。
FTP で印刷する場合は、特にワークステーションの設定は必要ありません。

5.4.2 UNIXワークステーションの設定

lpr , lp で印刷する場合には、UNIX ワークステーションにも設定が必要になります。
設定方法は、各バージョンによって異なりますので、詳しくは、お手持ちのワークステーションのマニュアルをご覧ください。

- ・ 設定は、全て root (管理者) 権限で行います。
- ・ 以下の設定を行う前に、/etc/hosts ファイルに**pConnect**を登録してください。

例) hosts ファイルに vi エディタ等で**pConnect**用の1行を追加します。

100.100.100.1	localhost	
100.100.100.101	superx	
100.100.100.100	p_svr	← 追加行

5.4.2.1 SunOS (バージョン 4.1.x) の場合

1. /etc/printcap の設定

1a. スプールディレクトリを作ります。

1b. **pConnect**を使用するための標準的な設定を vi 等のエディタを使って printcap ファイルに追加します。追加する内容の例は次の通りです。

```
prtsvr|for printer_server:¥
:lp=¥
:rm=p_svr:¥
:rp=LPT1:¥
:sd=/usr/spool/lpdprtsvr:¥
:
```

1c. printcap へ追加する内容のパラメーターの意味は次の通りです。

プリンタ名

pConnect用に printcap 内でユニークな名前を記述します。
ここでは prtsvr としています。

rm : リモートホスト名

リモートホスト名は **pConnect**用に /etc/hosts ファイルで指定したホスト名にします。

rp : リモートプリンタ名

リモートプリンタ名には **pConnect**のプリンタポート名 “ LPT1 ” を指定します。論理プリンタ機能を使用しない場合、出力するためのポート指定は次のようになります。

:rp=LPT1:¥

sd : スプールディレクトリ名 (/usr/spool/lpdprtsvr)

スプールディレクトリ名は、「 1 a .」で作ったスプールディレクトリの名前を指定します。

if,tf,vf : フィルタ名

ワークステーションで使用するフィルタを記述します。

pConnectではこのパラメータに直接フィルタプログラム名を記述しても使用できません。 **pConnect**で使用するには、シェルスクリプトを使用して記述したパイプ処理による印刷コマンドのファイル名をパラメーターに指定することで実現できる場合があります。詳しくは「 5.4.3. ローカルホストのフィルタを使って印刷する場合」をご覧ください。又は、ワークステーションメーカーにご相談ください。

2. 印刷例

```
% lpr -Pprtsvr sample
```

5.4.2.2 Solaris (バージョン2.0以降) の場合

1. pConnectのホスト名の登録を行います。

```
# lpsystem -t bsd p_svr
```

↑ pConnectのホスト名
↑ pConnectの場合はbsd を指定します。

2. プリンタ名の設定をします。

```
# lpadmin -p prtsvr -s p_svr%!LPT1
```

↑ pConnectのプリンタポート名
↑ pConnect のホスト名
↑ Solaris でのプリンタ名

¥は英語の環境では\ (バックスラッシュ) になります。

プリンタポート名はpConnectの出力ポート名 “ LPT1 ” を指定します。

3. プリンタの種類を設定します。

```
# lpadmin -p prtsvr -T unknown
```

4. ファイルコンテンツの種類を設定します。

```
# lpadmin -p prtsvr -l ファイルコンテンツ名
```

ファイルコンテンツ名には、以下の2項目から選択します。

Simple	text ファイルのみ適用
Postscript	postscript ファイルのみ適用

5. 出力できるようにします。

```
# accept prtsvr
```

```
# enable prtsvr
```

6. 印刷例

```
% lp -dprtsvr sample
```

5.4.2.3 AIX (バージョン3.2.3) の場合

1. 遠隔待ち行列の設定

1a .smit の起動

次のコマンドにより smit を起動します。

```
# smit printer
```

1b . 設定画面の選択

次の順序でメニューを選択していきます。

```
「Manager Remote Printer 」 「Client Services 」  
「Remote Printer Queues 」 「Add a Remote Queue 」
```

設定画面の表示になります。

1c . パラメータの設定

設定画面上において次の項目の設定を行います。(のカーソルキーで項目を選択し値を入力します。Enter キーは全項目設定後に押してください。)

NAME of queue to add	[prtsvr]	← a
DESTINATION HOST for remote jobs	[p_svr]	← b
Name of QUEUE on remote printer	[LPT1]	← c
NAME of device to add	[dev1]	← d

待ち行列名 (a)

lpr コマンドの -P オプションで指定するプリンタ名

リモートホスト名 (b)

リモートホスト名の指定は **pConnect** 用に hosts ファイルで指定したリモートホスト名と同じにします。

リモートプリンタ名 (c)

pConnectではリモートプリンタ名に**pConnect**のプリンタポート名 “ LPT1 ” を指定します。

またリモートプリンタ名の指定で論理プリンタ機能の使用、種類も決定します。

デバイス名 (d)

任意に設定してください。 **pConnect**に於いては意味を持ちません。

全項目設定後、<ENTER> キーを押し、画面に “ Command:ok ” と表示されれば完了です。

1d . smit の終了

ファンクションキー F10 を押して smit を終了させます。

2. 印刷例

```
% lpr -Pprtsvr sample
```

5 . 4 . 2 . 4 HP-UX (バージョン 9.0) の場合

1. **pConnect**をリモートプリンタとして登録します。

1a . lpshut コマンドを使用して lp スプーラーを停止します。

```
# /usr/lib/lpshut
```

1b . lpadmin コマンドを使用して lp スプーラーへプリンタを追加します。

```
#/usr/lib/lpadmin -ppname -vdevfile -mmodel -ormremsys -orprname
```

[パラメータの意味]

ppname : プリンタへプリント出力を送るために使用する名前です。
英数字 (A-Z, a-z, 0-9), アンダースコア (_) で 14 文字以内の名前でなければなりません。

devfile : プリンタは物理的にローカルシステムと接続されていないため、dev/null デバイスファイルを使用してください。

model : リモートモデルスクリプトは、 /usr/spool/lp/model/rmodel です。
このファイルのコピーをppname で指定した名前で /usr/spool/interface ディレクトリに置きます。

remsys : プリンタを物理的に接続しているリモートシステムの名前です。
/etc/hosts ファイルに追加した**pConnect**のホスト名を指定してください。

prname : **pConnect**ではリモートプリンタ名に**pConnect**のプリンタポート名 “ LPT1 ” を指定します。

1c . accept コマンドを使用してプリント要求入力の許可を行います。
/usr/lib/accept pname

1d . enable コマンドを使用してプリント要求処理の許可を行います。
/usr/lib/enable pname

1e . lpsched コマンドを使用してスケジューラを起動します。
/usr/lib/lpsched

2. 印刷例

```
$ lp -Dprtsvr sample
```

5 . 4 . 2 . 5 HP-UX (バージョン 10.20) の場合

1. Hosts ファイルに**pConnect**のホスト名と IP アドレスを登録します。

1a . UNIX ワークステーションを起動して、root ユーザーでログインします。
vi /etc/hosts

1b . vi 等のエディタコマンドを使用して hosts ファイルに**pConnect**のホスト名と IP アドレスを登録します。(大文字と小文字は区別されます。)

IP Address	Host name
	localhost
.	.
.	.
.	.
.	.
100.100.100.99	pc_A
<u>100.100.100.100</u>	<u>p_svr</u>

左図の _____ 部分の様に **pConnect**用の1行を追加します。

以上で「hosts ファイルに**pConnect**のホスト名と IP アドレスを登録する」は終了です。

2. プリンタを作成します。

HP-UX Ver10.20 で、ネットワークリモートプリンタ名を登録する場合には
usr/sbin/setnetlp を使用します。

/usr/sbin/setnetlp

左のコマンドを root ユーザーで実行します。

```
#####  
#   MAIN MENU                               #  
#   NetWork Printer Configuration         #  
#####  
1) Add Printer  
2) Remove Printer  
  
q) Quit  
  
Please enter a selection:
```

左図のメインメニューを表示します。

- 1) Add Printer
プリンタ名を新規登録する項目
- 2) Remove Printer
登録済みのプリンタ名を削除する項目
- q) Quitsetnetlp ツール終了の項目

MAIN MENU で “ 1) Add Printer ” を選択します。

```
Configurable Parameters:  Current Settings  
  
.....  
0) Done. Make Configuration now!  
1) Lp destination name:      [(N/A)]  
2) Remote System name:      [(N/A)]  
3) Remote Printer name:     [(N/A)]  
4) Local Model Script:      [(N/A)]  
  
q) Quit  
  
Select an item for change or select “0” :
```

左図のコンフィギュレーションメニューを表示します。

1) Lp destination name を選択します。

Currently used names:
.....
Netlp.asx
Please enter a lp destination name:

新規プリンタ名を登録する項目
「Please enter a lp destination name:」の後に登録したいプリンタ名を入力します。

2) Remote System name を選択します。

Please enter a remote system name/IP address:

プリンタを接続している **pConnect** の IP アドレスまたはホスト名を入力します。

[注意]

- ・ ホスト名 = hosts ファイルに登録した **pConnect** のホスト名「Hostsファイルに**pConnect**のホスト名とIPアドレスを登録する」を参照)

3) Remote Printer name を選択します。

Please enter a remote printer name:

リモートプリンタ名を登録する項目
プリンタを接続している **pConnect** のポート名

ポート名 = **pConnect** にプリンタを接続しているプリンタポート “LPT1” を入力します。

4)Local Model Script を選択します。

```
Valid Models:
.....
ESCP . . . . . laserjet4
:
LIPS . . . . . paintjet
:
Colorlaserjet . . . . . thinkjet

Please enter a model file:
```

印刷データをプリンタに適合させるモデルを選択します。

HP-UX がサポートしていないプリンタのモデルに関しては、別途作成する必要があります。

1) ~ 4)までの作業を終えた後 0)Done. Make Configuration を選択します。

```
WARNING: This operation requires lp spooler be shut down.
The spooler will be running again after this operation is done.
If there are jobs currently being printed, those are reprinted in
their entirety after spooler is started again.

Ok to continue? (y/n, default-n):
```

y を入力するとワークステーションに登録されます。y 以外の入力は、メインメニューに戻ります。



```
Printer, " 1)で登録したプリンタ名", has been added.
Press the return-key to return to configuration menu...
```

左のメッセージが表示されれば正常終了です。リターンキーを押すとコンフィギュレーションメニューに戻ります。

設定が終わりましたら、メインメニューに戻り「Quit」を選択し setnet lp を終了します。

以上で「2. プリンタを作成します。」は終了です。

プリンタを削除する場合メインメニューで 2)Remove Printer を選択します

```
Currently Configured Network Printer queues:
.....
Netlp.asx

Please enter a lp destination name:
```

既に登録済みのプリンタを削除する項目。プリンタリストから削除したいプリンタ名を選び、プロンプトの後に入力します。



```
WARNING: This operation requires lp spooler be shut down.
The spooler will be running again after this operation is done.
If there are jobs currently being printed, those are reprinted in
their entirety after spooler is started again.

Ok to continue? (y/n, default-n):
```

削除したいプリンタ名を入力して、リターンキーを押すと、左のメッセージを表示します。yを入力すると削除が実行されます。y 以外の入力はメインメニューに戻ります。



```
Printer , 登録したプリンタ名 , has been removed.
Press the return-key to return to main menu...
```

左のメッセージが表示されれば正常終了です。リターンキーを押すとコンフィギュレーションメニューに戻ります。

5.4.3 ローカルホストのフィルタを使って印刷する場合

UNIX で、リモートホストに接続されているプリンタに対して印刷する場合、印刷データのフィルタリングは通常リモートホストで行われます。

5.4.3.1 BSD系UNIXの場合

printcap ファイルで設定します。printcap に2つのプリンタエントリを作成します。

1つ目のプリンタはフィルタを実行するためのもので、他のプリンタはプリントサーバーにデータを送信、印刷するためのものです。設定手順は次の通りです。

1. フィルタリングしながらローカルのプリンタへ印刷する場合、プリンタエントリの出力先を NULL にし、さらにフィルタを変更します。

```
lp|for Local Printer  
:lp=:/dev/null:¥  
:sd=/usr/spool/lpd|prt:¥  
:if=/usr/var/filters/FILTER1:¥  
:
```

つまり、このプリンタは、フィルタ FILTER1 にデータを渡すだけにします。

フィルタ FILTER1 の内容

```
#!/bin/sh  
/usr/var/filters/filter1 | lpr -Pp|svr
```

このフィルタはフィルタリングを行い、次のプリンタへデータを渡します。

2. 1のデータを受け取り、プリントサーバーへデータを転送するため、次のようなプリンタエントリを追加します。

```
prtsvr|for PrintServer XXXX  
:lp=¥  
:rm=p_svr:¥  
:rp=LPT1:¥  
:sd=/usr/spool/lpdprtsvr:¥  
:
```

3. 印刷を行うには、次のように実行します。

```
lpr -Plprt sample
```

5.4.3.2 SystemV系 UNIX の場合

以下はHP-UX の場合の例です。ローカルのフィルタを使用するためにローカル用とリモート用の2つのスプーラーを作成します。

1. ローカル用スプーラーの作成

```
# cd /usr/spool/lp/model
```

```
#vi /usr/spool/lp/model/FILTER
```

FILTER ファイルを作ります

```
#! /bin/sh
```

この2行を作り保存します

```
/usr/spool/lp/model/filter |lp -dprtsvr:wq
```

```
# /usr/lib/lpshut
```

スケジューラを停止します

```
# /usr/lib/lpadmin -plprt -v/dev/null -mFILTER
```

スプーラーを作成します

```
# /usr/lib/accept lpprt
```

```
# /usr/lib/enable lpprt
```

2. リモート用スプーラーの作成

```
# /usr/lib/lpadmin -pprtsvr -v/dev/null -mrmodel -ormp_svr -orpLPT1
```

```
# /usr/lib/lpsched
```

スケジューラを起動します

prtsvr は論理プリンタ名です。FILTER ファイル内のプリンタ名と一致させます。

p_svr は**pConnect**のホスト名です。

LPT1 は**pConnect**のプリンタポート名です。プリンタを接続するポートを指定します。

【例】プリンタ *lpprt* で印刷することですまず印刷ファイル *sample* がシェルスクリプトで書かれた FILTER1 の内容によって *filter1* を使ってフィルタリングされます。印刷先はヌルデバイスですので実際には印刷されません。さらにパイプ処理で *lp* が更にプリンタ *prtsvr* で実行されますので最終的に**pConnect**へ印刷されます。

```
# lp -dlprt sample
```

[注意]

- ・ 1つ目のプリンタを指定しないとフィルタがかかりません。

5.5 OS/2での使用方法

5.5.1 OS/2環境での機能

OS/2環境からはOS/2のLPRPORTDを使用した印刷が可能です。
設定方法等の手順を以下に記します。

5.5.2 OS/2の設定

1. OS/2がTCP/IPプロトコルを使用可能な状態にします。(OS/2のマニュアルを参照し、MPTSでTCP/IPプロトコルの導入を行いません)
2. **pConnect**にIPアドレスを割り当て、OS/2と通信可能な状態にします。
(**pConnect**への設定方法については「2.2 **pConnect**本体のIPアドレス設定 (OS/2環境での設定方法)」をご覧ください)
3. OS/2のTCP/IP設定においてLPRPORTDを自動起動するように設定します。
4. 必要があればOS/2のプリンタテンプレートを使用してプリンタを作成し、プリンタドライバを導入します。(出力ポートはLPT1を選択します)
5. 設定するプリンタの上にマウスポインターを移動し、右ボタンをクリックして「設定 (OS/2 Warp V4では「プロパティ」)」を選び、設定画面を開きます。
6. 「出力ポート」タグに表示されているLPDアイコンの中から、設定するLPDアイコンをダブルクリックします。
7. LPD設定画面が表示されたら“LPD Server”へ**pConnect**のIPアドレス、“LPD Printer”には「LPT1」を記述してOKボタンをクリックします。論理プリンタ機能を使用する場合、prt1～4を設定してください。論理プリンタについては、第6章論理プリンタを参照してください。
8. 「待ち行列オプション」タグ内の「スプーリング中に印刷」のチェックを外し、「プリンタ固有の形式」をチェックします。
9. リクエストより設定したプリントキューへテスト印刷を行います。
(別途プリントキューの共有設定を行う場合、OS/2のマニュアルを参照してください。)

以上でOS/2の設定は完了です。アプリケーションから印刷すると、ネットワーク上の**pConnect**が接続されたプリンタから印刷できます。

5.5.3 トラブルシューティング

5.5.3.1 pConnectに印刷できない

(印刷障害のあった場合、最初にここをお読みください)

以下の項目を確認してください。各項目は正常に動作させるための確認事項です。

1. プリンタの電源は入っていますか？
2. LAN ケーブルは正しく接続されていますか？
3. PC の LAN アダプターやプロトコル設定など OS/2 側の設定は正しいですか？
4. プリンタドライバの「待ち行列オプション」タグ内で「“スプーリング中に印刷”のチェックを外す」「“プリンタ固有の形式”をチェックする」設定になっていますか？

この設定でないと正しく印刷できないことがあります。

5. pConnectの動作は正常ですか？

pConnectの LED で現在の動作状況を確認できます。

6. pConnectが接続されているプリンタが使用中ではありませんか？

他のPCからpConnectに印刷している時は印刷できません。他のPCからの印刷が終了するまでお待ちください。

5.5.3.2 LPRPORTD で pConnectに印刷できない

以下の項目を確認してください。各項目は正常に動作させるための確認事項です。

1. pConnectの IP アドレス等は正しく設定されていますか？
IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトルータアドレスが正しく設定されていないと印刷できません。
2. LPRPORTD にエラーは発生していませんか？
(LPRPORTD や OS/2 の再起動を行ってもこのようなエラーが発生している時、OS/2 の PTF を適用する必要があります。「その他の OS/2 印刷関連問題」をご覧ください)

5.5.3.3 印刷ジョブの削除 / 取り消しを行なった時に印刷ジョブが詰まる

印刷中ジョブの削除 / 取り消しを行なった場合、印刷ジョブがプリントキュー内に詰まる場合があります。この場合、以下の手順で削除作業を行なってください。

1. プリンタの電源を入れ直す。(ジョブが消えない場合 2. へ)
2. LPRPORTD または LAN リクエスターを再起動する。(ジョブが消えない場合 3. へ)
3. OS/2 の再起動を行なう。

5.5.3.4 OS/2 Warp V4 の Lprportd で印刷が出ない

(CSD 等全く適用されていない状態の) OS/2WarpV4 の Lprportd でご使用になる場合、MPTSおよびLPRPORTD に以下のレベルのものが適用されていないと正常に印刷できません。

(以下は 2000/11/09 現在の情報です)

Lprportd :IC18841

ftp://ftp.software.ibm.com/ps/products/tcpip/fixes/v4.0os2/latest/apps/lprfiles.exe

MPTS :WRJ8423

ftp://ftp.software.ibm.com/ps/products/mpts/fixes/japanese/wrj8423_conv/

TCP/IP V3.0/V3.1 用最新モジュール(2000/11/09 現在)

TCP/IP ver3.0 用

ftp://ftp.software.ibm.com/ps/products/tcpip/fixes/v3.0os2/latest/print/内のファイル

TCP/IP ver3.1 用

ftp://ftp.software.ibm.com/ps/products/tcpip/fixes/v3.1os2/latest/print/内のファイル

5.5.3.5 LPRPORTD からの印刷で SYS3175 SYS3175 エラーが発生する

OS/2 の LPRPORTD (Ver2.0) の問題で「SYS3175 エラー」により印刷できないことがあります。

この場合 IBM より PTF (IC12662, IC14352) を入手して適用してください。(ただし、この PTF を適用すると LPRPORTD での印刷が遅くなることがあります)

この PTF 適用後の作業として、以下 2 点を行ってください。

1. プリントキューの出力ポート内 “LPD Server” を、IP アドレスではなく HOST 名で設定する。(OS/2 内の HOSTS ファイルに XXXX の IP アドレスを設定する必要があります)
2. LPRPORTD.EXE の実行時、「-N」パラメータを追加する。

5.5.3.6 その他の OS/2 印刷関連問題

- ・ プリントジョブがプリントキュー内に詰まってしまう場合がある
 - OS/2 J2.11 PJ22668
 - OS/2 J2.11 for SMP PJ22667
- ・ プリントジョブを削除すると、その後の印刷ができなくなる
 - OS/2 Warp V3 CSD No.WX00903 , PJ21729
 - OS/2 Warp Connect CSD No.WX00903 , PJ21729
- ・ 2つのプリントキューの印刷データが混ざって印刷される
 - OS/2 Warp V3 CSD No.MJC0003 , PJ16847
- ・ TCP/IP 印刷で“SYS3175”エラーが発生する
 - OS/2 Warp Server V4 IC12662 , IC14352

以下に、98/6/18 現在の日本 IBM から提供されている OS/2 の印刷関係の CSD 情報を記述します。CSD の適用については、現在使用している OS/2 のバージョンによって異なりますので十分に注意して適用してください。

また、PTF/CSD 等に関しては日本アイ・ビー・エム（株）にご確認ください。

- WX00002 PJ19696 : PC720 上で印刷オペレーションを行うと、Trap-6 やシステム・ハングを生じることがある。
- WX00002 PJ20295 : セパレーター・ファイルを使用するとトラップする。
- WX00002 PJ20296 : 5584 で A3 横のイメージが正しく印刷されない。
- WX00903 PJ17192
PJ17190
PJ18217 : WIN-OS/2 で A ドライブから印刷すると複数のジョブがスプールされる。
- WX00903 PJ19995, PJ20118 : I BMNULL プリンタ・ドライバ (prde_GetValFromText +da) でトラップする。
- WX00903 PJ20212 : 平成明朝フォントの印刷が正しくない。
- WX00903 PJ20295 : セパレーター・ファイルを使用すると IBMPG55P プリンタ・ドライバでトラップする。
- WX00903 PJ21729 : 複数のスプーラーからプリントしているとスプーラーがハングすることがある。
- WX03005 PJ23549: 「ジョブの属性」ボタンを押すとシステムがハングする。
- WX03005 PJ23804: プリントのパフォーマンスが非常に悪い。
- WX03005 PJ24149: ゴミ・データがプリントされる。
- WX03005 PJ24315: スプーラーの印刷優先順位を構成できない。
- XR_W008 PJ16452: 印刷時、又はフォントを使用 / 変更すると PMMERGE.DLL の 1BD6C675 で SYS3175 が出る。
- XR_W008 PJ17344: ジョブが印刷を行っている時にポートに直接印刷すると、メッセージ SYS1799 が出る。

- XR_W008 PJ17557 : WARPのPMアプリケーションでシステム・セマフォがポストされない(クリアされている)ことがある。またそれによりPMアプリケーションで名前付きパイプがハングする。
- XR_W008 PJ18771 : プリンタ・オブジェクトを削除するとトラップEが発生する。
- XR_W010 PJ19447 : セパレーター・ページに正しい時刻が印刷されない。
- XR_W010 印刷時にPMMERGE.DLL (FM_CREATEPSEUDOFONT)の0004:0006C855で1BD6C855のSYS3175が出る。
- XR_W010 PJ24262 : 名前付きパイプ・バッファの一部が失われる。
- XR_W011 PJ17192HPV11 -ドライブA:から印刷すると、複数の印刷ジョブが生成されてしまう。
- XR_W011 PJ20042HPV11 -ジョブが印刷を行っている時にポートに直接印刷するとメッセージSYS1799が出る。
- XR_W011 PJ20044FPV11 -ジョブが印刷を行っている時にポートに直接印刷するとメッセージSYS1799が出る。
- XR_W012 PJ20497 : 印刷のための座標がプレゼンテーション・スペースに収まらない場合、DISPLAY.DLLでトラップする。
- XR_W015 PJ20247 : IBMNULL.DRVが原因で印刷ジョブの最後の行が繰り返し印刷される。
- XR_W016 PJ18449 : LPT1Xのように1で開始されたプリンタ・ポートを削除できない。
- XR_W021 PJ22470 : 別名フォルダーでプリンタを削除し再作成した後、メッセージSYS2070が出る。
- XR_W030 PJ24315 : 出力ジョブ用の優先順位設定が機能しない。このジョブは省略時値50をもっている。
- XR_W030 PJ24477 : プリント・サーバーがプリントを停止する。
- XR_W030 PJ24262 : 名前付きパイプ・バッファの一部が失われる。

第6章

論理プリンタ

6.1 論理プリンタ概要

論理プリンタとは、ネットワークと物理的なプリンタとの間に設定された仮想的なプリンタです。この機能を使うことで、たとえ物理的にはプリンタが1台しかなくても、4つまでの論理プリンタに各々別々の属性を与えて、時に応じて使い分けることができます。

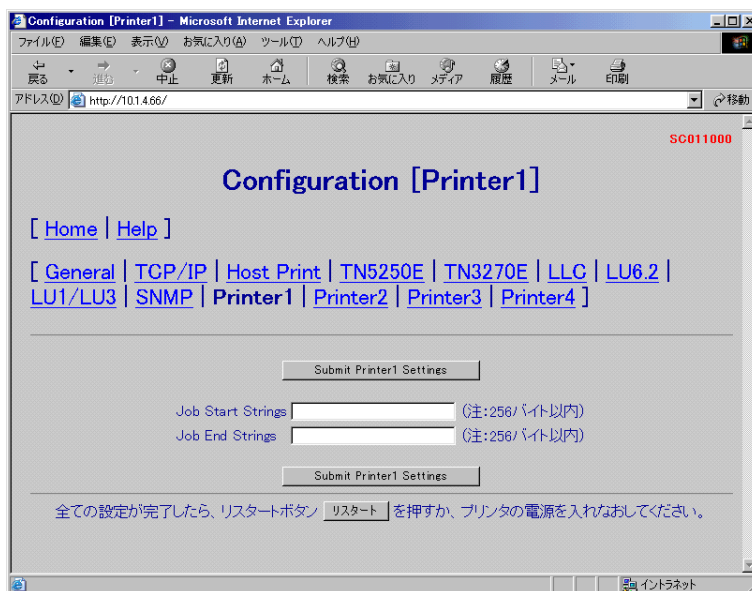
以下の属性が、各論理プリンタで独立に定義可能です。

- ・印刷ジョブ前後の文字列送信の指定(6.2を参照)

6.2 印刷ジョブ前後の文字列送信機能の使用方法

ここでは、各印刷ジョブ前後にプリンタ制御コマンド等の文字列を送信する方法について解説します。この指定は、各論理プリンタで独立に行うことができます。全ての文字列は、16進数値で記述します。

1台のプリンタで複数種類の用紙へ印刷したり、縮小(拡大)印刷、両面印刷を行う場合、各論理プリンタに対応するコマンドを設定しておけば、出力時に論理プリンタを切り換えるだけでそれらの印刷が可能になります。論理プリンタはPrinter1 ~ Printer4があり、下記図のようにのJob Start Strings、Job End Stringsのパラメータがあります。



以降で、用紙(トレイ)選択、印字方向選択、縮小(拡大)印刷、両面印刷の設定例を説明します。プリンタの種類によってコマンドが異なりますので、必ずお使いのプリンタの種類と同じものをご参照ください。

6 . 2 . 1 レーザープリンタの場合

(1)A4, 横

Job Start Strings : 1B 7E 46 00 05 00 00 13 00 00 1B 7E 50 00 01 03

(2)A4, 縦

Job Start Strings : 1B 7E 46 00 05 00 00 13 00 00 1B 7E 50 00 01 00

(3)B4, 横

Job Start Strings : 1B 7E 46 00 05 00 00 12 00 00 1B 7E 50 00 01 03

(4)B4, 縦

Job Start Strings : 1B 7E 46 00 05 00 00 12 00 00 1B 7E 50 00 01 00

(5)連帳 A4, 横

Job Start Strings : 1B 7E 46 00 05 00 00 13 00 00 1B 7E 51 00 01 03 1B 7E 50 00 01 03

(6)連帳 B4, 横

Job Start Strings : 1B 7E 46 00 05 00 00 12 00 00 1B 7E 51 00 01 02 1B 7E 50 00 01 03

(7)B4 A4, 横

Job Start Strings : 1B 7E 46 00 05 00 00 13 00 00 1B 7E 51 00 01 05 1B 7E 50 00 01 03

(8)両面印刷

末尾に下記のコマンドを追加することで両面印刷が可能になります。

Job Start Strings : 1B 7E 3B 00 04 00 00 01 01(長編綴じ)

Job Start Strings : 1B 7E 3B 00 04 00 00 02 01(短編綴じ)

例) 連帳 A4, 横, 両面の場合

Job Start Strings : 1B 7E 46 00 05 00 00 13 00 00 1B 7E 51 00 01 03 1B 7E 50 00 01 03 1B 7E 3B 00 04 00 00 01 01

6 . 2 . 2 マルチトラクタのシリアルプリンタ (非レーザープリンタ) の場合

(1) 下トラクタ選択

Job Start Strings : 1B 7E 10 00 02 01 01

(2) 上トラクタ選択

Job Start Strings : 1B 7E 10 00 02 01 02

(3) 単票用紙選択

Job Start Strings : 1B 7E 10 00 01 02

6 . 2 . 3 シングルトラクタのシリアルプリンタ (非レーザープリンタ) の場合

(1) 連続紙モード

Job Start Strings : 1B 7E 10 00 01 01

(2) 単票用紙選択

Job Start Strings : 1B 7E 10 00 01 02

第7章

設定と管理

7.1 ユーザー名とパスワード

pConnectにWeb ブラウザ、telnet、ftpでアクセスする場合、ユーザー名:root、パスワード:passで行います。ただし、Web ブラウザでのアクセスで、パスワードがpassのままの場合、ユーザ認証は行われません。

パスワードを変更する場合、telnet で**pConnect**へアクセスしてください。

7.2 Web ブラウザによる設定・管理

7.2.1 **pConnect**の Web 機能概要

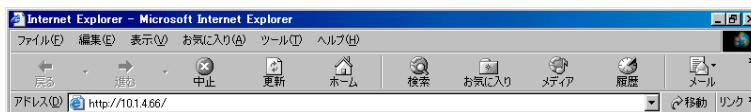
pConnectはHTTP プロトコルに対応しています。したがって Netscape やインターネット エクスプローラなどの標準的な Web ブラウザで簡単に**pConnect**にアクセスすることが可能です。**pConnect**のパラメータの変更、プリンタのステータス獲得、過去10個のプリントジョブ情報獲得など**pConnect**における豊富な作業をこの Web ブラウザ上で行うことができます。

7.2.2 **pConnect**に IP アドレスセット

pConnectの IP アドレスをセットする必要があります。もう既に**pConnect**に IP アドレスをセットした場合はここでの準備は必要ありませんが、まだセットしていない場合、第2章を参照し IP アドレスをセットしてください。

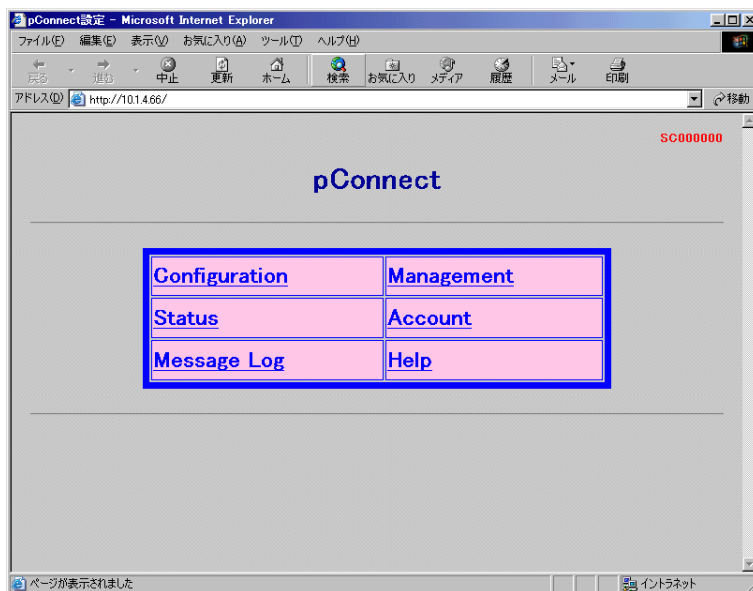
7.2.3 **pConnect**に Web ブラウザでアクセスする方法

各種 Web ブラウザ製品で URL を入力する部分がありますのでそこに http://IP アドレスを入力するだけで終了です。以下はインターネットエクスプローラで 192.1.4.66 の IP アドレスをもつ**pConnect**にアクセスする場合です。



アクセスすると**pConnect**のホームページが表示されます。

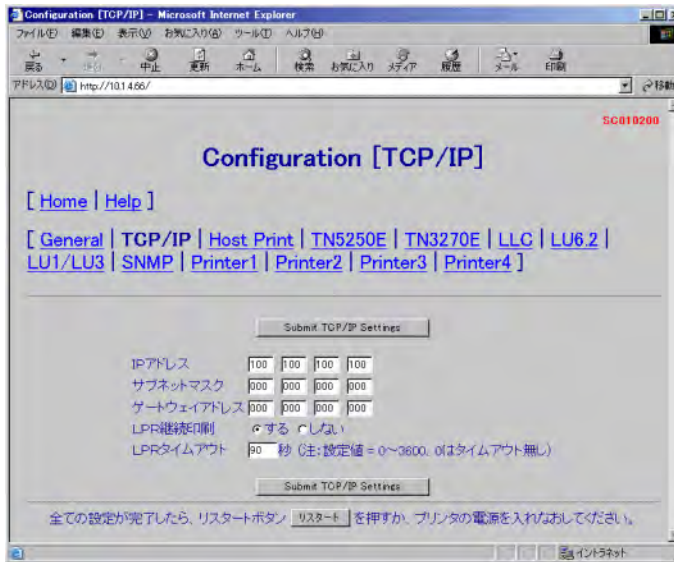
7.2.4 pConnectホームページ



pConnectにアクセスした場合最初に表示されるホームページです。ここから各ボタンを押すことにより各機能に飛ぶことができます。機能については以下の通りです。

- Configuration : **pConnect**のパラメータを変更できます
(ユーザー ID : root パスワード : pass で入ります)
- Management : **pConnect**のリセットやパラメータの初期値が変更できます
- Status : プリンタのステータスが取得できます
- Account : 過去10個のプリントジョブの印刷履歴が取得できます。
- Printer : プリンタの接続状況が表示されます。
- Help : ヘルプ
- Message Log : **pConnect**の発行したエラーやメッセージが表示されます。

7.2.5 pConnect Configuration ページ



pConnectのパラメータ変更が可能です。項目毎にページが違いますので変更したい項目を、「General」「TCP/IP」「Host Print」... ボタンで選択してください。変更後に「Submit ???? setting」ボタンを押します。

全ての設定が完了したら（他の画面での設定も含まれます）プリンタの電源を入れなおすか「リスタート」ボタンを押してください。設定が有効になります。

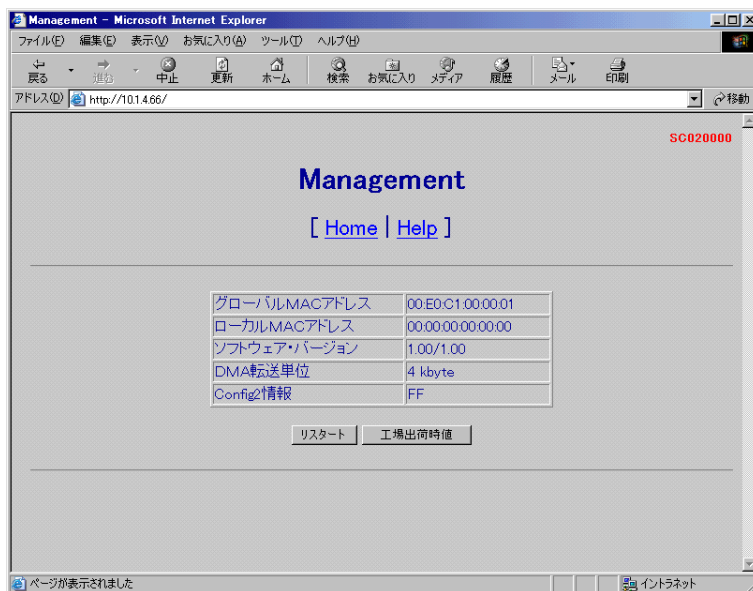


- ・「リスタート」ボタンを押す場合や、プリンタの電源を入れなおす場合は、必ず印刷が完了している事を確認してください。
印刷中に本製品を再起動させると、再起動後正常に動作しない場合があります。
- ・「リスタート」ボタンを押し、本製品が再起動するまでに1分数十秒かかる場合があります。
これは、LLC(SNA)接続の切断処理をする場合です。ご了承ください。

（このページに初めてアクセスする場合、ユーザーID:root パスワード:passが必要です）

各パラメータについての説明は、第10章パラメータリストを参照してください。

7.2.6 pConnect Management ページ



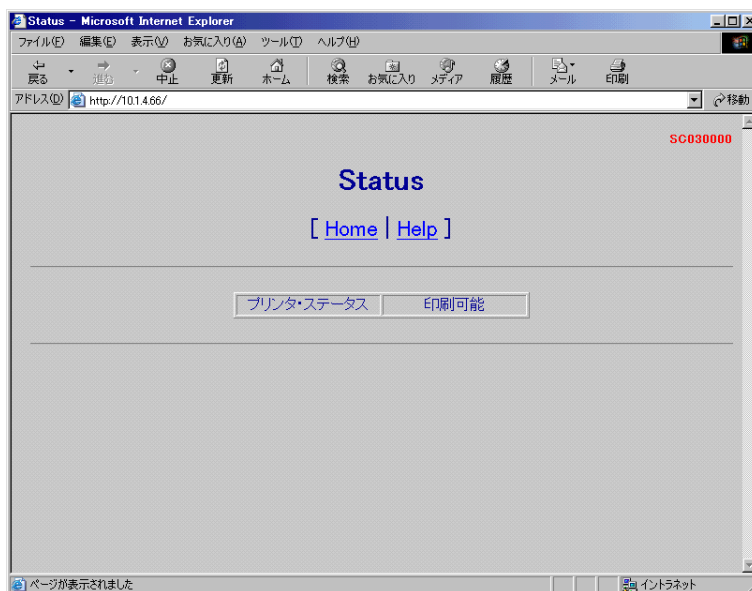
主に**pConnect**のを出荷値に戻すのに使用します。

- リスタート : **pConnect**の電源切断と同等の効果をソフトウェア面に及ぼします。
工場出荷時値 : 全てのパラメータ(IPアドレス、Gaiji_3270(3270外字)、Gaiji_5250(5250外字)を除く)を工場出荷値へ戻します。



- ・「リスタート」ボタンを押す場合や、プリンタの電源を入れなおす場合は、必ず印刷が完了している事を確認してください。
印刷中に本製品を再起動させると、再起動後正常に動作しない場合があります。
- ・「リスタート」ボタンを押し、本製品が再起動するまでに1分数十秒かかる場合があります。
これは、LLQ(SNA)接続の切断処理をする場合です。ご了承ください。

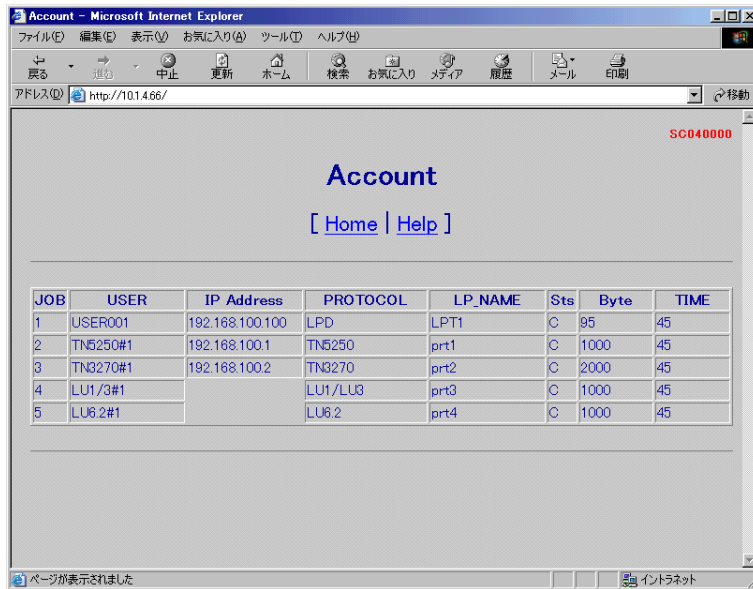
7.2.7 pConnect Status ページ



現在のプリンタの状態を表示します。プリンタ・ステータスには以下の3つの状態があります。

- ・ 印刷可能
- ・ 印刷中
- ・ 印刷不可

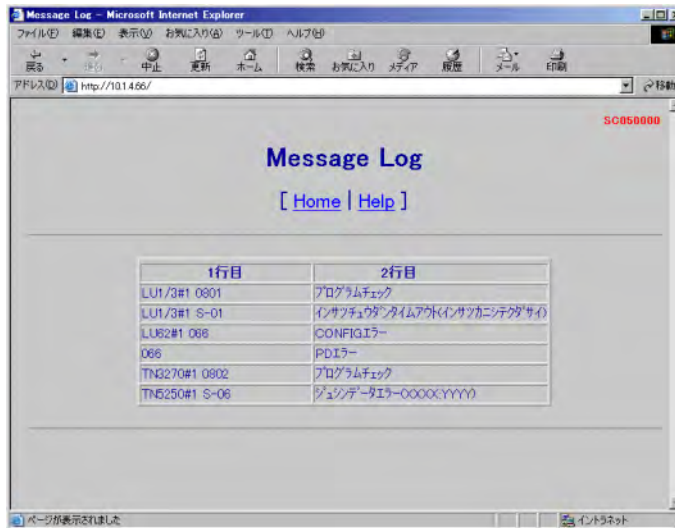
7.2.8 pConnect Account ページ



pConnectを通して印刷された印刷ジョブ過去 10 個の履歴です。

Job	pConnect内部で持つInternal Job IDを表示します。
USER	印刷ユーザー名を表示します。
IP Address	印刷ユーザーのIPアドレスを表示します。
PROTOCOL	印刷プロトコルを表示します。
Sts	印刷状況を表示します。印刷状況には以下の2つの状況があります。 <ul style="list-style-type: none"> ・C (Complete) ・R (Printing)
Byte	プリンタへの送信バイト数を表示します。
TIME	データ送信開始から、Currentまたはデータ送信完了までの秒数を表示します。

7.2.9 pConnect Message Log ページ



pConnectの発行したエラーやメッセージが表示されます。

7.3 telnet による設定・管理

WindowsのMS-DOS プロンプトを立ち上げ、telnet IPアドレスと入力しEnter キーを押します。

ユーザー名:root、パスワードを入力し、Enter キーを押します。(パスワードの工場出荷値はpassです。)パスワードを忘れてしまった場合は、**pConnect**の初期化を行います。

telnet の接続に成功すると下記の画面が表示されます。

```
=== XXXX Configuration ===

S.  Printer Status
R.  Restart
1.  General   Configured Parameters
2.  TCP/IP   Configured Parameters
3.  LU1/LU3  Configured Parameters
4.  LU6.2    Configured Parameters
5.  TN3270E  Configured Parameters
6.  TN5250E  Configured Parameters
7.  SNMP     Configured Parameters
8.  Printer  Driver Font Configured Parameters
9.  Printer1 Driver Font Configured Parameters
10. Printer2 Driver Font Configured Parameters
11. Printer3 Driver Font Configured Parameters
12. Printer4 Driver Font Configured Parameters
13. User ID/Password
14. Configuration Reset
15. end

Select:
```

7.4 ftpによる設定・管理

pConnectへ IP アドレスを割り振り ftp でアクセスすることによって、ファームウェアの更新やユーザーフォントの登録等、以下の機能が利用可能になります。

	機能	内容	ファイル名	使用コマンド
1	ファイル印刷	Any	Any	(binary mode/ text mode) put file-name lpt1
2	ファームウェア更新	pConnect ファームウェア	TNVxxx.BIN	put, send (binary mode)
3	ユーザーフォント登録	3270字	Gaiji_3270	put, send (binary mode)
		5250字	Gaiji_5250	put, send (binary mode)
4	外字削除	3270字	Gaiji_3270	Delete
		5250字	Gaiji_5250	Delete
5	アカウントファイル取得	印刷情報のログ	Account	get, receive (text mode)
6	メッセージログファイル取得	エラーメッセージ等のログ	Msglog	get, receive (text mode)
7	PDトレース	LU6.2、LU1/LU3接続時の通信状態のログ	Pddump	get, receive (binary mode)
8	IPSトレース	LU6.2、LU1/LU3接続時の通信状態のトレース (注1)	Ipdump	get, receive (binary mode)
9	ホスト印刷データトレース	ホストから受信した印刷データ(注2)	Dump	get, receive (binary mode)
10	pConnect の設定値	Webブラウザ等で設定した値を保持したデータ	Config1	get, receive(binary mode) put, send(binary mode)

注1) パラメータIPSトレースがONに設定されていない場合、収集されていません。

注2) パラメータプリンタドライバがASCII Passthruに設定されている場合のみ、収集されます。

7.4.1 設定値(config1)の保存と復元

pConnectは設定値を config1 というファイルで本体に保持しています。

pConnect設定後 Config1 ファイルを保存しておくこと、トラブル等再インストールが必要になった場合、元の環境に迅速に復旧できます。

7.4.1.1 保存方法

config1 ファイルを**pConnect**より取得し PC に保存します。

以下の手順で、保存してください。

PC より MS-DOS プロンプト (コマンドプロンプト) を起動します。

専用のディレクトリを作成します。下記例はディレクトリ pcn を作成し p2n ディレクトリに移動しています。

- 1) md pcn <= ディレクトリ作成
- 2) cd pcn <= ディレクトリ変更



```
コマンドプロンプト
Microsoft Windows 2000 [Version 5.00.2195]
(C) Copyright 1985-2000 Microsoft Corp.

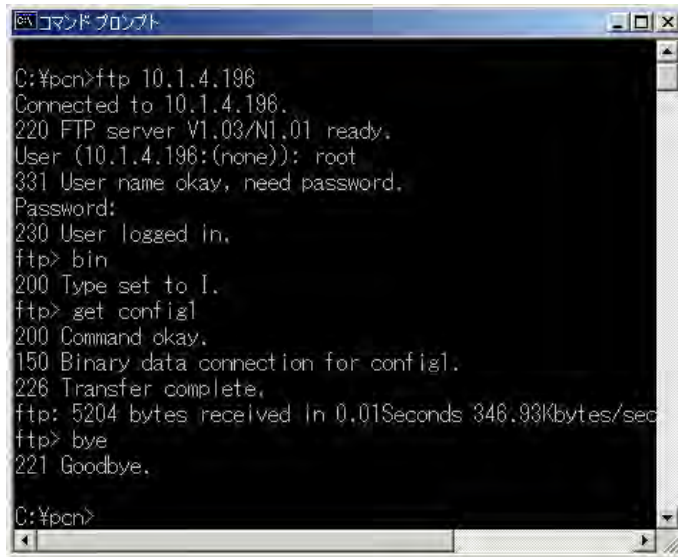
C:¥>md pcn

C:¥>cd pcn

C:¥pcn>
```

ftp で **pConnect** にログインします。

- 1) ftp xx.xx.xx.xx <= ftp モードに入ります。(xx は IP アドレス)
- 2) User :root <= ユーザー ID、初期値は root です。
- 3) Password:**** <= パスワード、初期値は pass です。
- 4) Bin <= binary mode 通信に変更します。
- 5) get config1 <= config1 ファイルを **pConnect** から取得します。
- 6) Bye <= ftp モードからログアウトします。

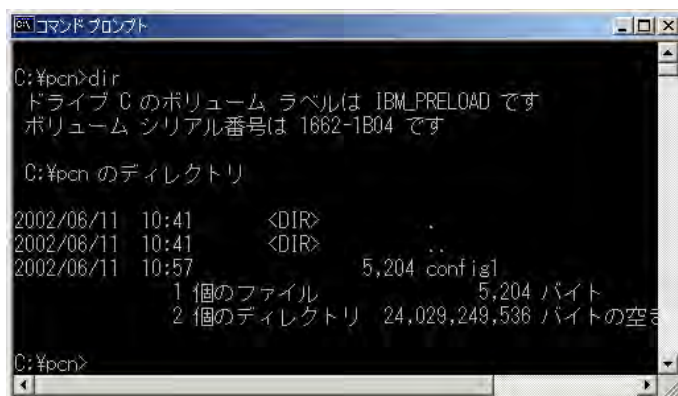


```
C:\%pcn>ftp 10.1.4.196
Connected to 10.1.4.196.
220 FTP server V1.03/N1.01 ready.
User (10.1.4.196:(none)): root
331 User name okay, need password.
Password:
230 User logged in.
ftp> bin
200 Type set to I.
ftp> get config1
200 Command okay.
150 Binary data connection for config1.
226 Transfer complete.
ftp: 5204 bytes received in 0.01Seconds 346.93Kbytes/sec
ftp> bye
221 Goodbye.

C:\%pcn>
```

ファイルが正常に取得できたか確認します

- 1) dir <= ファイルリストが表示されるので config1 があることを確認してください。



```
C:\%pcn>dir
ドライブ C のボリューム ラベルは IBM_PRELOAD です
ボリューム シリアル番号は 1662-1B04 です

C:\%pcn のディレクトリ

2002/06/11  10:41    <DIR>          .
2002/06/11  10:41    <DIR>          ..
2002/06/11  10:57                5,204 config1
               1 個のファイル          5,204 バイト
               2 個のディレクトリ 24,029,249,536 バイトの空き

C:\%pcn>
```

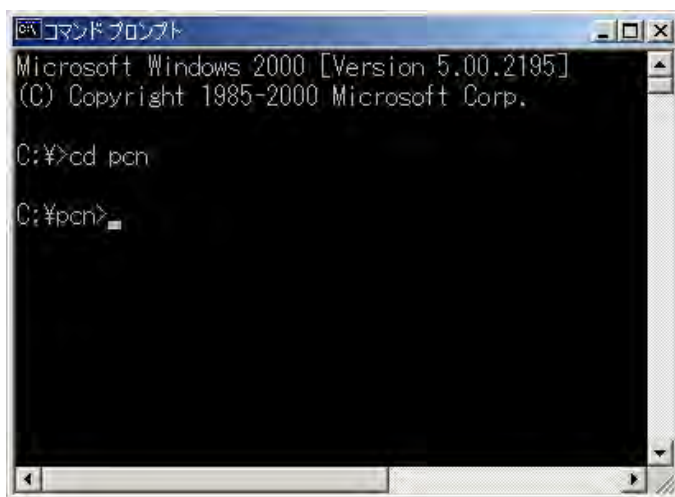
7.4.1.2 復元方法

PC 上に保存してある config1 ファイルを **pConnect** に復元します。
以下の手順で、復元してください。

PC より MS-DOS プロンプト (コマンドプロンプト) を起動します。

config1 ファイルが保存されているディレクトリに移動します。

1) cd pcn <= ディレクトリ移動



```
コマンドプロンプト
Microsoft Windows 2000 [Version 5.00.2195]
(C) Copyright 1985-2000 Microsoft Corp.

C:¥>cd pcn

C:¥pcn>
```

config1 があることを確認します

1) dir <= ファイルリストが表示されるので config1 があることを確認してください。



```
コマンドプロンプト

C:¥pcn>dir
ドライブ C のボリューム ラベルは IBM_PRELOAD です
ボリューム シリアル番号は 1662-1B04 です

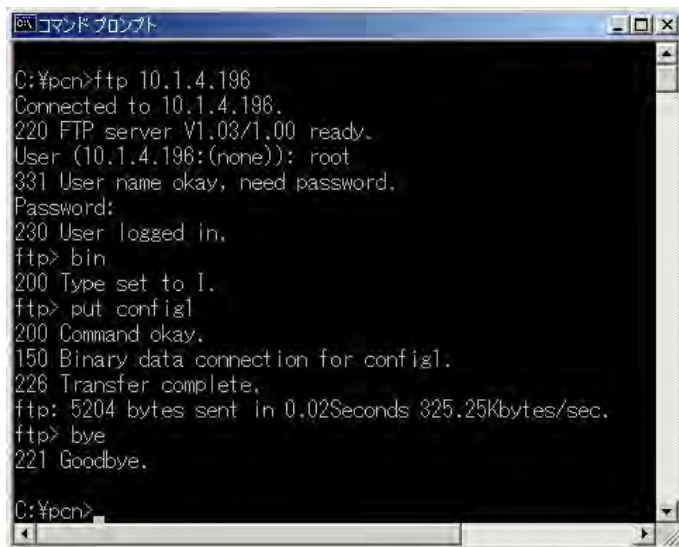
C:¥pcn のディレクトリ

2002/06/11 10:41 <DIR>      .
2002/06/11 10:41 <DIR>      ..
2002/06/11 10:57             5,204 config1
               1 個のファイル             5,204 バイト
               2 個のディレクトリ 24,029,249,536 バイトの空き

C:¥pcn>
```

ftp で**pConnect**にログインします。

- 1) ftp xx.xx.xx.xx <= ftp モードに入ります。(xx は IP アドレス)
- 2) User :root <= ユーザー ID、初期値は root です。
- 3) Password:**** <= パスワード、初期値は pass です。
- 4) Bin <= binary mode 通信に変更します。
- 5) put config1 <= config1 ファイルを**pConnect**に送ります。
- 6) Bye <= ftp モードからログアウトします。



```
コマンド プロンプト
C:\pcon>ftp 10.1.4.196
Connected to 10.1.4.196.
220 FTP server V1.03/1.00 ready.
User (10.1.4.196:(none)): root
331 User name okay, need password.
Password:
230 User logged in.
ftp> bin
200 Type set to I.
ftp> put config1
200 Command okay.
150 Binary data connection for config1.
226 Transfer complete.
ftp: 5204 bytes sent in 0.02Seconds 325.25Kbytes/sec.
ftp> bye
221 Goodbye.

C:\pcon>
```

pConnect本体の電源を切り、再度入れなおしてください。

印刷可能状態になったら、**pConnect**のテストプリントボタンを押し内容を確認してください。

7.5 SNMPによる管理

pConnectはSNMPを搭載しています。使用するためにはtelnetを使用してパラメータ設定を行う必要があります。

構成パラメータについて、以下に説明します。

(1) Trap Address:

SNMPトラップを送信するIPアドレスを設定します。

(2) Community Name:

pConnectのコミュニティ名を設定します。最大長128文字です。
デフォルトは“public”です。

(3) System Name:

pConnectのノードの名前を設定します。最大長128文字です。

(4) System Location:

pConnectの置かれた物理的位置を設定します。最大長128文字です。

(5) System Contact:

pConnectの管理者の名前と連絡方法を設定します。最大長128文字です。

第 8 章

ソフトウェアの更新

8. 1 更新されたソフトウェアの入手

以下のソフトウェアは、無料でアップグレードすることができます。

アップグレード情報は、弊社のWebサイト (<http://www.as.memorex.co.jp>) をご覧ください。

- MEMOREX IPSetup
- MEMOREX TCP Port Monitor for Windows 9x/Me
- **pConnect**のファームウェア

8. 2 ファームウェアのアップグレード

pConnectのファームウェア(内部ソフトウェア)のアップグレードは、ftpを使用してネットワーク経由で行います。まず**pConnect**の新しいファームウェアを入手してください。また、ftpを使用してファームウェアのアップグレードを行う前に、**pConnect**にIPアドレスを割り当てておく必要があります。詳しくは、2.2 IPアドレスの設定を参照してください。

以下の手順にしたがって、ファームウェアのアップグレードを行ってください。



- ファームウェアのアップグレードは注意して行ってください。

PC、プリンタ、**pConnect**の電源が途中で切断されたりネットワークケーブルが切断されるとファームウェアを壊してしまう場合があります。

- 必ず印刷を行わない状態でアップグレードを行ってください。

なお、アップグレードには時間がかかります(2分以上)。FTPからメッセージが戻ってこないからといってBreakでFTPを抜けないでください。いずれの場合も、ftp接続が途中で切断され、故障の原因となります。

- ① ダウンロードしたファイルは自己解凍形式で圧縮されています。ファイルを実行することで解凍されます。
ここでは解凍後のファームウェアファイルをTNV100.BINとします。
- ② WindowsマシンでDOSプロンプトを開き、解凍したファイル(ここではTNV100.BIN)が存在するディレクトリにします。
- ③ **pConnect**のIPアドレスを192.1.50.51とした場合、以下の様にftpでユーザーID:root、パスワード:passでログインします。

```
C:¥>ftp 192.1.50.51
User (192.1.50.51) : root
Password:pass
ftp>
```

ftp でログインしたら bin コマンドでタイプを変更します。

```
ftp>bin
200 TYPE set to I
ftp>
```

put コマンドでファームウェアファイルを PUT します。

```
ftp>put TNV100.BIN
時間がかかります。
```

成功のメッセージが表示されれば書き換え終了です。

```
ftp> quit
```

3分程度待ってから **pConnect** の電源を OFF/ON してください。
また、電源アダプタのコネクタを引き抜いて、10秒程度時間を置いて差し込むようにしてください。遵守しない場合、どちらも故障の原因となります。

第 9 章

テストプリントボタン

9 . 1 テストプリントボタンによるパラメータリスト出力

pConnectは、簡単な動作確認と設定内容確認のためパラメータリストをプリンタに出力する機能があります。「1.2.2 プリンタにセットする」を参照し、**pConnect**をプリンタ出力可能とします。パラメータリストを印刷するために、テストプリントボタンを約5秒間押し続けてください。接続されているプリンタへパラメータリストが印刷されます。

9 . 2 テストプリントボタンによるパスワードリセット

テストプリントボタンを押しながら、**pConnect**の電源を入れ、そのまま15秒以上テストプリントボタンを押し続けると、ユーザー root のパスワードが初期値 pass に戻ります。設定したパスワードを忘れた場合にご利用ください。

第10章

パラメータリスト

10.1 パラメータリスト一覧

pConnectのパラメータは、ftp、http、telnet、パラメータリスト印刷で、取得可能です。各パラメータの詳細説明は、「10.2 パラメータ詳細説明」を参照してください。

項番	内容	選択項目(*印は出荷値)
1	General	-
	グローバルMACアドレス	N/A
	ローカルMACアドレス	*00:00:00:00:00:00
	イーサネットモード(データ転送形式)	*Auto_Sense 10_HALF_DX 10_FULL_DX 100_HALF_DX 100_FULL_DX
	インターフェイスモード	*Type1 Type2
2	TCP/IP	-
	IPアドレス	*100.100.100.100
	サブネットマスク	*0.0.0.0
	ゲートウェイアドレス	*0.0.0.0
	LPRタイムアウト	90秒(0-3600)
3	Host Print	-
	プリンタドライバ	*5577(PAGES) ASCII_PASSTHRU
	ユーザーフォント	*プリンタサーバー上のユーザーフォントを使用する プリンタ上のユーザーフォントを使用する
	DBCS変換テーブル	*Default Table User Define Table
	5250データストリーム変換テーブル	*Default Table User Define Table
	3270データストリーム変換テーブル	*Default Table User Define Table
	IPSトレース	*OFF ON
4	TN5250E	-
	TN5250Eプロトコル有効	*無効 有効
	リンクパラメータ	-
	Host IP アドレス	000.000.000.000
	ポート番号	23 (1-65535)
	自動接続	OFF *ON
	セッションパラメータ	
	ホストコードページ	*930 930拡張 931 939

4	印刷装置デバイス名	
	メッセージ待ち行列	* QSYSOPR
	メッセージライブラリ	* LIBL
	SI/SOモード	* ON OFF
	ASCII Transparency Format	* Continuous Subcommand
	出力先ポート	* LPT1 Prt1 Prt2 Prt3 Prt4
5	TN3270E	
	TN3270Eプロトコル有効	* 無効 有効
	リンクパラメータ	-
	Host IP アドレス	* 000.000.000.000
	ポート番号	* 23(1-65535)
	自動接続	OFF
	セッションパラメータ	* ON
	ホストコードページ	* 930 930拡張 931 939
	LU名	
	文字ピッチ	* 10cpi 12cpi 13.4cpi 15cpi
	最大文字数	* 132(1-240)
	行ピッチ	2LPI 3LPI 4LPI * 6LPI 7.5LPI 8LPI
	最大行数	* 66(1-127)
	大文字小文字	* 混在 大文字のみ
	LU1オプション	* OFF OPTION1 OPTION2

5	LU3オプション	-
	空白行の削除	* OFF ON
	NULL制御コードを空白文字	OFF * ON
	CR最大印刷位置+1制御	* OFF ON
	NL最大印字位置+1制御	* OFF ON
	FFオプション	* OFF ON
	ジョブエンドタイマ	* 0秒(0-3600、0はタイムアウトなし)
	ジョブリンクタイマ	* 0秒(0-3600、0はタイムアウトなし)
	プリンタチェックタイマ	* 99秒(0-99、0はタイムアウトなし)
	プリンタ保留タイマ	* 99秒(0-99、0はタイムアウトなし)
	設定の優先	* コマンド優先 設定優先
	出力先ポート	* LPT1 prt1 prt2 prt3 prt4
	6	LLC
ローカルネットID		
ローカルCP名		
ローカルSAP		* 04(注:設定値 = 04 ~ FCまでの4の倍数)
ローカルブロックID		* 000(注:3桁の16進数)
ローカル装置ID		* 00000(注:5桁の16進数)
ウィンドサイズ		* 8(注:設定値 = 1 ~ 8)
PIUサイズ	* 1493(注:設定値 = 100 ~ 1493)	
7	LU6.2	
	LU6.2プロトコル有効	* 無効 有効
	リンクパラメータ	
	リモートネットID	
	リモートCP名	
	リモートSAP	* 04(04-FC)
	リモートMACアドレス	* 00:00:00:00:00:00
	セッションパラメータ	
	ホストコードページ	* 930 930拡張 931 939
	印刷装置デバイス名	
	メッセージ待ち行列	* QSYSOPR
	メッセージライブラリ	* LIBL
SI/SOモード	* ON OFF	
ASCII Transparency Format	* Continuous Subcommand	

7	出力先ポート	* LPT1 prt1 prt2 prt3 prt4
8	LU1/LU3	
	LU1/3プロトコル有効	* 無効 有効
	リンクパラメータ	
	リモートネットID	
	リモートCP名	
	リモートSAP	* 04(04-FC)
	リモートMACアドレス	* 00:00:00:00:00:00
	自動接続	* OFF ON
	セッションパラメータ	
	ホストコードページ	* 930 930拡張 931 939
	LU番号	* 2(2-254)
	文字ピッチ	* 10cpi 12cpi 13.4cpi 15cpi
	最大文字数	* 132(1-240)
	行ピッチ	2LPI 3LPI 4LPI * 6LPI 7.5LPI 8LPI
	最大行数	* 66(1-127)
	大文字小文字	* 混在 大文字のみ
	LU1オプション	* OFF OPTION1 OPTION2
	LU3オプション	
	空白行の削除	* OFF ON
	NULL制御コードを空白文字	OFF * ON
CR最大印刷位置+1制御	* OFF ON	
NL最大印字位置+1制御	* OFF ON	
FFオプション	* OFF ON	

8	ジョブエンドタイム	* 0秒(0-3600、0はタイムアウトなし)
	ジョブリンクタイム	* 0秒(0-3600、0はタイムアウトなし)
	プリンタチェックタイム	* 99秒(0-99、0はタイムアウトなし)
	プリンタ保留タイム	* 99秒(0-99、0はタイムアウトなし)
	設定の優先	* コマンド優先 設定優先
	P A 1 / P A 2 の制御	* OFF PA1 PA2
	出力先ポート	* LPT1 prt1 prt2 prt3 prt4
9	SNMP	-
	Community Name1 (read only)	* Public
	Community Name2 (read write)	* pass
	Trap address	* 0.0.0.0
	Trap Community Name	* Public
	System Name Blank	Blank
	System Location	Blank
System Contact	Blank	
10	PRINTER1	
	JOB START STRINGS	
	JOB END STRINGS	
	PRINTER2	
	JOB START STRINGS	
	JOB END STRINGS	
	PRINTER3	
	JOB START STRINGS	
	JOB END STRINGS	
	PRINTER4	
JOB START STRINGS		
JOB END STRINGS		
11	Other Information	
	Version	
	DMA転送単位	
	Parallele I/F	* Compatible

10.2 パラメータ詳細説明

ここでは、HTTP で設定・変更できるパラメータについて説明しています。

General	
グローバルMACアドレス	pConnectに割り当てられているMACアドレスを表示します。
ローカルMACアドレス	独自に割り当てたMACアドレスを設定できます。未設定時はグローバルMACアドレスが使用されます。
イーサネットモード	転送速度を選択してください。
インターフェイスモード	2163、2165、2179接続時はType2を設定してください。
TCP/IP	
IPアドレス	pConnectオプションに割り当てるIPアドレスを入力します。
サブネットマスク	ご使用になる環境にサブネットマスクが存在する場合は、ゲートウェイのIPアドレスを入力する必要があります。
ゲートウェイアドレス	ご使用になる環境にゲートウェイが存在する場合は、ゲートウェイのIPアドレスを入力する必要があります。
LPRタイムアウト	LPRタイムアウト時間を設定します。単位は秒です。 設定値は0～3600秒です。 なお、設定値を「0(零)」に設定すると、タイムアウト無しとなります。
Host Print	
プリンタドライバ	SCSデータ変換機能を選択します。
ユーザーフォント	pConnect上のユーザーフォントを使用するか、プリンタ上のユーザーフォントを使用するかを選択します。
DBCS変換テーブル	DBCS変換テーブルの登録情報です。
SCSデータストリーム変換テーブル	SCSデータストリーム変換テーブルの登録情報です。
IPSトレース	IPSトレースを採取したい場合は、「ON」を選択してください。
TN5250E	
TN5250プロトコル有効	TN5250Eプロトコルを有効にする場合は、設定値を「有効」にしてください。
Host IPアドレス	ホスト・コンピュータのIPアドレスを設定してください。
ポート番号	使用するポート番号を指定してください。 設定値は1～65535です。
自動接続	接続が失われた時に、自動的に接続をする場合は「ON」、接続をしない場合は「OFF」を選択します。
ホストコードページ	<ANKテーブルを選択します。設定値は930[英数ｶｶｶ], 931[英数小文字], 930EX [英数ｶｶｶ拡張], 939[英数小文字拡張]です。
印刷装置デバイス名	装置名称を定義します。半角の英数字で最大10文字まで指定できます。デバイス名は、ホスト・コンピュータのAPPC制御装置記述の装置記述と同じでなければなりません。なお、使用可能文字には、以下の制限があります。 1文字目 :A～Z,0～9,@,#,¥ 2文字目以降:A～Z,0～9,@,#,¥, _

メッセージ待ち行列	<p>ホスト・コンピュータから送るメッセージの待ち行列を半角の英数字で最大文字数10文字文字で設定します。なお、使用可能文字には、以下の制限があります。</p> <p>1文字目 :A~Z@, #, \$</p> <p>2文字目以降:A~Z 0~9, @, #, \$, _</p>
メッセージライブラリ	<p>待ち行列のライブラリを半角の英数字で最大文字数10文字で設定します。なお、使用可能文字には、以下の制限があります。</p> <p>1文字目 :A~Z, @, #, \$, *</p> <p>2文字目以降:A~Z 0~9, @, #, \$, _ .</p>
SI/SOモード	<p>SI/SO制御コードが、文字拡大範囲に含まれたときに拡大修飾の影響を受けるようにしたい場合は「ON」を、そうでなければ「OFF」を指定してください。</p>
ASCII Transparency	<p>ASCII Transparent (ATRN) 制御コードのフォーマットを選択します。</p>
出力先ポート	<p>pConnect内部に持っている論理的なプリンタ名です。</p>
TN3270E	
TN3270プロトコル有効	<p>TN3270プロトコルを有効にする場合は、設定値を「有効」にしてください。</p>
Host IPアドレス	<p>TN5250E参照</p>
ポート番号	<p>TN5250E参照</p>
自動接続	<p>TN5250E参照</p>
ホストコードページ	<p>TN5250E参照</p>
LU名	<p>印刷装置のLU名を定義します。半角英数文字で最大10文字まで指定できます。なお、使用可能文字には以下の制限があります。</p> <p>1文字目 :A~Z 0~9, @, #, ¥</p> <p>2文字目以降:A~Z 0~9, @, #, ¥, _</p>
文字ピッチ	<p>文字ピッチを選択します。単位はcpi (Character Per Inch) です。設定値は、10cpi, 12cpi, 13.4cpi, 15cpiです。</p>
最大文字数	<p>1行あたりに印字できる最大文字数を指定します。設定値は、1~204文字です。</p>
行ピッチ	<p>行ピッチを選択します。単位はlpi (Line Per Inch) です。設定値は、2lpi, 3lpi, 4lpi, 6lpi, 7.5lpi, 8lpiです。</p>
最大行数	<p>1ページあたりに印刷できる最大行数を指定します。設定値は1~127行です。</p>
大文字小文字	<p>Host Code Pageで931または939を選択している場合に、大文字小文字混在か大文字のみかを選択します。</p>
LU1オプション	<p>LU1で使用する場合、特別処理を行うか選択します。</p> <p>この機能は、LU3用に作られたユーザーデータのうち、ある限られたデータ に関してのみLU1(SCS)の環境下において同じ印字結果をとするものです。</p> <p>OPTION1: SO/SIに囲まれた漢字データを漢字として印字し、SO/SIをスペースとして印字します。</p> <p>OPTION2: 1+最大印字桁数の次にくる行のはじめ制御コードうち下記のを有効にする。</p> <p>•CR FF, VT, LF, BS, EM, NL</p>

空白行の削除	印字不可能文字のみ入っている行が削除されます。印字不可能文字は空白文字、非印字フィールドの文字、およびフィールドの属性です。スペース('X'40')は印刷可能文字とみなされます。
NULL制御コードを空白文字	空白文字はスペース('X'40')として印刷されます。
NL最大印刷位置+1の制御 FFオプション	このオプションを選択すると、NLは最大印字位置+1で行われて、自動改行は行われません。 このオプションを選択すると、FF(フォームフィード)が実行されて印刷位置を占め、次のページの最初の行の最初の桁にブランクとして印刷されます。したがって、次の印刷位置はその行の2桁目となります。
ジョブエンドタイム	SNAブランクセット処理を正しく使用していないアプリケーションのために、ジョブの処理を監視します。ジョブ終了コマンドが受信されなくても、データ途切れが設定した時間を経過すれば、ジョブの終了として処理します。 単位は秒です。なお、設定値は、0～3600秒です。設定値を0(零)にすると、タイムアウト無しとなります。
ジョブリンクタイム	SNAブランクセット処理を正しく使用していないアプリケーションのために、ジョブの処理を監視します。ジョブ終了コマンドが受信されなくても、データ途切れが設定した時間を経過すれば、ジョブの終了として処理します。 単位は秒です。なお、設定値は、0～3600秒です。設定値を0(零)にすると、タイムアウト無しとなります。
プリンタチェックタイム	用紙詰まりや用紙切れなどが発生すると、操作員介入要求がホスト・コンピュータに返されます。ここで設定する時間内に問題を解決しなければ、プリンタタイムアウトとなり操作パネルの表示機にメッセージが表示されます。 単位は分です。なお、設定値は0～99分です。設定値を0(零)とすると、タイムアウト無しとなります。
プリンタ保留タイム	印刷中に印刷中断モードに入り、印刷を保留出来る時間を設定します。ここで設定したプリンタ保留時間を過ぎると、プリンタタイムアウトとなり、操作パネルの表示器にメッセージが表示されます。 単位は分です。なお、設定値は0～99分です。設定値を0(零)とすると、タイムアウト無しとなります。
設定の優先	ホスト・コンピュータから設定コマンドを受信した場合、設定コマンドを優先するか選択されている値を優先するかを選択します。
出力先ポート	TN5250参照
LLC	
ローカルネットID	印刷装置のネットワーク名を定義します。半角の英数字で最大8文字まで指定できます。 ローカルネットIDは、ホスト・コンピュータのAPPC制御印刷装置記述の遠隔ネットワーク識別コードと同じでなければなりません。なお、使用可能文字には、以下の制限があります。 1文字目 :A-Z ,@ ,# ,¥ 2文字目以降:A-Z ,0~9 ,@ ,# ,¥

ローカルSAP	印刷装置のローカルSAP(サービス・アクセス・ポイントの略称です。)を定義します。 なお、設定値は04～FCまでの4の倍数で指定します。
ローカルブロックID	ブロックIDは、ネットワーク上のタイプ識別を定義します。3桁の16進数を指定してください。
ローカル装置ID	< 物理装置(PU)識別子(ID)はPUを識別します。PUは、ノードに関連付けられた資源を管理しモニターする構成要素です。 設定値は5桁の16進数で定義します。
ウィンドウサイズ	印刷装置の受信バッファ数を設定します。 設定値は1～8です。
PIUサイズ	パス情報単位(PIU)サイズは、データメッセージの単位です。 設定値は100～1493です。
LU6.2	
LU6.2プロトコル有効	LU6.2プロトコルを有効にする場合は、設定値を「有効」にしてください。
リモートネットID	ホスト・コンピュータのネットワークIDを定義します。半角の英数字で最大8文字まで指定できます。ただし、使用可能文字には以下の制限があります。 1文字目 :A～Z ,@ ,# ,¥ 2文字目以降:A～Z 0～9 ,@ ,# ,¥
リモートCP名	ホスト・コンピュータの制御点を定義します。半角英数字で最大8文字まで 指定できます。ただし、使用可能文字には、以下の制限があります。 1文字目 :A～Z ,@ ,# ,¥ 2文字目以降:A～Z 0～9 ,@ ,# ,¥ ,. ,_
リモートSAP	ホスト・コンピュータ・アクセスポイント(サービス・アクセス・ポイントの略称です。)を定義します。 なお、設定値は16進数04～FCまでの4の倍数で設定します。
リモートMACアドレス	ホスト・コンピュータのアダプターのMACアドレスを定義します。 設定値は16進数で12桁で定義します。
ホストコードページ	TN5250E参照
印刷装置デバイス名	TN5250E参照
メッセージ待ち行列	TN5250E参照
メッセージライブラリ	TN5250E参照
SI/SOモード	TN5250E参照
ASCII Transparency Format	TN5250E参照
出力先ポート	TN5250E参照
LU1/LU3	
LU1/LU3プロトコル有効	LU1/LU3プロトコルを有効にする場合は、設定値を「有効」にしてください。
リモートネットID	LU6.2参照
リモートCP名	LU6.2参照
リモートSAP	LU6.2参照
リモートMACアドレス	LU6.2参照
自動接続	TN5250E参照

ホストコードページ	TN5250E参照
LU番号	セッション識別アドレスを定義します。設定値は2～254です。
文字ピッチ	TN3270E参照
最大文字数	TN3270E参照
行ピッチ	TN3270E参照
最大行数	TN3270E参照
大文字小文字	TN3270E参照
LU1オプション	TN3270E参照
空白行の削除	TN3270E参照
NULL制御コードを空白印刷	TN3270E参照
CR最大印刷位置+1の制御	TN3270E参照
NL最大印刷位置+1の制御	TN3270E参照
FFオプション	TN3270E参照
ジョブエンドタイマ	TN3270E参照
ジョブリンクタイマ	TN3270E参照
プリンタチェックタイマ	TN3270E参照
プリンタ保留タイマ	TN3270E参照
設定の優先	TN3270E参照
PA1/PA2の制御	PA1/PA2を受信したときの制御を定義します。
出力先ポート	TN3270E参照
SNMP	
Community Name1	管理用コミュニティ名です。(Read-Only)
Community Name2	管理用コミュニティ名です。(Read-Write)
Trap address	管理ステーションのIPアドレスを設定します。
Trap Community Name	Trap管理用コミュニティ名です。
System Name	この被管理ノードに付けられた管理上の名前です。
System Location	このノードの物理的な位置です。
System Contact	この被管理ノードの担当者の識別情報や連絡先に関する情報です。
Printer1～4	
Job Start Strings	各印刷JOB前にプリンタ制御コマンド等の文字列を送信する為に指定します。16進数で最大256バイトまで設定できます。
Job End Strings	各印刷JOB後にプリンタ制御コマンド等の文字列を送信する為に指定します。16進数で最大256バイトまで設定できます。

第 11 章

技術仕様

1 1 . 1 サポートするシステム

S/390 :

Ethernet 環境から接続可能であること。

AS/400 :

V3R7 以降で Ethernet 接続可能なもの
TN5250E は V4R2 以上、LLC(LU6.2)は V3R7 以上

IBM LAN Server :

OS/2 Warp V4、OS/2 WarpServer V4

Microsoft Windows :

Windows XP, Windows 2000、Windows NT バージョン 3.51、4.0、Windows95、98、Me

UNIX :

TCP/IP プロトコル一式をサポートするすべてのコンピュータ。
以下のシステムを含みます。

BSD システム :

SunOS 4(Solaris 1.x)

System V システム :

SunOS 5(Solaris 2.x)、HP-UX、IBM AIX

WWW :

Netscape Navigator 2.x,3.0 と Microsoft Internet Explorer 3.0、もしくはこれらの
互換ブラウザ

1 1 . 2 サポートするプロトコル

S/390 環境 :

LU1/LU3、TN3270E

AS/400 環境 :

LU6.2、TN5250E

TCP/IP :

LPD、FTP、Telnet、ARP、ICMP、IP、TCP、UDP、HTTP、SNMPv1

1 1 . 3 ネットワーク接続

イーサネット 10Base-T および 100Base-TX

1 1 . 4 プリンタポート

高速パラレルポート(36ピンのセントロニクスコネクタでIEEE1284またはコンバージド準拠)1つ

1 1 . 5 フロントパネル

2つのLEDランプ : 電源およびネットワーク

4つの情報用LEDランプ : Inf1 ~ 4

押しボタン : パラメータリスト出力及びパスワードを出荷値に戻すためのボタン

1 1 . 6 電源

AC100V \pm 5% もしくは DC5V \pm 5%

1 1 . 7 寸法(単位 : mm)

24(高さ) × 7.5(幅) × 101(奥行)

1 1 . 8 重量

80g

1 1 . 9 環境

温度 : 5 ~ 40

湿度 : 10 ~ 80%、結露しないこと

1 1 . 1 0 承認

EMC : VCCI-A

安全性 : 電機用品取締法甲種

* すべての仕様は予告なしに変更されることがあります。

第 12 章

障害解析

12.1 障害解析シート

ここでは、HTTP で設定・変更できるパラメータについて説明しています。

No.	症状	原因	処置
1	全てのLEDが消灯	ACアダプタがコンセントから抜けている。	コンセントに差す。
		ACアダプタが不良	ACアダプタを交換する。
		本体が不良	本体を交換する。
2	全てのLEDが点灯	プリンタとの接続コネクタが抜けかけている。	正しく差し直す。
3	Power LEDが点滅 Status LEDが消灯 Inf1 ~ Inf4 LEDが点灯	プリンタの電源が入っていない。	プリンタの電源をオンにする。
		LANケーブルが抜けかけている	ケーブルを差し込む。
4	Power LEDが点滅 他のLEDは消灯	HUBと接続していない。	HUB側ケーブルを差し込む。
		HUBの電源が入っていない。	HUBの電源を入れる。
		HUBとのネゴシエーションが失敗している。	リピータHUBに交換する。
		本体が不良	本体を交換する。
5	Power LED点灯 Status LED点灯 他のLEDは消灯	誤動作	ACアダプタを一度抜き差しする。
		プログラムの不具合	バージョンアップ
6	Power LED Status LEDが 同時点滅 (2.5秒点灯/0.5秒消灯) (0.5秒点灯/0.5秒消灯)	サポート外プリンタを接続している。	サポートプリンタに交換する。
		プリンタが不良	プリンタを交換する。
7	Info LED点灯	ホストからのメッセージが発生している。	Webにて発生したメッセージを確認し、その処置に従ってください。
8	Power LED消灯 Status LED点灯 他のLED消灯	プログラムロード失敗	ACアダプタを一度抜き差しする。 再発する場合は、本体を交換する。
9	Power LED点灯 Status LED消灯 他のLEDは消灯	HUBが単独となっている。	UpLinkにケーブルを接続する。
		本体が不良	本体を交換する。
10	Testボタンを押して、パラメータ印刷が正常に印刷されない。	プリンタがオフラインとなっている。	オンラインにする。
		プリンタが不良	プリンタを交換する。
		本体が不良	本体を交換する。
11	Pingを発行して応答が返ってこない。	IPアドレスが設定されていない。	IPアドレスを設定する。
		サブネットマスクが間違っている。	サブネットマスクを設定する。
		ゲートウェイアドレスが間違っている。	ゲートウェイアドレスを設定する。
		本体が不良	本体を交換

12.2 トラブルの報告

自分自身で解決することができないトラブルに遭遇した場合は、システムエンジニア（SE）あるいは販売店用にエラー報告書を作成することが大切です。そのエラー報告書にはできる限り下記のものを入れてください。

12.2.1 通信障害の場合

- ・ ホスト上に残っているログ
- ・ PDトレースとIPSトレース（LU6.2、LU1/LU3 接続の場合）
- ・ 障害が発生した時の状況（プリンタ、スプール、操作員のオペレーション内容）メモ
- ・ パラメータリスト（**pConnect**が印刷可能な状態で、**pConnect**のテストプリントボタンを1回押すことで出力されるA4用紙2ページ位のリスト）
- ・ 通信構成図（簡単なもので結構です）

12.2.2 印刷結果異常の場合

- ・ エラーの説明をつけた印字出力
- ・ 可能なら正しい印字出力
- ・ パラメータリスト（**pConnect**が印刷可能な状態で、**pConnect**のテストプリントボタンを1回押すことで出力されるA4用紙2ページ位のリスト）
- ・ SCS ネットワークデータファイル（収集方法は次頁参照）

12.2.3 PDトレース

LU6.2、LU1/LU3 接続時、通信障害を調査するために、通信状態のログとしてPDトレースが記録されています。ただし、メモリ容量を超える場合は、古いデータから上書きされます。PDトレースのデータはftpで取得できます。以下の手順にしたがって、FTPを利用してPddump（PDトレース）を取得してください。

Windows 環境では、Dos 窓（MS-DOS プロンプト、コマンドプロンプト）を開きます。以下のコマンドを入力して、**pConnect**にログインしてください。

```
ftp ホスト名 または ftp IPアドレス  
ユーザー ID とパスワードを入力します。（デフォルトは、root と pass です）  
以下のコマンドを入力して、Pddump ファイルを取得します。
```

```
get pddump  
bye、logout、quit で ftp を終了させます。
```

12.2.4 IPS トレース

LU6.2、LU1/LU3 接続時で、パラメータ IPS トレースが ON に設定されているとき、通信障害を調査するために、通信状態のトレースデータを採取します。以下の手順にしたがって、IPS トレースを採取してください。

Web ブラウザを起動し、**pConnect**の IP アドレスを指定して、**pConnect**へアクセスします。

Configuration [Host Print] ページを開きます。



IPS トレースを ON に設定し、「Submit Host Print Settings」をクリックして変更内容を保存します。

通信障害が発生するまで待機します。

通信障害発生後、IPS トレースを ftp で取得します。Windows 環境では、DOS 窓 (MS-DOS プロンプト、コマンドプロンプト) を開きます。以下のコマンドを入力して、**pConnect**にログインしてください。

ftp ホスト名 または ftp IP アドレス

ユーザー ID とパスワードを入力します。(デフォルトでは、root と pass です。)

以下のコマンドを入力して、ipsdump (IPS トレース) を取得します。

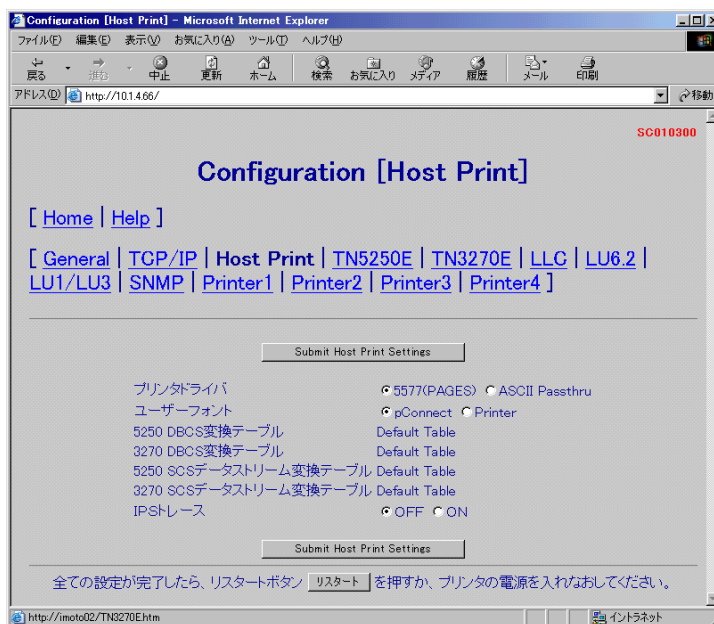
```
get ipsdump
```

bye、logout、quit で ftp を終了させます。

12.2.5 ホスト印刷データトレース

パラメータ プリンタドライバが ASCII Passthru (印刷あり) が ASCII Passthru (印刷なし) に設定されているとき、印刷結果異常を調査するために、AS/400 及び S/390 から受け取った印刷データを採取します。ただし、メモリ容量を超える場合は古いデータから上書きされます。以下の手順にしたがって、ホスト印刷トレースを採取してください。

Web ブラウザを起動し、**pConnect** の IP アドレスを指定して、**pConnect** の IP アドレスを指定して、**pConnect** へアクセスします。
Configuration [Host Print] ページを開きます。



ASCII Passthru (印刷なし) を選択し、「Submit Host Print Settings」をクリックして変更内容を保存します。

印刷結果に異常のある印刷 JOB を印刷します。

印刷後、ホスト印刷データトレースを ftp で取得します。Windows 環境では、DOS 窓 (MS-DOS プロンプト、コマンドプロンプト) を開きます。以下のコマンドを入力して、**pConnect** にログインしてください。

ftp ホスト名 または ftp IP アドレス
ユーザー ID とパスワードを入力します。(デフォルトでは、root と pass です。)
以下のコマンドを入力して、Dump (ホスト印刷データトレース) を取得します。

```
get Dump
```

bye、logout、quit で ftp を終了させます。

pConnect ユーザーズマニュアル

2003年8月 第二版

メモレックス・テレックス株式会社

〒105-8569 東京都港区芝公園2丁目4番1号芝パークビルA館
アドバンストソリューション営業部 TEL：03-5472-2928

製品に関する情報は
インターネットWebページでご覧いただけます。
URL：<http://as.memorex.co.jp/>